

平成21年度シーズ発掘試験

データ分析報告書

平成21年10月

独立行政法人 科学技術振興機構
地域事業推進部

目次

1. はじめに	1
1-1 シーズ発掘試験の概要	3
1-2 選考の経緯と結果	4
1-3 本報告書における基本データおよび集計・分析方法	6
2. 受理・採択結果の分析	9
2-1 受理・採択状況の推移	11
2-2 技術分野(大分類)別	12
2-3 技術分野(小分類)別	16
2-4 地域ブロック別	25
2-5 地域ブロック別 技術分野(大分類)別	32
2-6 地域ブロック別 技術分野(小分類)別	42
2-7 都道府県別	45
2-8 都道府県別 技術分野(大分類)別	59
2-9 都道府県別 技術分野(小分類)別	69
2-10 研究機関分類別	71
2-11 研究機関別	78
2-12 研究機関分類別 技術分野(大分類)別	86
2-13 研究機関分類別 技術分野(小分類)別	88
2-14 代表研究者役職別	90
2-15 代表研究者の年代別	94
2-16 代表研究者の男女別	98
2-17 本試験参加コーディネータ	101
2-18 コーディネータ1人当たりの受理・採択状況	102
2-19 コーディネータ所属機関分類別	105
2-20 コーディネータ所属機関別	112
2-21 コーディネータ所属機関分類別 技術分野(大分類)別	119
2-22 共同研究機関の有無	121
3. 結果と考察	123

1 . はじめに

1-1 シーズ発掘試験の概要

シーズ発掘試験の目的

シーズ発掘試験は、各府省・大学(知財本部・地共センター等)・地方自治体・独立行政法人・TLO等に配置されている、各種コーディネータ等^(注1)が発掘した大学等^(注2)の研究シーズ^(注3)の実用化を促し、イノベーションの創出に資するとともに、コーディネータ等の活動を支援することを目的とする。

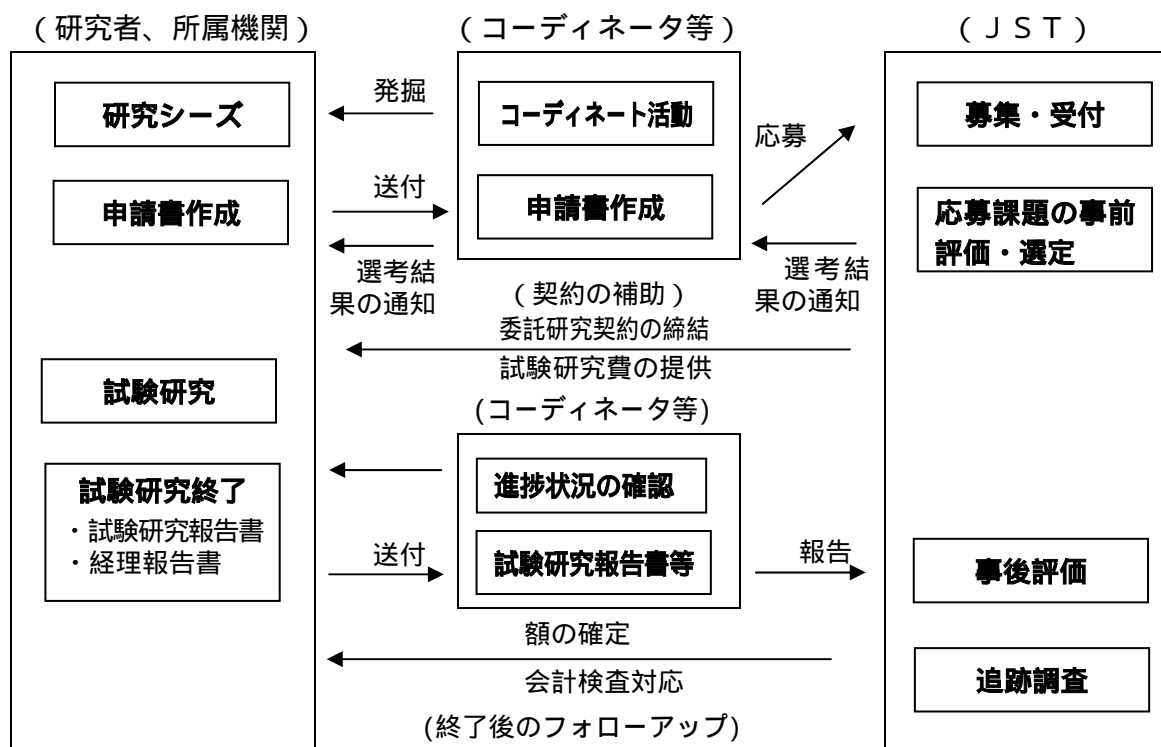
(注1)「コーディネータ等」とは、大学等の公的研究機関の研究成果を発掘し、研究シーズや企業ニーズの探索やマッチング、研究シーズの育成、研究成果の各種制度や企業への橋渡しを主たる業務としており、コーディネータ以外にアドバイザー・マネージャー・プランナー・プロデューサー等と呼ばれ、国・地方公共団体・非営利団体・公的機関・大学等(株式会社TLOを含む)に属している産学官連携分野の専門家である。

(注2)「大学等」とは、国公立大学(短期大学含む)・高等専門学校・国立試験研究機関・公設試験研究機関、研究開発を行っている特殊法人・独立行政法人・公益法人である。

(注3)「研究シーズ」とは、実用化が期待される研究テーマであって、知的財産権の取得が期待される、もしくは、知的財産権を既に取得し、実用化に向けて発展が期待される研究課題である。

シーズ発掘試験のしくみ

研究を実施する「研究者」と、実用化を支援する「コーディネータ」が連名で応募する。研究者は、研究機関の「受託研究制度」を利用して研究を実施し、コーディネータは、実用化の観点から助言、情報提供などのサポートを行う。終了後も、研究者とコーディネータが連携して、他の実用化支援制度への展開／展示会等への参加／共同研究の推進など、実用化に向けた各種活動を進めていくことが期待される。



1-2 選考の経緯と結果

平成21年1月15日～3月14日の公募期間において、全国からA(発掘型)で8179件、B(発展型)で521件の申請があった。課題の「新規性及び優位性」、「目標設定の妥当性」、「研究実施計画の妥当性」を評価項目として外部有識者による査読評価を行った後、本制度のプログラムオフィサー^(注1)から構成される選考委員会にて、A(発掘型)で2122件、B(発展型)で164件の採択候補課題を選定し、理事会議において当該採択候補課題の採択を決定した。この結果を、地域ブロック別^(注2)に表1-1に示す。

(注1)「プログラムオフィサー」とは、担当する研究開発分野に関し専門知識や研究経験を有し、高度な専門知識に基づく判断ができるとともに、研究開発の動向を把握し、広い人的ネットワークを有していることを要件としてJSTが指名する者。競争的資金による制度の運営方針作成、評価結果に基づく課題案の作成、選定課題の執行管理等を任務とし、本制度ではJSTイノベーションプラザおよびJSTイノベーションサテライトの館長がこの任にあたる。

(注2)「地域ブロック」とは、全国をJSTイノベーションプラザならびにJSTイノベーションサテライトが拠点としている16ブロックに分割したもの。

表1-1 地域ブロック別 受理件数・採択件数

A(発掘型)

受理件数

北海道		岩手		宮城		茨城		新潟		石川		静岡		東海	
北海道	552	青森県	91	宮城県	84	茨城県	106	群馬県	176	富山県	138	山梨県	152	岐阜県	186
		岩手県	123	山形県	77	栃木県	83	新潟県	155	石川県	168	長野県	46	愛知県	91
		秋田県	190	福島県	58	埼玉県	90					静岡県	104	三重県	617
						千葉県	66								
						東京都	135								
						神奈川県	271								
合計	552	合計	404	合計	219	合計	751	合計	331	合計	306	合計	302	合計	894

滋賀		京都		大阪		広島		徳島		高知		福岡		宮崎	
福井県	132	京都府	325	大阪府	249	鳥取県	40	徳島県	171	愛媛県	163	福岡県	321	宮崎県	85
滋賀県	244	奈良県	536	兵庫県	59	島根県	46	香川県	132	高知県	155	佐賀県	49	鹿児島県	59
				和歌山県	46	岡山県	245					長崎県	86	大分県	38
						広島県	189					熊本県	84		
						山口県	108					沖縄県	69		
合計	376	合計	861	合計	354	合計	628	合計	303	合計	318	合計	609	合計	182

総計 7390 件

採択件数

北海道		岩手		宮城		茨城		新潟		石川		静岡		東海	
北海道	147	青森県	22	宮城県	21	茨城県	24	群馬県	48	富山県	34	山梨県	38	岐阜県	50
		岩手県	38	山形県	11	栃木県	21	新潟県	39	石川県	46	長野県	14	愛知県	21
		秋田県	59	福島県	13	埼玉県	24					静岡県	27	三重県	158
						千葉県	18								
						東京都	32								
						神奈川県	73								
合計	147	合計	119	合計	45	合計	192	合計	87	合計	80	合計	79	合計	229

滋賀		京都		大阪		広島		徳島		高知		福岡		宮崎	
福井県	32	京都府	91	大阪府	64	鳥取県	9	徳島県	49	愛媛県	40	福岡県	83	宮崎県	16
滋賀県	64	奈良県	136	兵庫県	8	島根県	12	香川県	29	高知県	41	佐賀県	11	鹿児島県	18
				和歌山県	14	岡山県	60					長崎県	25	大分県	9
						広島県	50					熊本県	21		
						山口県	32					沖縄県	23		
合計	96	合計	227	合計	86	合計	163	合計	78	合計	81	合計	163	合計	43

総計 1915 件

B (発展型)

受案件数

北海道		岩手		宮城		茨城		新潟		石川		静岡		東海	
北海道	42	青森県	8	宮城県	4	茨城県	16	群馬県	18	富山県	4	山梨県	8	岐阜県	3
		岩手県	6	山形県	5	栃木県	8	新潟県	20	石川県	6	長野県	5	愛知県	4
		秋田県	7	福島県	4	埼玉県	10					静岡県	7	三重県	30
						千葉県	5								
						東京都	12								
						神奈川県	19								
合計	42	合計	21	合計	13	合計	70	合計	38	合計	10	合計	20	合計	37
滋賀		京都		大阪		広島		徳島		高知		福岡		宮崎	
福井県	5	京都府	33	大阪府	16	鳥取県	7	徳島県	4	愛媛県	6	福岡県	24	宮崎県	7
滋賀県	6	奈良県	44	兵庫県	10	島根県	2	香川県	6	高知県	10	佐賀県	3	鹿児島県	6
				和歌山県	2	岡山県	3					長崎県	5	大分県	4
						広島県	11					熊本県	2		
						山口県	4					沖縄県	4		
合計	11	合計	77	合計	28	合計	27	合計	10	合計	16	合計	38	合計	17

総計 475 件

採択件数

北海道		岩手		宮城		茨城		新潟		石川		静岡		東海	
北海道	10	青森県	2	宮城県	2	茨城県	4	群馬県	8	富山県	2	山梨県	2	岐阜県	0
		岩手県	2	山形県	2	栃木県	0	新潟県	7	石川県	1	長野県	3	愛知県	1
		秋田県	3	福島県	1	埼玉県	3					静岡県	1	三重県	10
						千葉県	2								
						東京都	4								
						神奈川県	6								
合計	10	合計	7	合計	5	合計	19	合計	15	合計	3	合計	6	合計	11
滋賀		京都		大阪		広島		徳島		高知		福岡		宮崎	
福井県	2	京都府	12	大阪府	5	鳥取県	2	徳島県	1	愛媛県	3	福岡県	6	宮崎県	2
滋賀県	1	奈良県	15	兵庫県	2	島根県	1	香川県	2	高知県	3	佐賀県	1	鹿児島県	2
				和歌山県	0	岡山県	1					長崎県	2	大分県	3
						広島県	4					熊本県	0		
						山口県	0					沖縄県	1		
合計	3	合計	27	合計	7	合計	8	合計	3	合計	6	合計	10	合計	7

総計 147 件

1-3 本報告書における基本データおよび集計・分析方法

基本データ

基本データは、申請書の情報(課題名、技術分野、代表研究者情報、担当コーディネータ情報、共同研究企業の有無)が入力された申請課題 7865 件(A(発掘型)7390 件、B(発展型)475 件)のデータベースを分析原簿とした。「代表研究者の所属機関」「コーディネータの所属機関」および「代表研究者の役職」の申請名称は、前年度に合わせ予め「名寄せ」を行い統一的な個別名称を付した。

集計方法:基本データについて、以下の方法により集計を行った。

-1. 研究課題の技術分野 (大分類、小分類)

募集要項に従い、表 1-2 に示す研究課題の技術分野(大分類および小分類)を用いた。申請時に主分野、副分野として 2 つの技術分野コードを記載した課題については、2 つの分野を等価に扱い、申請件数として 2 倍の扱いとした。

-2. 代表研究者の所属 (地域ブロック別、都道府県別、研究機関分類別、研究機関別)

- (1) 代表研究者の所属機関住所に基づき、地域ブロック別(表 1-1)、都道府県別に分類した。
- (2) 代表研究者の所属機関を「国立大学」「公立大学」「私立大学」「公設試験研究機関」「高等専門学校」「国立試験研究機関」「公益法人」「その他」の 8 種に分け「研究機関分類」とした。
- (3) 代表研究者の役職を「教授」「助教授」「講師」「助手」「主任研究員」「研究員」「部・科長リーダー等」「主任技師」「技師」「技術員」「その他」の 11 種に分類した。

-3. 担当コーディネータの所属 (所属機関分類別、所属機関別)

コーディネータの所属機関は「国立大学」「公立大学」「私立大学」「高等専門学校」「JST」「TLO」「国立試験研究機関」「地方自治体」「公益法人」「株式会社・有限会社」「その他」の 11 種に分け「コーディネータ所属機関分類」とした。

-4. 共同研究機関の有無

申請書に共同研究機関の記載があるものは、機関の種別・規模・研究費使用の有無とは無関係に、「共同研究機関あり」として扱った。

分析方法

上記の集計方法に基づき単純集計分析(例:技術分野別の受理・採択・採択率を集計)およびクロス集計分析(例:地域ブロック別に技術分野ごとの受理・採択・採択率を集計)を行った。分析結果については分析項目別に、必要な図表を示しコメントを付した。

表 1-2 研究課題の技術分野

【ライフサイエンス】		【エネルギー】	
0101	ゲノム	0501	化石燃料・加工燃料
0102	医学・医療	0502	原子力エネルギー
0103	食料科学・技術	0503	自然エネルギー
0104	脳科学	0504	省エネルギー・エネルギー利用技術
0105	バイオインフォマティクス	0505	環境に対する負荷の軽減
0106	環境・生態	0506	国際社会への協力と貢献
0107	物質生産	0589	共通基礎研究
0189	共通基礎研究	0599	その他
0199	その他	【ものづくり技術】	
【情報通信】		0601	高精度技術
0201	高速ネットワーク	0602	精密部品加工
0202	セキュリティ	0603	高付加価値極限技術(マイクロマシン等)
0203	サービス・アプリケーション	0604	環境負荷最小化
0204	家電ネットワーク	0605	品質管理・製造現場安全確保
0205	高速コンピューティング	0606	先進的なものづくり
0206	シミュレーション	0607	医療・福祉機器
0207	大容量・高速記憶装置	0608	アセンブリープロセス
0208	入出力	0609	システム
0209	認識・意味理解	0689	共通基礎研究
0210	センサ	0699	その他
0211	ヒューマンインターフェイス評価	【社会基盤】	
0212	ソフトウェア	0701	異常自然現象発生メカニズムの研究と予測技術
0213	デバイス	0702	災害被害最小化応用技術研究
0289	共通基礎研究	0703	超高度防災支援システム
0299	その他	0704	事故対策技術
【環境】		0705	社会基盤の劣化対策
0301	地球環境	0706	有害危険・危惧物質等安全対策
0302	地域環境	0721	自然と共生した美しい生活空間の再構築
0303	環境リスク	0722	広域地域研究
0304	循環型社会システム	0723	水循環系健全化・総合水管理
0305	生物多様性	0724	新しい人と物の流れに対応する交通システム
0389	共通基礎研究	0725	バリアフリー
0399	その他	0726	ユニバーサルデザイン化
【ナノテク・材料】		0789	共通基礎研究
0401	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)	0799	その他
0402	ナノ物質・材料(構造材料応用等)	【フロンティア】	
0403	ナノ情報デバイス	0801	宇宙科学(天文を含む)
0404	ナノ医療	0802	宇宙開発利用
0405	ナノバイオロジー	0821	海洋科学
0406	エネルギー・環境応用	0822	海洋開発
0407	表面・界面	0889	共通基礎研究
0408	計測技術・標準	0899	その他
0409	加工・合成・プロセス	【人文・社会】	
0410	基礎物性	0900	人文・社会
0411	計算・理論・シミュレーション	【自然科学一般】	
0412	安全空間創成材料	1000	自然科学一般
0489	共通基礎研究	【標記分野以外】	
0499	その他	9999	標記分野以外

2 . 受理・採択結果の分析

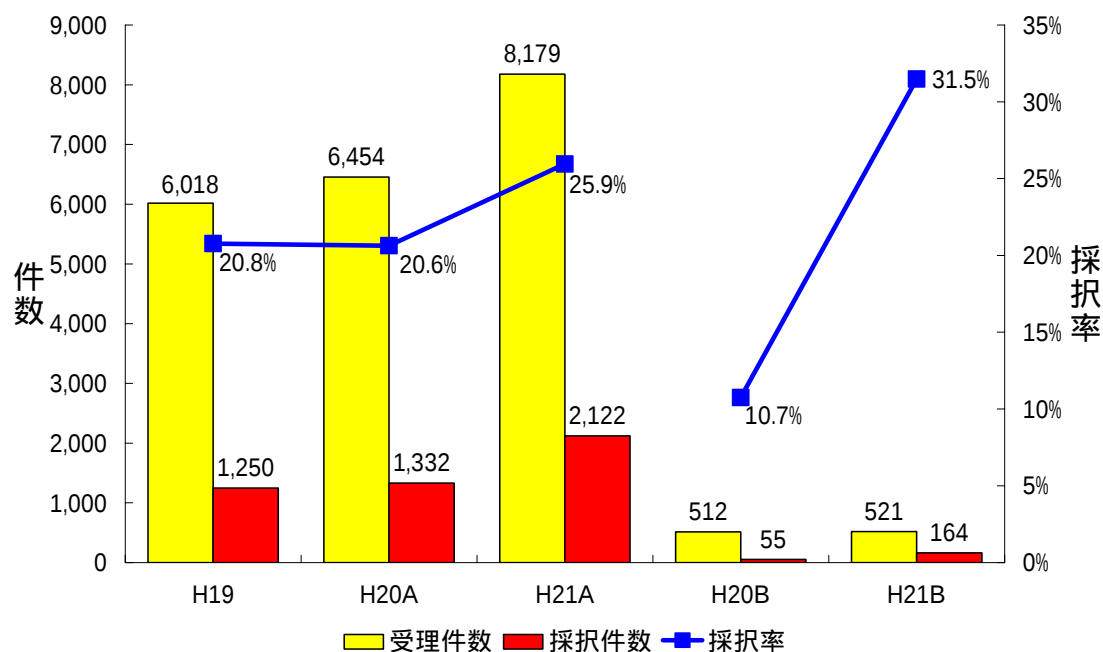
2-1 受理・採択状況の推移

本試験の受理・採択件数ならびに採択率の推移を表 2-1-1、図 2-1-1 に示す。

表 2-1-1 受理・採択件数と採択率の推移

項目	H19	H20 (A発掘型)	H21 (A発掘型)	H20 (B発展型)	H21 (B発展型)
受理件数	6,018	6,454	8,179	512	521
採択件数	1,250	1,332	2,122	55	164
採択率	20.8%	20.6%	25.9%	10.7%	31.5%

図 2-1-1 受理・採択件数と採択率の推移



本試験は平成 17 年度に開始し、本年度で 5 年目を迎えた。平成 19 年度から平成 21 年度の過去 3 回を見ると、受理・採択件数は年度毎に順調な増加が見られる。本年度の受理件数は 8179 件(前年比 127%)、採択件数は 2122 件(前年比 159%)であった。

一方、採択率は平成 19 年度から平成 20 年度では横ばいとなっていたが、本年は昨年より増加した。

2-2 技術分野(大分類)別

受理・採択状況を技術分野(大分類)別に表 2-2-1、図 2-2-1、図 2-2-2 に示す。

表 2-2-1 技術分野(大分類)別 受理・採択データ

A (発掘型)

No	技術分野 (大分類)	受理		採択		採択率 (%)
		件数	割合	件数	割合	
1	ライフサイエンス	2564	34.7%	682	35.6%	26.6%
2	情報通信	694	9.4%	137	7.2%	19.7%
3	環境	369	5.0%	85	4.4%	23.0%
4	ナノテク・材料	1876	25.4%	551	28.8%	29.4%
5	エネルギー	391	5.3%	91	4.8%	23.3%
6	ものづくり技術	1008	13.6%	263	13.7%	26.1%
7	社会基盤	399	5.4%	86	4.5%	21.6%
8	フロンティア	38	0.5%	10	0.5%	26.3%
9	人文・社会	23	0.3%	5	0.3%	21.7%
10	自然科学一般	26	0.4%	4	0.2%	15.4%
11	標記分野以外	2	0.0%	1	0.1%	50.0%
総計		7390	100.0%	1915	100.0%	25.9%

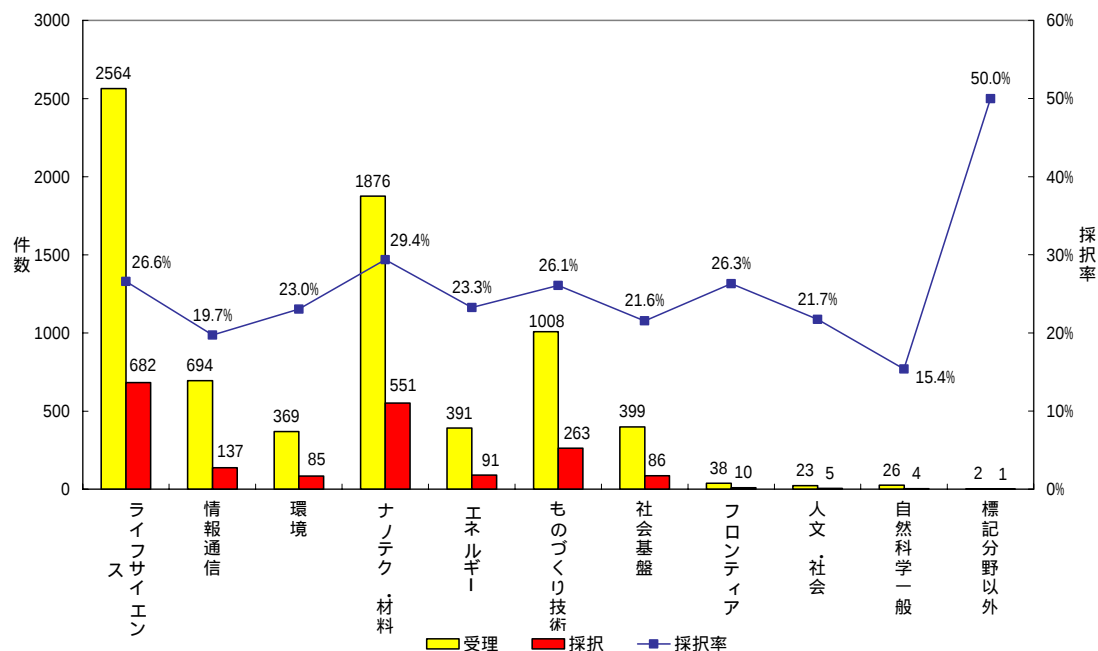
注)主分野(必須記載)および副分野(任意記載)を等価データとして集計

B (発展型)

No	技術分野 (大分類)	受理		採択		採択率 (%)
		件数	割合	件数	割合	
1	ライフサイエンス	150	31.6%	50	34.0%	33.3%
2	情報通信	36	7.6%	15	10.2%	41.7%
3	環境	19	4.0%	5	3.4%	26.3%
4	ナノテク・材料	156	32.8%	46	31.3%	29.5%
5	エネルギー	20	4.2%	2	1.4%	10.0%
6	ものづくり技術	64	13.5%	21	14.3%	32.8%
7	社会基盤	27	5.7%	7	4.8%	25.9%
8	フロンティア	3	0.6%	1	0.7%	33.3%
9	人文・社会	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
10	自然科学一般	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
11	標記分野以外	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
総計		475	100.0%	147	100.0%	30.9%

注)主分野(必須記載)および副分野(任意記載)を等価データとして集計

図 2-2-1 技術分野(大分類)別 受理・採択件数と採択率
A (発掘型)



B (発展型)

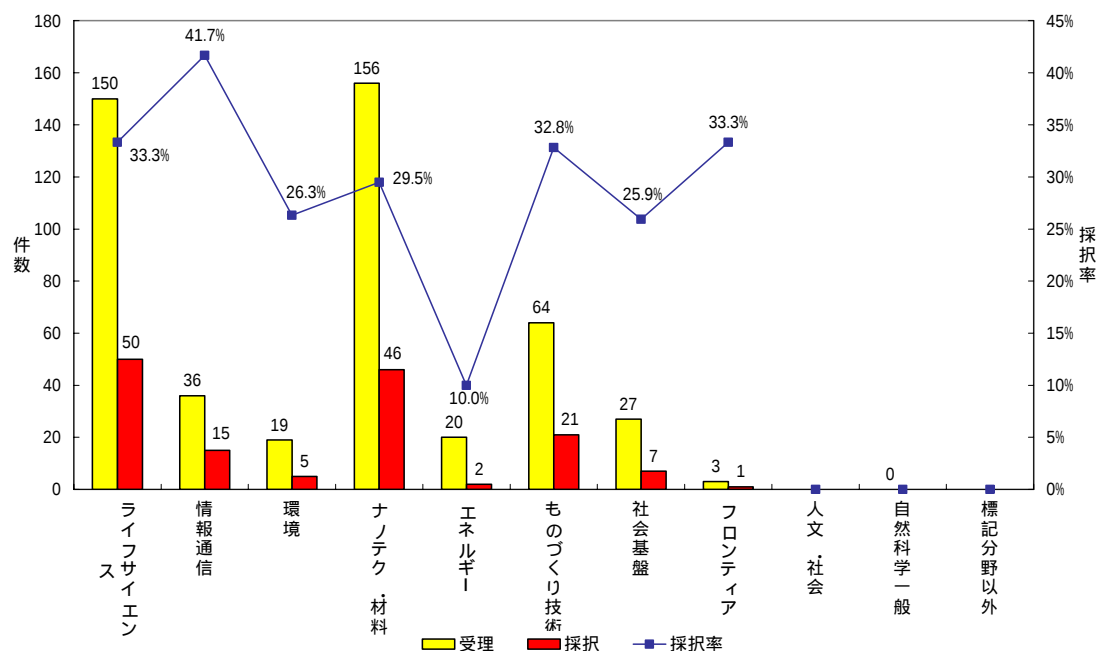
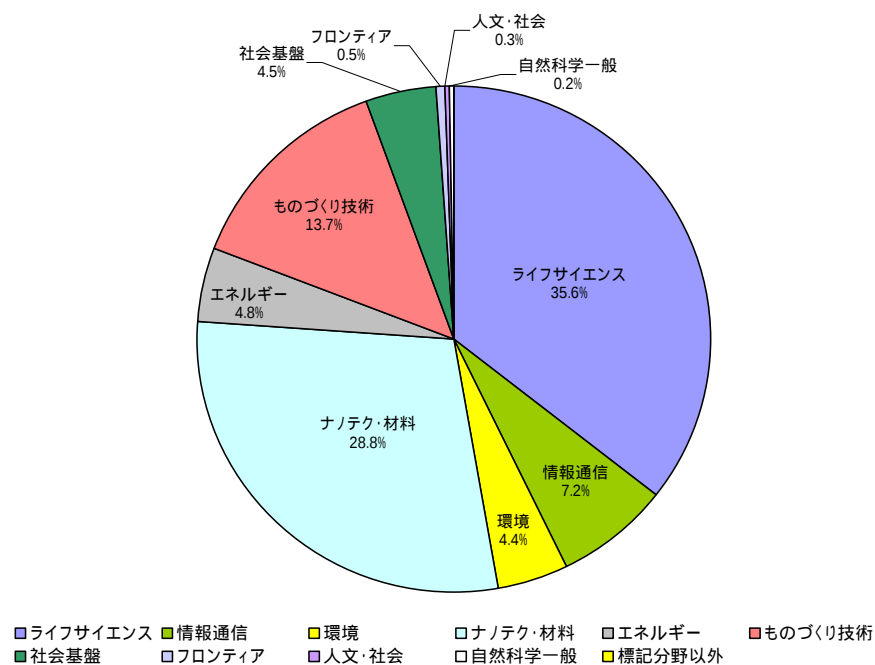
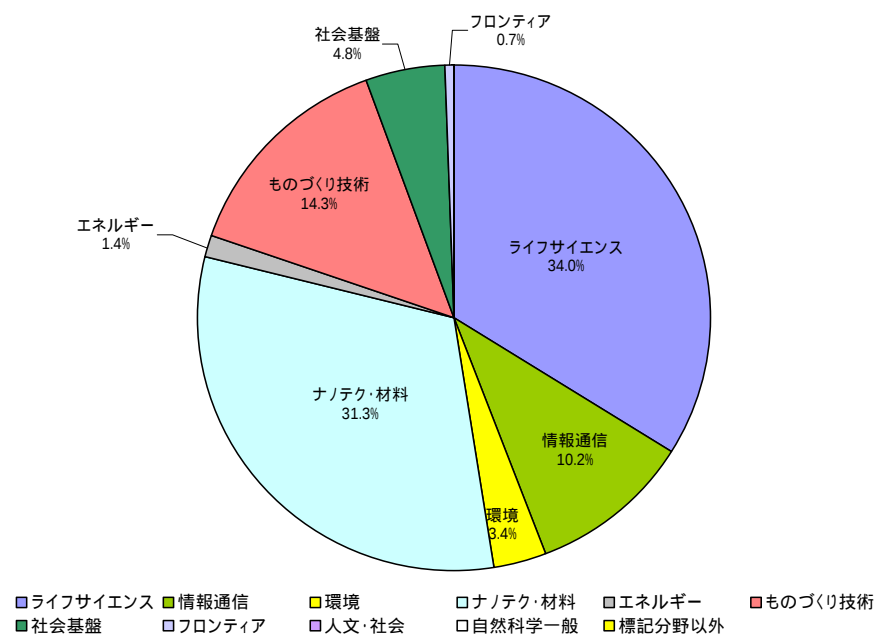


図 2-2-2 技術分野(大分類)別 採択件数割合
A (発掘型)



B (発展型)



本年度の技術分野(大分類)別で 1000 件以上の受理件数を占める技術分野は『ライフサイエンス(2564 件)』『ナノテク・材料(1876 件)』『ものづくり技術(1008 件)』の3分野である。この3分野での採択件数は『ライフサイエンス(682 件)』『ナノテク・材料(551 件)』『ものづくり技術(263 件)』であり、この3分野では『ナノテク・材料』分野の採択率が最大(29.4%)となっている。

上記3分野に次いで受理件数の多い分野は『情報通信(694 件)』『社会基盤(399 件)』『エネルギー(391 件)』である。

B(発展型)については、受理件数・採択件数の全体における割合はA(発掘型)とほぼ同様になっているが、ほとんどの分野で高い採択率となっている。

2-3 技術分野(小分類)別

技術分野(小分類)別に、本年度の受理・採択件数および採択率を表 2-3-1、図 2-3-1 に示す。

表 2-3-1 技術分野(小分類)別 受理・採択データ

A(発掘型)

大分類	技術分野	受理			採択			採択率 (%)	採択率 (大分類)
	小分類	件数	順位	割合	件数	順位	割合		
ライフサイエンス	ゲノム	51	40	0.6%	8	50	0.4%	15.7%	26.7%
	医学・医療	1230	1	15.0%	338	1	15.9%	27.5%	
	食料科学・技術	637	2	7.8%	155	2	7.3%	24.3%	
	脳科学	84	28	1.0%	16	30	0.8%	19.0%	
	バイオインフォマティクス	24	60	0.3%	5	58	0.2%	20.8%	
	環境・生態	138	14	1.7%	29	15	1.4%	21.0%	
	物質生産	233	7	2.8%	84	7	4.0%	36.1%	
	共通基礎研究	204	10	2.5%	60	10	2.8%	29.4%	
情報通信	その他	151	13	1.8%	40	13	1.9%	26.5%	21.1%
	高速ネットワーク	19	67	0.2%	6	53	0.3%	31.6%	
	セキュリティ	45	44	0.6%	6	53	0.3%	13.3%	
	サービス・アプリケーション	104	21	1.3%	19	27	0.9%	18.3%	
	家電ネットワーク	5	83	0.1%	1	78	0.0%	20.0%	
	高速コンピューティング	16	70	0.2%	0	86	0.0%	0.0%	
	シミュレーション	26	58	0.3%	3	66	0.1%	11.5%	
	大容量・高速記憶装置	8	80	0.1%	2	73	0.1%	25.0%	
	入出力	32	52	0.4%	10	46	0.5%	31.3%	
	認識・意味理解	78	30	1.0%	15	31	0.7%	19.2%	
	センサ	126	17	1.5%	30	14	1.4%	23.8%	
	ヒューマンインターフェイス評価	60	38	0.7%	12	41	0.6%	20.0%	
	ソフトウェア	91	24	1.1%	17	28	0.8%	18.7%	
	デバイス	92	23	1.1%	28	19	1.3%	30.4%	
	共通基礎研究	24	60	0.3%	3	66	0.1%	12.5%	
	その他	52	39	0.6%	12	41	0.6%	23.1%	
環境	地球環境	51	40	0.6%	13	39	0.6%	25.5%	23.9%
	地域環境	114	19	1.4%	27	20	1.3%	23.7%	
	環境リスク	49	43	0.6%	10	46	0.5%	20.4%	
	循環型社会システム	127	16	1.6%	26	21	1.2%	20.5%	
	生物多様性	24	60	0.3%	9	48	0.4%	37.5%	
	共通基礎研究	44	45	0.5%	15	31	0.7%	34.1%	
	その他	35	51	0.4%	6	53	0.3%	17.1%	
ナノテク・材料	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)	382	4	4.7%	128	3	6.0%	33.5%	28.9%
	ナノ物質・材料(構造材料応用等)	187	11	2.3%	51	12	2.4%	27.3%	
	ナノ情報デバイス	25	59	0.3%	4	61	0.2%	16.0%	
	ナノ医療	99	22	1.2%	29	15	1.4%	29.3%	
	ナノバイオロジー	67	32	0.8%	15	31	0.7%	22.4%	
	エネルギー・環境応用	282	6	3.4%	94	6	4.4%	33.3%	
	表面・界面	134	15	1.6%	29	15	1.4%	21.6%	
	計測技術・標準	230	8	2.8%	71	8	3.3%	30.9%	
	加工・合成・プロセス	400	3	4.9%	113	4	5.3%	28.3%	
	基礎物性	41	49	0.5%	11	43	0.5%	26.8%	
	計算・理論・シミュレーション	32	52	0.4%	7	52	0.3%	21.9%	
	安全空間創成材料	122	18	1.5%	22	23	1.0%	18.0%	
	共通基礎研究	42	48	0.5%	14	36	0.7%	33.3%	
	その他	38	50	0.5%	14	36	0.7%	36.8%	

エネルギー	化石燃料・加工燃料	23	63	0.3%	4	61	0.2%	17.4%	23.8%
	原子力エネルギー	11	77	0.1%	1	78	0.0%	9.1%	
	自然エネルギー	91	24	1.1%	17	28	0.8%	18.7%	
	省エネルギー・エネルギー利用技術	185	12	2.3%	53	11	2.5%	28.6%	
	環境に対する負荷の軽減	113	20	1.4%	29	15	1.4%	25.7%	
	国際社会への協力と貢献	2	85	0.0%	1	78	0.0%	50.0%	
	共通基礎研究	15	72	0.2%	1	78	0.0%	6.7%	
	その他	9	78	0.1%	1	78	0.0%	11.1%	
ものづくり技術	高精度技術	74	31	0.9%	21	24	1.0%	28.4%	26.0%
	精密部品加工	79	29	1.0%	20	25	0.9%	25.3%	
	高付加価値極限技術(マイクロマシン等)	61	37	0.7%	15	31	0.7%	24.6%	
	環境負荷最小化	90	26	1.1%	23	22	1.1%	25.6%	
	品質管理・製造現場安全確保	64	34	0.8%	14	36	0.7%	21.9%	
	先進的なものづくり	226	9	2.8%	62	9	2.9%	27.4%	
	医療・福祉機器	353	5	4.3%	106	5	5.0%	30.0%	
	アセンブリプロセス	12	75	0.1%	2	73	0.1%	16.7%	
	システム	63	35	0.8%	11	43	0.5%	17.5%	
	共通基礎研究	62	36	0.8%	11	43	0.5%	17.7%	
社会基盤	その他	43	47	0.5%	8	50	0.4%	18.6%	20.9%
	異常自然現象発生メカニズムの研究と予測技術	13	74	0.2%	3	66	0.1%	23.1%	
	災害被害最小化応用技術研究	89	27	1.1%	20	25	0.9%	22.5%	
	超高度防災支援システム	16	70	0.2%	3	66	0.1%	18.8%	
	事故対策技術	50	42	0.6%	13	39	0.6%	26.0%	
	社会基盤の劣化対策	66	33	0.8%	15	31	0.7%	22.7%	
	有害危険・危険物質等安全対策	28	54	0.3%	6	53	0.3%	21.4%	
	自然と共生した美しい生活空間の再構築	27	56	0.3%	5	58	0.2%	18.5%	
	広域地域研究	12	75	0.1%	2	73	0.1%	16.7%	
	水循環系健全化・総合水管理	44	45	0.5%	9	48	0.4%	20.5%	
	新しい人と物の流れに対応する交通システム	23	63	0.3%	3	66	0.1%	13.0%	
	バリアフリー	14	73	0.2%	4	61	0.2%	28.6%	
	ユニバーサルデザイン化	17	69	0.2%	2	73	0.1%	11.8%	
	共通基礎研究	22	66	0.3%	2	73	0.1%	9.1%	
フロンティア	その他	23	63	0.3%	6	53	0.3%	26.1%	25.5%
	宇宙科学(天文を含む)	6	82	0.1%	1	78	0.0%	16.7%	
	宇宙開発利用	18	68	0.2%	4	61	0.2%	22.2%	
	海洋科学	8	80	0.1%	3	66	0.1%	37.5%	
	海洋開発	9	78	0.1%	3	66	0.1%	33.3%	
	共通基礎研究	5	83	0.1%	1	78	0.0%	20.0%	
	その他	1	87	0.0%	0	86	0.0%	0.0%	
人文・社会		27	56	0.3%	5	58	0.2%	18.5%	18.5%
自然科学一般		28	54	0.3%	4	61	0.2%	14.3%	14.3%
標記分野以外		2	85	0.0%	1	78	0.0%	50.0%	50.0%
総計		8179	-	100.0%	2122	-	100.0%	25.9%	25.9%

注) 主分野(必須記載)および副分野(任意記載)を等価データとして集計

B (発展型)

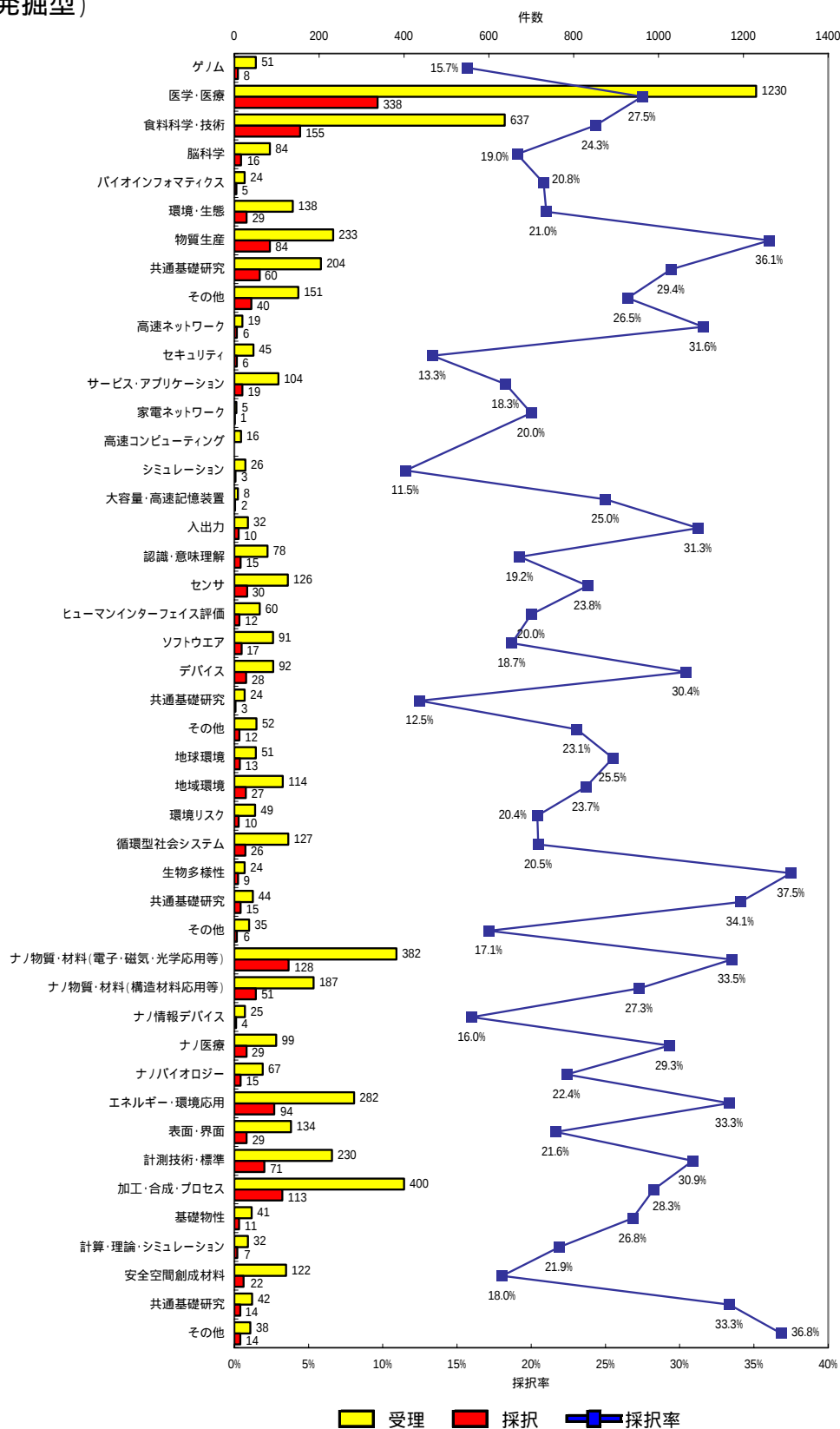
技術分野		受理			採択			採択率 (%)	採択率 (大分類)
大分類	小分類	件数	順位	割合	件数	順位	割合		
ライフサイエンス	ゲノム	4	28	0.8%	1	25	0.6%	25.0%	34.4%
	医学・医療	85	1	16.3%	30	1	18.3%	35.3%	
	食料科学・技術	25	4	4.8%	10	3	6.1%	40.0%	
	脳科学	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	バイオインフォマティクス	3	33	0.6%	1	25	0.6%	33.3%	
	環境・生態	5	25	1.0%	2	18	1.2%	40.0%	
	物質生産	10	15	1.9%	3	15	1.8%	30.0%	
	共通基礎研究	11	13	2.1%	1	25	0.6%	9.1%	
情報通信	その他	11	13	2.1%	5	9	3.0%	45.5%	41.5%
	高速ネットワーク	1	53	0.2%	0	49	0.0%	0.0%	
	セキュリティ	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	サービス・アプリケーション	2	38	0.4%	1	25	0.6%	50.0%	
	家電ネットワーク	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	高速コンピューティング	1	53	0.2%	0	49	0.0%	0.0%	
	シミュレーション	1	53	0.2%	0	49	0.0%	0.0%	
	大容量・高速記憶装置	2	38	0.4%	1	25	0.6%	50.0%	
	入出力	2	38	0.4%	0	49	0.0%	0.0%	
	認識・意味理解	3	33	0.6%	2	18	1.2%	66.7%	
	センサ	8	18	1.5%	2	18	1.2%	25.0%	
	ヒューマンインターフェイス評価	4	28	0.8%	1	25	0.6%	25.0%	
	ソフトウェア	2	38	0.4%	0	49	0.0%	0.0%	
	デバイス	12	12	2.3%	8	5	4.9%	66.7%	
	共通基礎研究	1	53	0.2%	0	49	0.0%	0.0%	
環境	その他	2	38	0.4%	2	18	1.2%	100.0%	33.3%
	地球環境	2	38	0.4%	1	25	0.6%	50.0%	
	地域環境	2	38	0.4%	1	25	0.6%	50.0%	
	環境リスク	1	53	0.2%	0	49	0.0%	0.0%	
	循環型社会システム	10	15	1.9%	4	13	2.4%	40.0%	
	生物多様性	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	共通基礎研究	3	33	0.6%	1	25	0.6%	33.3%	
ナノテク・材料	その他	3	33	0.6%	0	49	0.0%	0.0%	29.2%
	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)	24	6	4.6%	10	3	6.1%	41.7%	
	ナノ物質・材料(構造材料応用等)	20	8	3.8%	8	5	4.9%	40.0%	
	ナノ情報デバイス	2	38	0.4%	1	25	0.6%	50.0%	
	ナノ医療	15	9	2.9%	5	9	3.0%	33.3%	
	ナノバイオロジー	6	21	1.2%	4	13	2.4%	66.7%	
	エネルギー・環境応用	22	7	4.2%	5	9	3.0%	22.7%	
	表面・界面	13	11	2.5%	3	15	1.8%	23.1%	
	計測技術・標準	25	4	4.8%	5	9	3.0%	20.0%	
	加工・合成・プロセス	33	3	6.3%	6	7	3.7%	18.2%	
	基礎物性	2	38	0.4%	0	49	0.0%	0.0%	
	計算・理論・シミュレーション	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	安全空間創成材料	6	21	1.2%	2	18	1.2%	33.3%	
	共通基礎研究	2	38	0.4%	0	49	0.0%	0.0%	
	その他	1	53	0.2%	1	25	0.6%	100.0%	

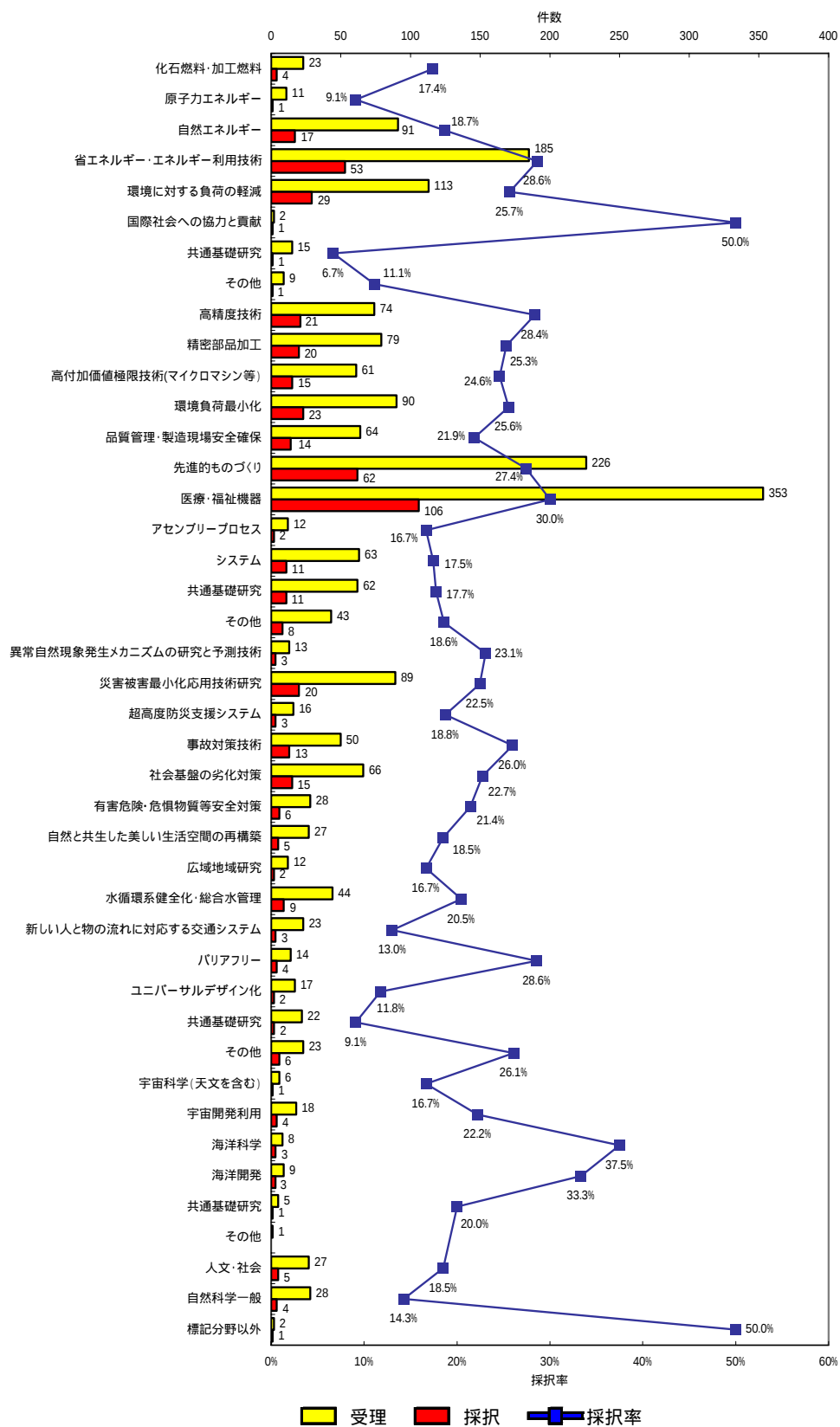
エネルギー	化石燃料・加工燃料	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	15.4%
	原子力エネルギー	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	自然エネルギー	6	21	1.2%	1	25	0.6%	16.7%	
	省エネルギー・エネルギー利用技術	10	15	1.9%	1	25	0.6%	10.0%	
	環境に対する負荷の軽減	7	20	1.3%	2	18	1.2%	28.6%	
	国際社会への協力と貢献	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	共通基礎研究	2	38	0.4%	0	49	0.0%	0.0%	
	その他	1	53	0.2%	0	49	0.0%	0.0%	
ものづくり技術	高精度技術	6	21	1.2%	1	25	0.6%	16.7%	32.0%
	精密部品加工	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	高付加価値極限技術(マイクロマシン等)	5	25	1.0%	3	15	1.8%	60.0%	
	環境負荷最小化	8	18	1.5%	1	25	0.6%	12.5%	
	品質管理・製造現場安全確保	1	53	0.2%	1	25	0.6%	100.0%	
	先進的ものづくり	15	9	2.9%	6	7	3.7%	40.0%	
	医療・福祉機器	39	2	7.5%	11	2	6.7%	28.2%	
	アセンブリープロセス	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	システム	1	53	0.2%	1	25	0.6%	100.0%	
	共通基礎研究	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
社会基盤	その他	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	27.6%
	異常自然現象発生メカニズムの研究と予測技術	2	38	0.4%	2	18	1.2%	100.0%	
	災害被害最小化応用技術研究	4	28	0.8%	1	25	0.6%	25.0%	
	超高度防災支援システム	1	53	0.2%	0	49	0.0%	0.0%	
	事故対策技術	4	28	0.8%	1	25	0.6%	25.0%	
	社会基盤の劣化対策	5	25	1.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	有害危険・危惧物質等安全対策	4	28	0.8%	0	49	0.0%	0.0%	
	自然と共生した美しい生活空間の再構築	2	38	0.4%	1	25	0.6%	50.0%	
	広域地域研究	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	水循環系健全化・総合水管理	3	33	0.6%	1	25	0.6%	33.3%	
	新しい人と物の流れに対応する交通システム	2	38	0.4%	1	25	0.6%	50.0%	
	バリアフリー	1	53	0.2%	0	49	0.0%	0.0%	
	ユニバーサルデザイン化	1	53	0.2%	1	25	0.6%	100.0%	
	共通基礎研究	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	その他	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
フロンティア	宇宙科学(天文を含む)	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	33.3%
	宇宙開発利用	2	38	0.4%	1	25	0.6%	50.0%	
	海洋科学	1	53	0.2%	0	49	0.0%	0.0%	
	海洋開発	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	共通基礎研究	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
	その他	0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	
人文・社会		0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	0.0%
自然科学一般		1	53	0.2%	0	49	0.0%	0.0%	0.0%
標記分野以外		0	67	0.0%	0	49	0.0%	0.0%	0.0%
総計		521	-	100.0%	164	-	100.0%	31.5%	31.5%

注)主分野(必須記載)および副分野(任意記載)を等価データとして集計

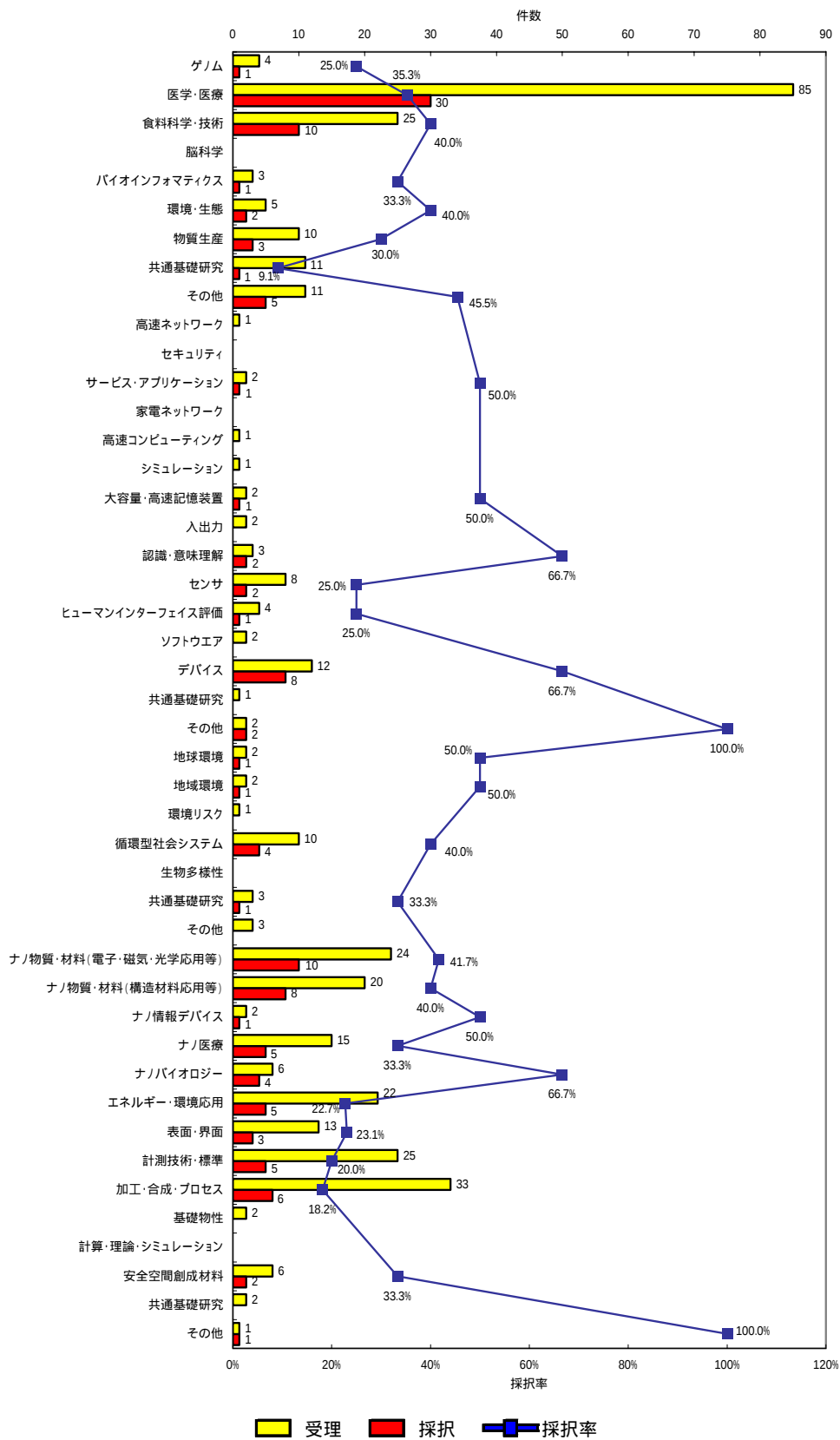
図 2-3-1 技術分野(小分類)別 受理・採択件数と採択率

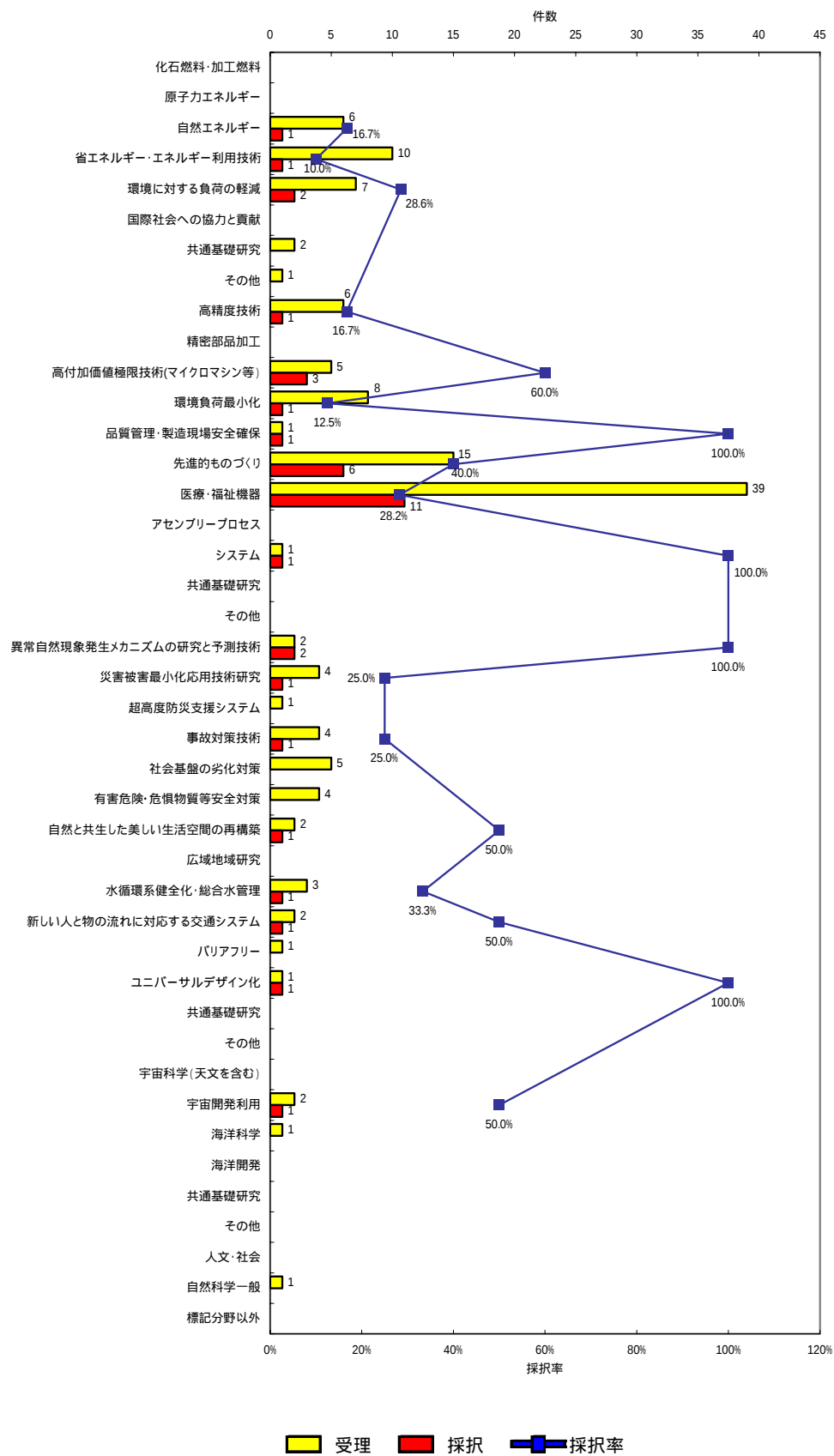
A (発掘型)





B (発展型)





技術分野(小分類)別の本年度受理件数ベスト3は「医学・医療(1230件)」「食料科学・技術(637件)」「加工・合成・プロセス(400件)」の順であった。採択件数ベスト3では「医学・医療(338件)」「食料科学・技術(155件)」「ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)(128件)」の順となっている。

受理件数が100件を超える技術分野における本年度採択率ベスト5は「物質生産(36.1%)」「ナノ物質(33.5%)」「エネルギー・環境応用(33.3%)」「計測技術・標準(30.9%)」「医療・福祉機器(30.0%)」である。

B(発展型)についても、受理件数・採択件数ともにほぼA(発掘型)と同様の分布となっている。、受理件数・採択件数ともに1位が「医学・医療」、2位が「食料科学・技術」で、これもA(発掘型)と同様である。

2-4 地域ブロック別

地域ブロック別の受理・採択件数および採択率を表 2-4-1、図 2-4-1 に、また、受理・採択件数および採択率の推移を表 2-4-2、図 2-4-2 に示す。

表 2-4-1 地域ブロック別 受理・採択データ

A (発掘型)

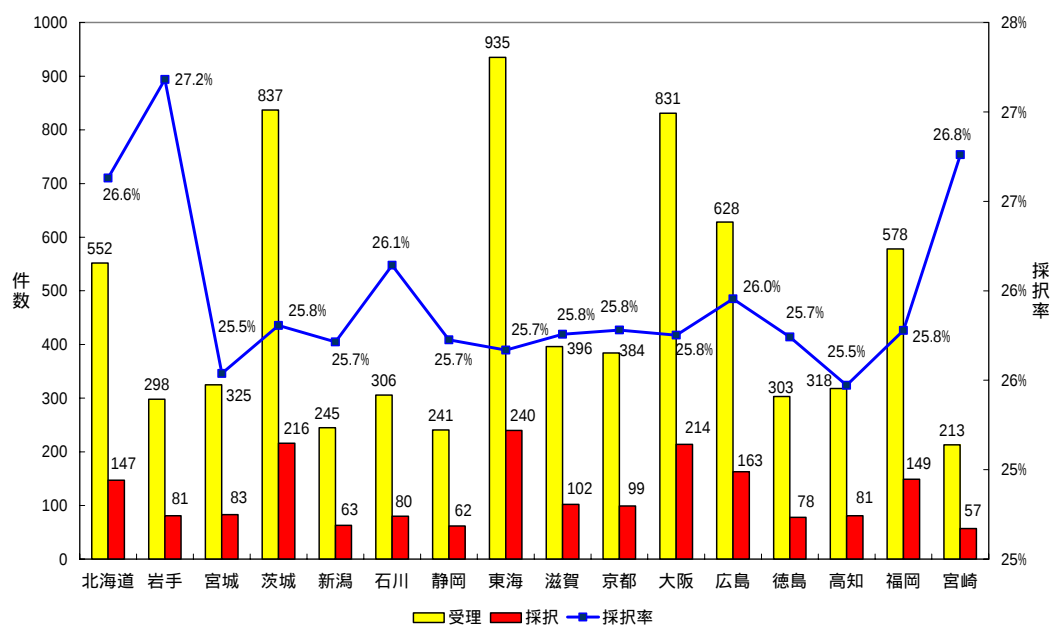
No	地域 ブロック	受理			採択			採択率	
		件数	順位	割合	件数	順位	割合	採択率	順位
1	北海道	552	6	7.5%	147	6	7.7%	26.6%	3
2	岩手	298	13	4.0%	81	10	4.2%	27.2%	1
3	宮城	325	9	4.4%	83	9	4.3%	25.5%	15
4	茨城	837	2	11.3%	216	2	11.3%	25.8%	6
5	新潟	245	14	3.3%	63	14	3.3%	25.7%	13
6	石川	306	11	4.1%	80	12	4.2%	26.1%	4
7	静岡	241	15	3.3%	62	15	3.2%	25.7%	12
8	東海	935	1	12.7%	240	1	12.5%	25.7%	14
9	滋賀	396	7	5.4%	102	7	5.3%	25.8%	9
10	京都	384	8	5.2%	99	8	5.2%	25.8%	7
11	大阪	831	3	11.2%	214	3	11.2%	25.8%	10
12	広島	628	4	8.5%	163	4	8.5%	26.0%	5
13	徳島	303	12	4.1%	78	13	4.1%	25.7%	11
14	高知	318	10	4.3%	81	10	4.2%	25.5%	16
15	福岡	578	5	7.8%	149	5	7.8%	25.8%	8
16	宮崎	213	16	2.9%	57	16	3.0%	26.8%	2
総計		7390	-	100.0%	1915	-	100.0%	25.9%	-

B (発展型)

No	地域 ブロック	受理			採択			採択率	
		件数	順位	割合	件数	順位	割合	採択率	順位
1	北海道	42	4	8.8%	10	6	6.8%	23.8%	15
2	岩手	18	9	3.8%	6	9	4.1%	33.3%	3
3	宮城	16	11	3.4%	6	9	4.1%	37.5%	1
4	茨城	78	1	16.4%	24	1	16.3%	30.8%	10
5	新潟	30	7	6.3%	10	6	6.8%	33.3%	3
6	石川	10	15	2.1%	3	14	2.0%	30.0%	11
7	静岡	16	11	3.4%	5	12	3.4%	31.3%	9
8	東海	38	5	8.0%	12	4	8.2%	31.6%	7
9	滋賀	14	14	2.9%	3	14	2.0%	21.4%	16
10	京都	43	3	9.1%	14	3	9.5%	32.6%	5
11	大阪	62	2	13.1%	20	2	13.6%	32.3%	6
12	広島	27	8	5.7%	8	8	5.4%	29.6%	13
13	徳島	10	15	2.1%	3	14	2.0%	30.0%	11
14	高知	16	11	3.4%	6	9	4.1%	37.5%	1
15	福岡	38	5	8.0%	12	4	8.2%	31.6%	7
16	宮崎	17	10	3.6%	5	12	3.4%	29.4%	14
総計		475	-	100.0%	147	-	100.0%	30.9%	-

図 2-4-1 地域ブロック別 受理・採択件数と採択率

A (発掘型)



B (発展型)

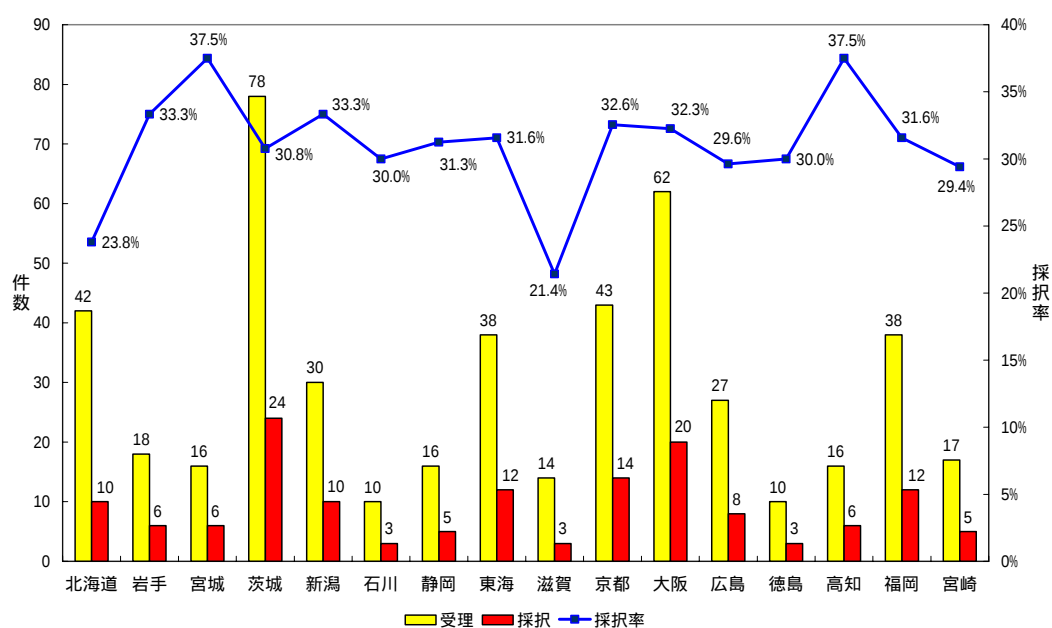
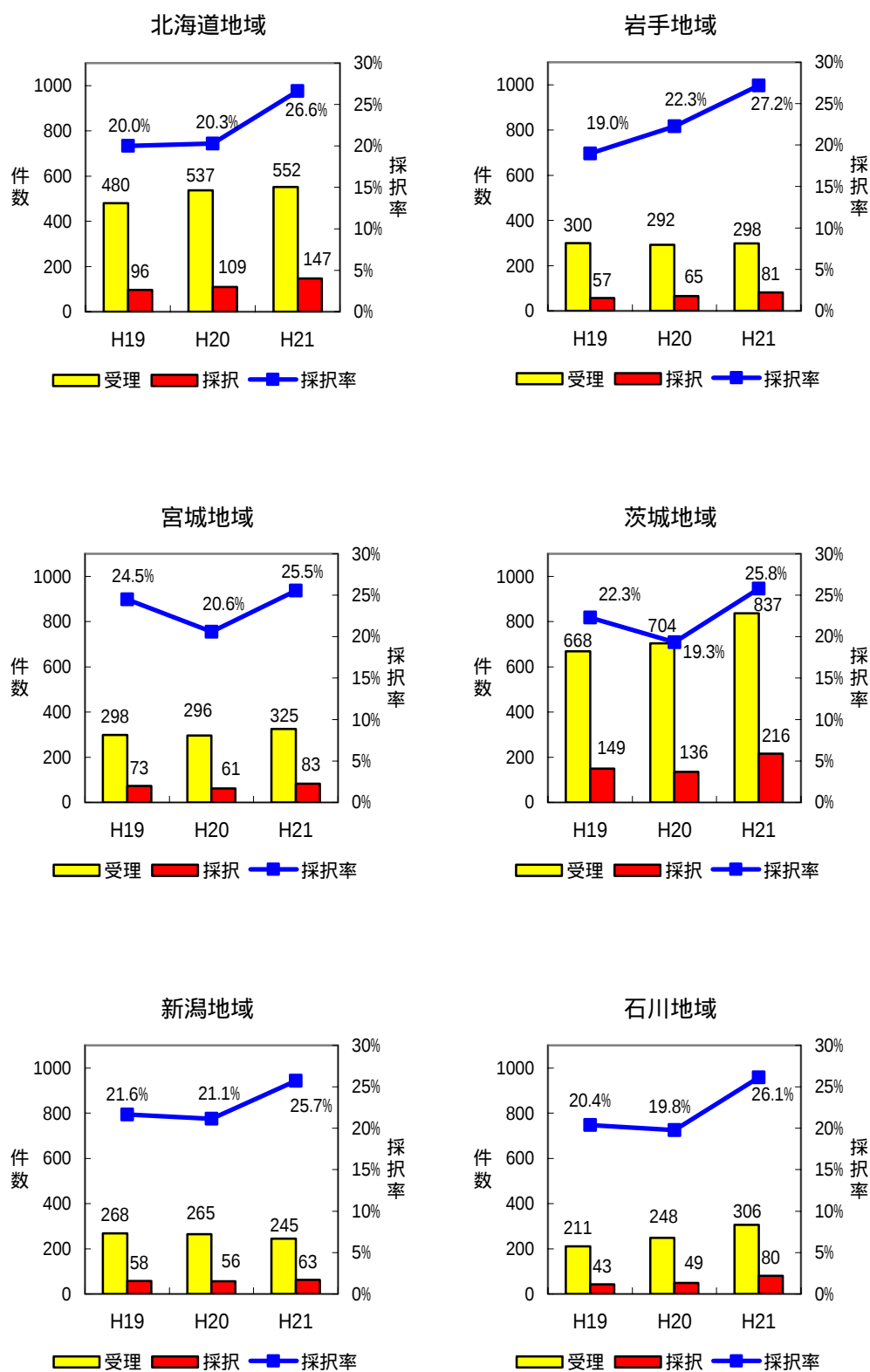


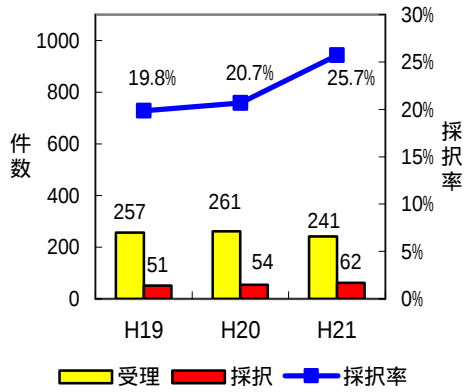
表 2-4-2 地域ブロック別 受理・採択件数と採択率の推移 A(発掘型)

No	地域	受理数			採択数			採択率		
		H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
1	北海道	480	537	552	96	109	147	20.0%	20.3%	26.6%
2	岩手	300	292	298	57	65	81	19.0%	22.3%	27.2%
3	宮城	298	296	325	73	61	83	24.5%	20.6%	25.5%
4	茨城	668	704	837	149	136	216	22.3%	19.3%	25.8%
5	新潟	268	265	245	58	56	63	21.6%	21.1%	25.7%
6	石川	211	248	306	43	49	80	20.4%	19.8%	26.1%
7	静岡	257	261	241	51	54	62	19.8%	20.7%	25.7%
8	東海	510	629	935	107	127	240	21.0%	20.2%	25.7%
9	滋賀	254	298	396	49	63	102	19.3%	21.1%	25.8%
10	京都	388	348	384	83	76	99	21.4%	21.8%	25.8%
11	大阪	671	772	831	144	149	214	21.5%	19.3%	25.8%
12	広島	523	533	628	105	106	163	20.1%	19.9%	26.0%
13	徳島	254	263	303	48	56	78	18.9%	21.3%	25.7%
14	高知	254	304	318	48	78	81	18.9%	25.7%	25.5%
15	福岡	509	507	578	106	109	149	20.8%	21.5%	25.8%
16	宮崎	173	197	213	33	38	57	19.1%	19.3%	26.8%

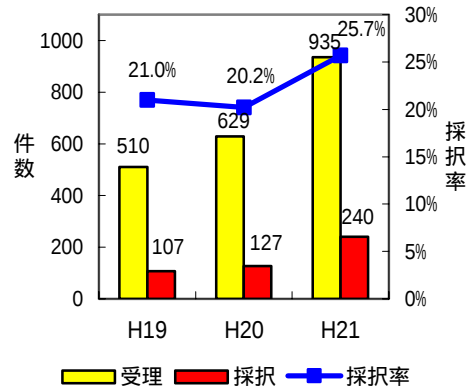
図 2-4-2 地域ブロック別 受理・採択件数と採択率の推移 A(発掘型)



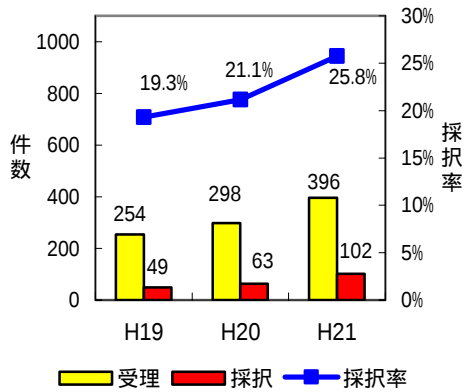
静岡地域



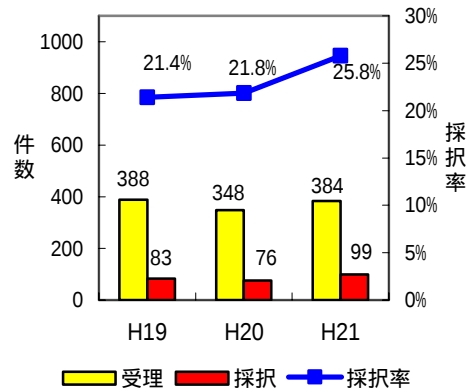
東海地域



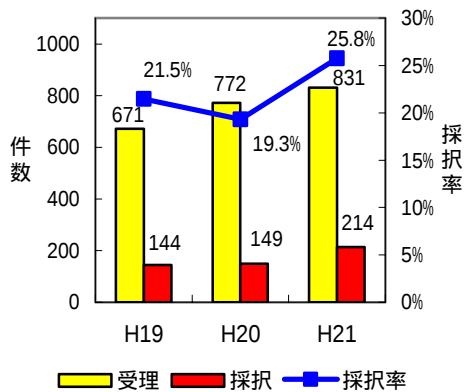
滋賀地域



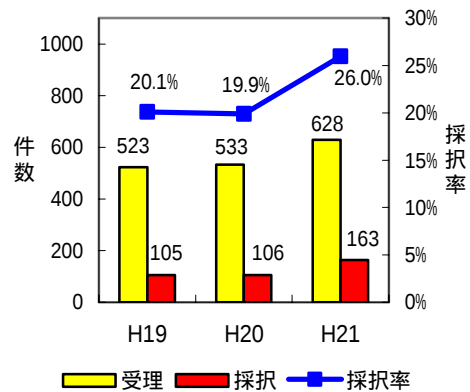
京都地域



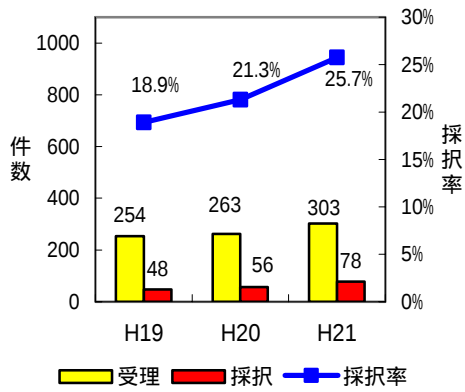
大阪地域



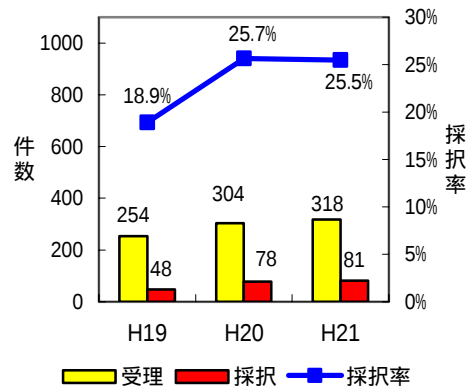
広島地域



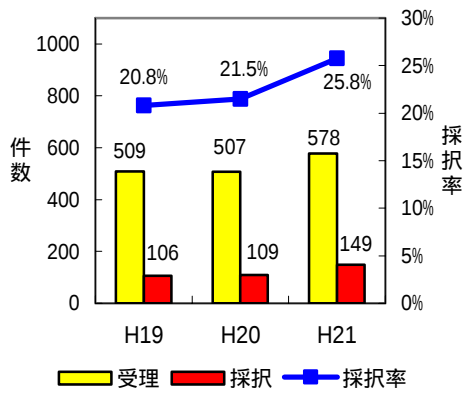
徳島地域



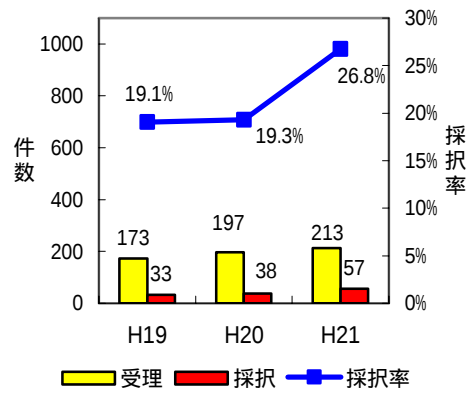
高知地域



福岡地域



宮崎地域



本年度の地域ブロック別受理件数ベスト3は「東海(935件)」「茨城(837件)」「大阪(831件)」である。採択件数ベスト3は「東海(240件)」「茨城(216件)」「大阪(214件)」で、受理件数ベスト3の地域ブロックがそのまま採択件数ベスト3となった。尚、2位と3位は僅差である。

地域ブロック別採択率ベスト3は「岩手(27.2%)」「宮崎(26.8%)」「北海道(26.6%)」である。

地域ブロック別の採択件数の推移を見ると以下の通りである。

- ・ 前年度比較で採択件数が大幅に増加した地域は「東海(前年比 190.0%)」「石川(163.3%)」「滋賀(161.9%)」である。
- ・ 前年度比較で160%以上採択件数を増加させた地域は「東海(前年比 190.0%)」「石川(163.3%)」「滋賀(161.9%)」である。
- ・ 昨年大幅に増加し、採択率トップだった「高知」は、前年比 103.8%と僅かに増加しただけであった。
- ・ 全体平均(前年比 159.3%)に近い採択件数増加を示した地域は「滋賀(前年比 161.9%)」である。
- ・ 全体平均以下ではあるが、採択数が増加した地域は「茨城(前年比 158.8%)」「広島(153.8%)」「宮崎(150.0%)」「大阪(143.6%)」「徳島(139.3%)」「福岡(136.7%)」「宮城(136.0%)」「北海道(134.9%)」「静岡(114.8%)」「新潟(112.5%)」「徳島(139.3%)」「福岡(136.7%)」「宮城(136.0%)」「北海道(134.9%)」「静岡(114.8%)」「新潟(112.5%)」「高知(103.8%)」である。
- ・ 前年度比で採択数が減少した地域はない。

B(発展型)については、受理件数・採択件数ともにA(発掘型)ではベスト3内の「茨城」と「大阪」が1位2位となっている。採択率では「宮城(37.5%)」「高知(37.5%)」が同率1位で、他ブロックに比べ目立って高い。

2-5 地域ブロック別 技術分野(大分類)別

地域ブロック別 技術分野(大分類)別の受理・採択件数と採択率を表 2-5-1、図 2-5-1 に、受理・採択件数割合を図 2-5-2 に示す。

表 2-5-1 地域ブロック別 技術分野(大分類)別 受理・採択データ

A(発掘型)

地域		ライフ サイエ	情報通 信	環境	ナノテ ク・材	エネル ギー	ものづ くり技	社会基 盤	フロン ティア	人文・ 社会	自然科 学一般	標記分 野以外	合計
北海道	受理	230	64	29	94	42	80	40	4	3	1	0	587
	採択	78	15	5	25	9	20	4	0	0	0	0	156
	採択率	33.9%	23.4%	17.2%	26.6%	21.4%	25.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.6%
岩手	受理	143	22	13	73	12	49	9	1	0	2	1	325
	採択	41	3	3	27	1	11	1	1	0	0	1	89
	採択率	28.7%	13.6%	23.1%	37.0%	8.3%	22.4%	11.1%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	27.4%
宮城	受理	135	47	26	122	29	70	15	0	3	2	0	449
	採択	40	6	4	30	8	18	5	0	0	0	0	111
	採択率	29.6%	12.8%	15.4%	24.6%	27.6%	25.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	24.7%
茨城	受理	281	100	67	258	55	147	60	6	5	3	0	982
	採択	72	28	19	70	16	34	11	2	2	1	0	255
	採択率	25.6%	28.0%	28.4%	27.1%	29.1%	23.1%	18.3%	33.3%	40.0%	33.3%	0.0%	26.0%
新潟	受理	83	14	16	73	20	41	13	0	1	1	0	262
	採択	22	5	2	23	6	8	2	0	0	0	0	68
	採択率	26.5%	35.7%	12.5%	31.5%	30.0%	19.5%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.0%
石川	受理	107	40	11	66	18	58	15	0	2	0	0	317
	採択	32	8	4	19	4	15	2	0	0	0	0	84
	採択率	29.9%	20.0%	36.4%	28.8%	22.2%	25.9%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.5%
静岡	受理	76	26	7	70	11	37	11	4	1	1	0	244
	採択	18	6	1	22	0	10	3	2	0	0	0	62
	採択率	23.7%	23.1%	14.3%	31.4%	0.0%	27.0%	27.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.4%
東海	受理	311	94	55	300	65	126	69	4	1	2	0	1027
	採択	80	31	15	69	16	36	17	1	0	1	0	266
	採択率	25.7%	33.0%	27.3%	23.0%	24.6%	28.6%	24.6%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.9%
滋賀	受理	112	57	22	97	12	56	44	3	2	1	0	406
	採択	22	14	6	28	4	15	13	1	0	1	0	104
	採択率	19.6%	24.6%	27.3%	28.9%	33.3%	26.8%	29.5%	33.3%	0.0%	100.0%	0.0%	25.6%
京都	受理	161	36	15	130	13	52	21	2	0	0	0	430
	採択	48	4	3	38	5	8	2	1	0	0	0	109
	採択率	29.8%	11.1%	20.0%	29.2%	38.5%	15.4%	9.5%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.3%
大阪	受理	256	100	33	296	39	123	35	5	3	4	0	894
	採択	53	16	9	79	7	40	16	1	2	0	0	223
	採択率	20.7%	16.0%	27.3%	26.7%	17.9%	32.5%	45.7%	20.0%	66.7%	0.0%	0.0%	24.9%
広島	受理	258	67	40	142	51	108	37	2	2	6	0	713
	採択	73	11	7	49	16	32	5	0	0	0	0	193
	採択率	28.3%	16.4%	17.5%	34.5%	31.4%	29.6%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.1%
徳島	受理	119	25	26	64	14	46	20	1	0	1	0	316
	採択	30	4	8	21	4	11	3	1	0	1	0	83
	採択率	25.2%	16.0%	30.8%	32.8%	28.6%	23.9%	15.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	26.3%
高知	受理	141	23	24	62	18	41	16	3	0	0	1	329
	採択	40	3	6	18	2	13	2	1	0	0	0	85
	採択率	28.4%	13.0%	25.0%	29.0%	11.1%	31.7%	12.5%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	25.8%
福岡	受理	240	51	43	190	38	73	31	12	1	3	0	682
	採択	65	8	11	62	5	19	4	1	1	0	0	176
	採択率	27.1%	15.7%	25.6%	32.6%	13.2%	26.0%	12.9%	8.3%	100.0%	0.0%	0.0%	25.8%
宮崎	受理	99	12	17	44	12	20	8	0	3	1	0	216
	採択	21	2	3	22	4	3	3	0	0	0	0	58
	採択率	21.2%	16.7%	17.6%	50.0%	33.3%	15.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.9%
総計	受理	2752	778	444	2081	449	1127	444	47	27	28	2	8179
	採択	735	164	106	602	107	293	93	12	5	4	1	2122
	採択率	26.7%	21.1%	23.9%	28.9%	23.8%	26.0%	20.9%	25.5%	18.5%	14.3%	50.0%	25.9%

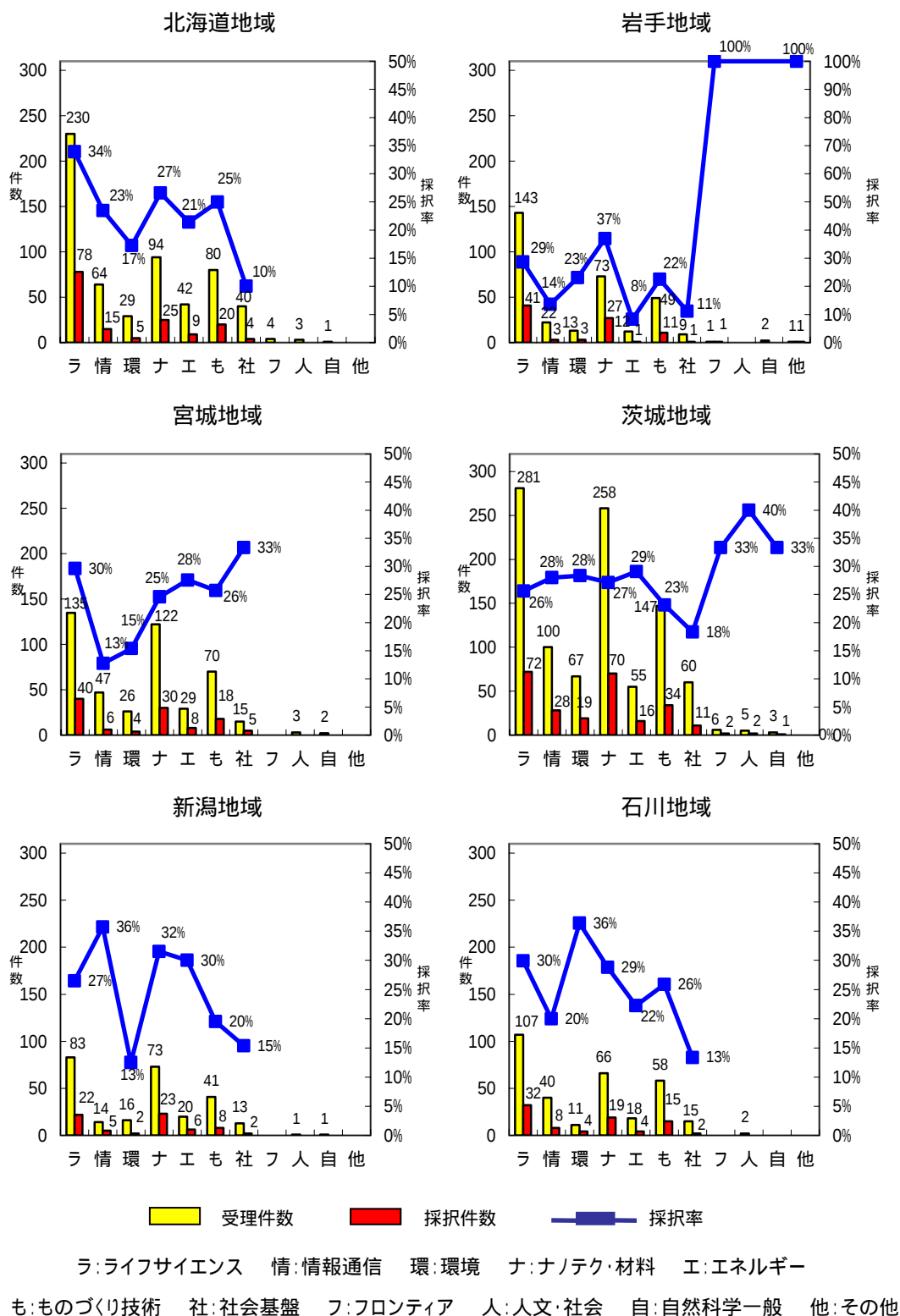
注) 主分野(必須記載)および副分野(任意記載)を等価データとして集計

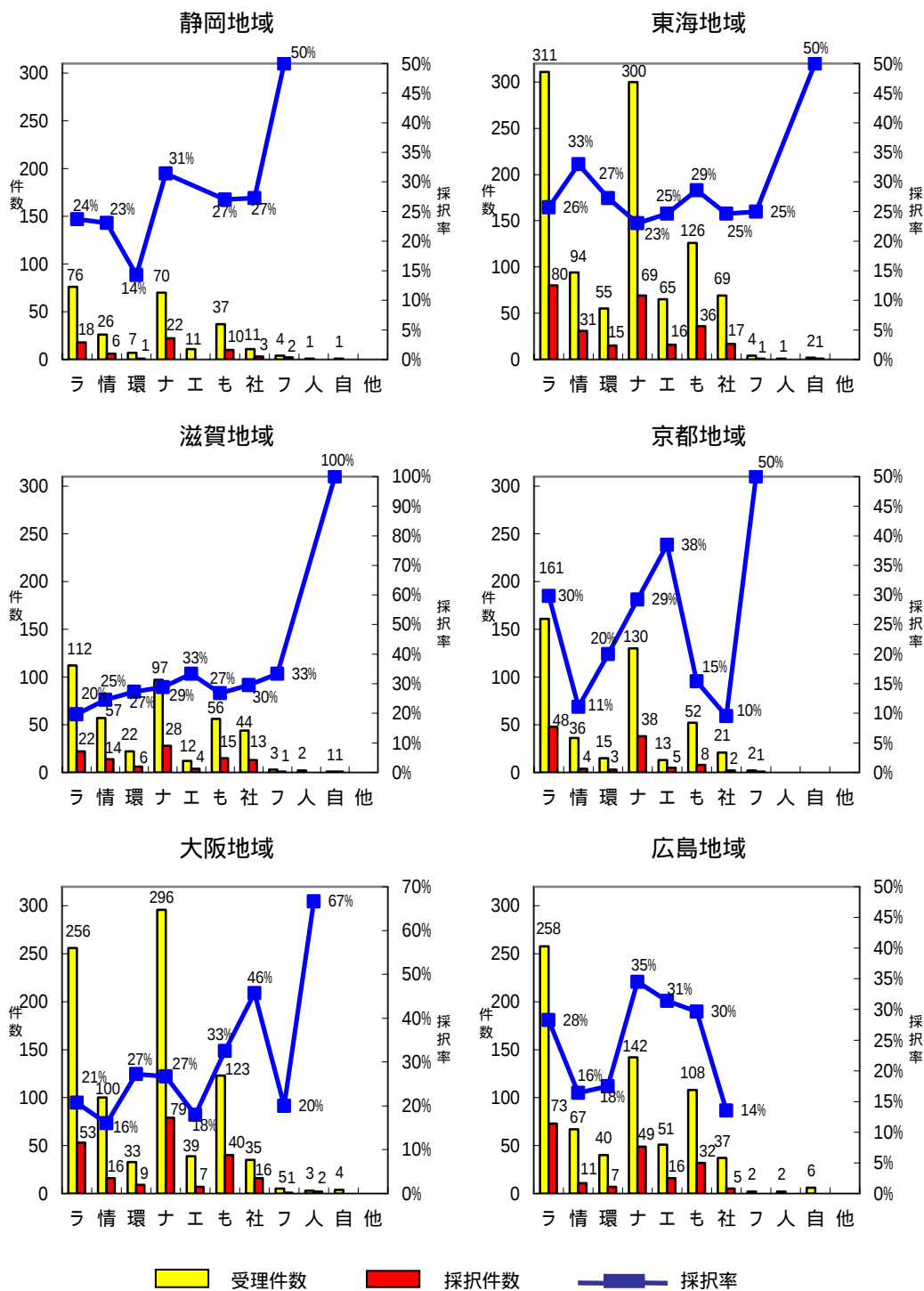
B(発展型)

地域		ライフ サイエ	情報通 信	環境	ナノテ ク・材	エネル ギー	ものづ くり技	社会基 盤	フロン ティア	人文・ 社会	自然科 学一般	標記分 野以外	合計
北海道	受理	14	3	4	12	3	8	1	0	0	0	0	45
	採択	4	2	2	1	0	2	0	0	0	0	0	11
	採択率	28.6%	66.7%	50.0%	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	24.4%
岩手	受理	10	1	0	4	0	3	1	0	0	0	0	19
	採択	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6
	採択率	40.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.6%
宮城	受理	2	4	1	9	0	2	0	0	0	0	0	18
	採択	1	1	0	4	0	1	0	0	0	0	0	7
	採択率	50.0%	25.0%	0.0%	44.4%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.9%
茨城	受理	23	10	3	25	6	13	8	0	0	0	0	88
	採択	8	4	1	7	0	5	2	0	0	0	0	27
	採択率	34.8%	40.0%	33.3%	28.0%	0.0%	38.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.7%
新潟	受理	11	2	1	7	2	5	2	0	0	0	0	30
	採択	6	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	10
	採択率	54.5%	0.0%	100.0%	14.3%	50.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
石川	受理	4	2	0	3	0	0	1	0	0	0	0	10
	採択	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	採択率	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%
静岡	受理	4	4	0	7	0	3	0	0	0	0	0	18
	採択	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7
	採択率	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.9%
東海	受理	11	3	1	18	2	7	2	0	0	0	0	44
	採択	4	3	1	3	1	3	0	0	0	0	0	15
	採択率	36.4%	100.0%	100.0%	16.7%	50.0%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	34.1%
滋賀	受理	4	1	0	3	2	3	1	0	0	0	0	14
	採択	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
	採択率	0.0%	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%
京都	受理	21	0	1	15	0	6	4	0	0	0	0	47
	採択	7	0	0	5	0	3	2	0	0	0	0	17
	採択率	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	36.2%
大阪	受理	9	2	2	30	3	15	4	1	0	0	0	66
	採択	2	0	1	11	1	4	2	0	0	0	0	21
	採択率	22.2%	0.0%	50.0%	36.7%	33.3%	26.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.8%
広島	受理	13	0	2	8	3	0	2	0	0	0	0	28
	採択	3	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	8
	採択率	23.1%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
徳島	受理	3	0	0	4	0	1	0	2	0	1	0	11
	採択	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	3
	採択率	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%
高知	受理	7	4	1	6	0	0	0	0	0	0	0	18
	採択	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6
	採択率	42.9%	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
福岡	受理	11	5	3	17	4	5	1	0	0	0	0	46
	採択	4	2	1	6	1	1	0	0	0	0	0	15
	採択率	36.4%	40.0%	33.3%	35.3%	25.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	32.6%
宮崎	受理	7	0	2	3	1	4	2	0	0	0	0	19
	採択	1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	5
	採択率	14.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.3%
総計	受理	154	41	21	171	26	75	29	3	0	1	0	521
	採択	53	17	7	50	4	24	8	1	0	0	0	164
	採択率	34.4%	41.5%	33.3%	29.2%	15.4%	32.0%	27.6%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	31.5%

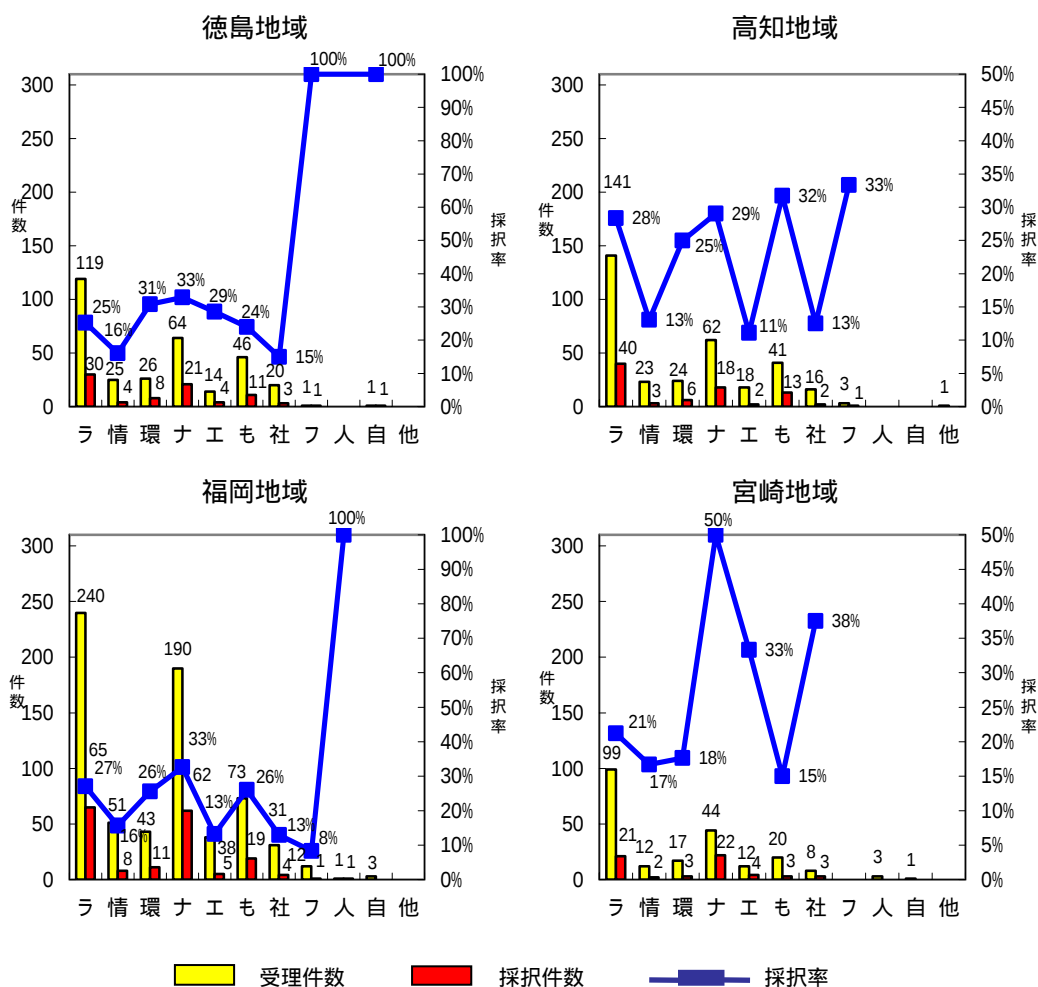
注) 主分野(必須記載)および副分野(任意記載)を等価データとして集計

図 2-5-1 地域ブロック別 技術分野(大分類)別 受理・採択件数と採択率
A (発掘型)



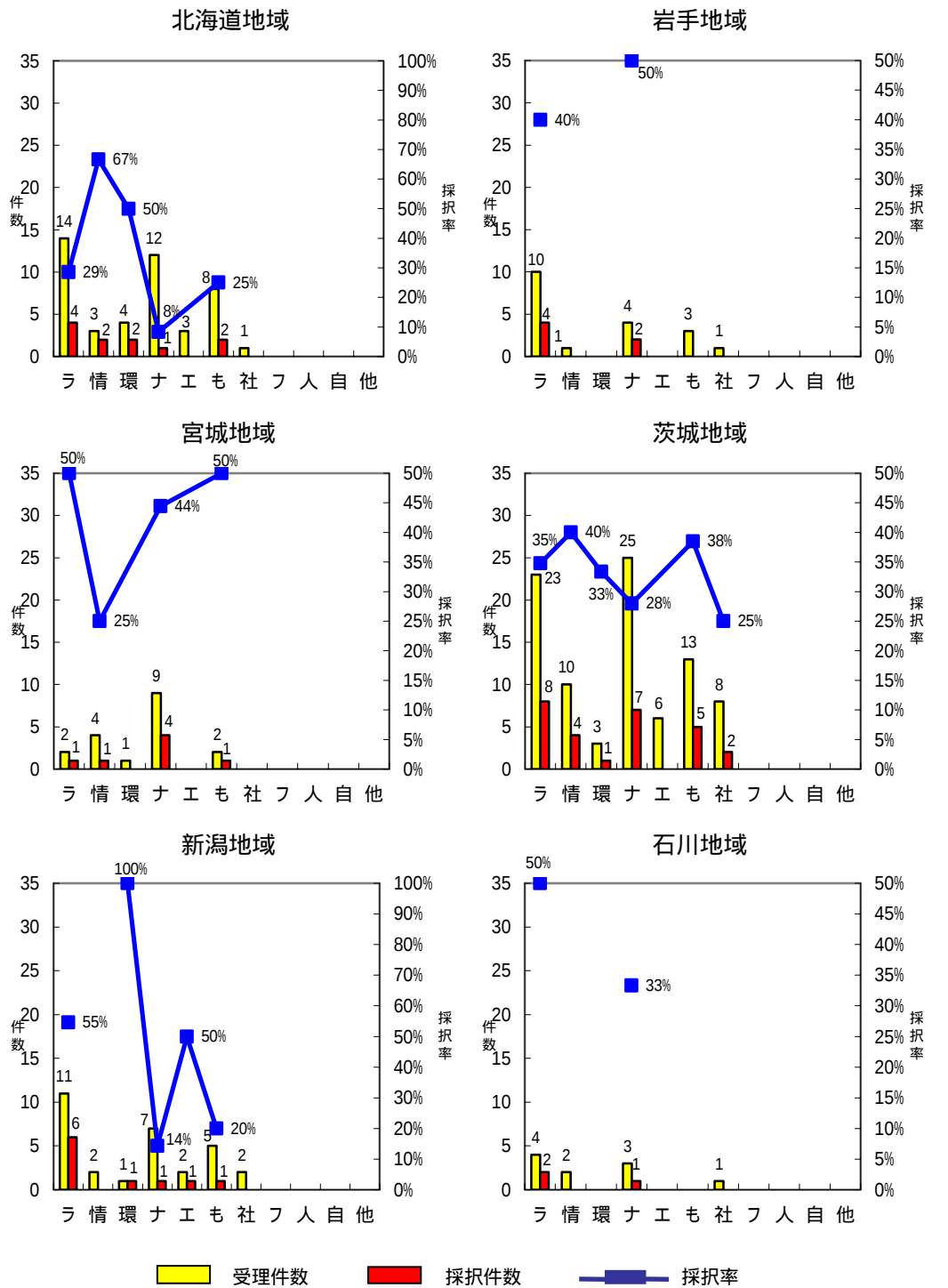


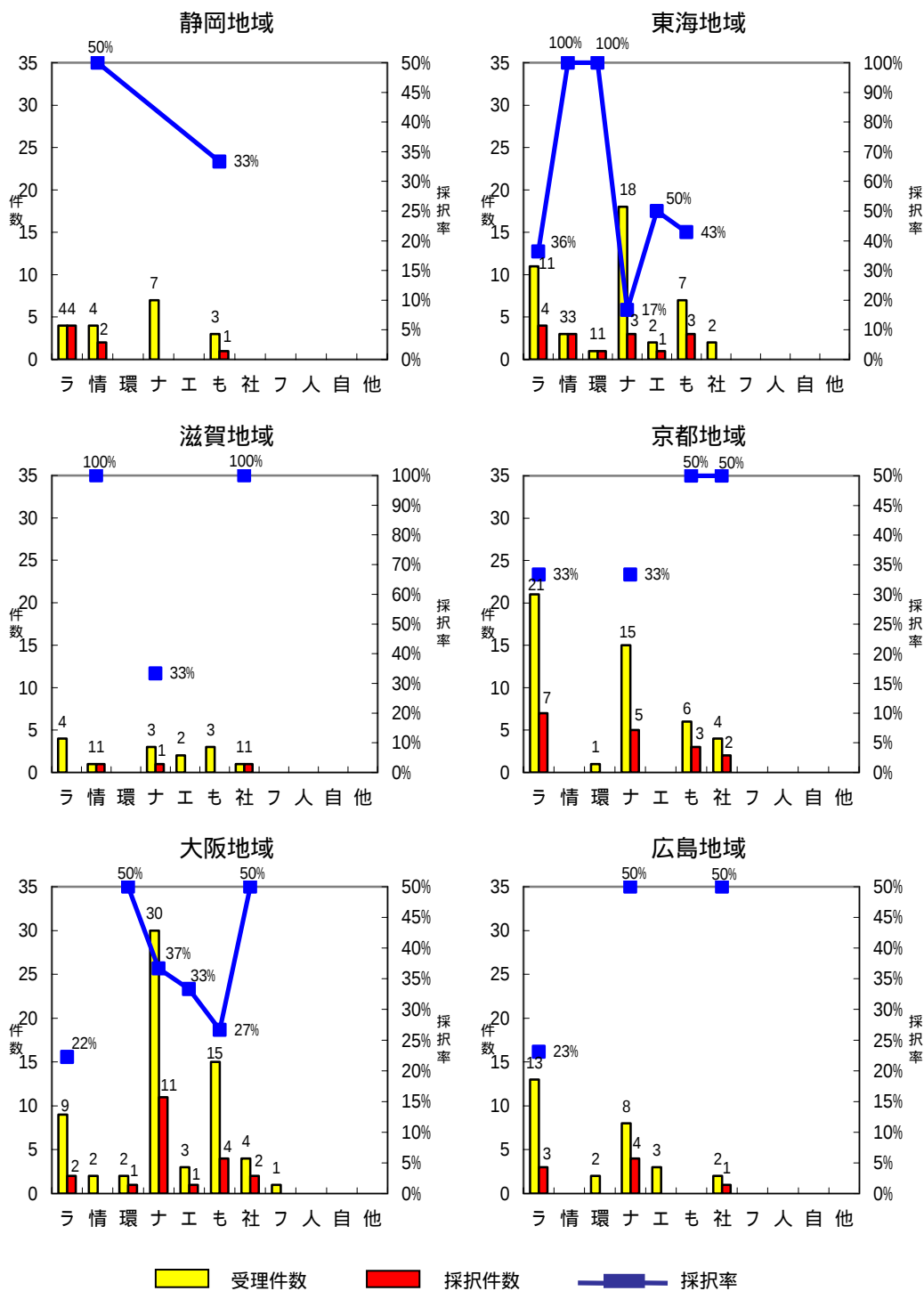
ラ:ライフサイエンス 情:情報通信 環:環境 ナ:ナノテク・材料 エ:エネルギー
 も:ものづくり技術 社:社会基盤 フ:フロンティア 人:人文・社会 自:自然科学一般 他:その他



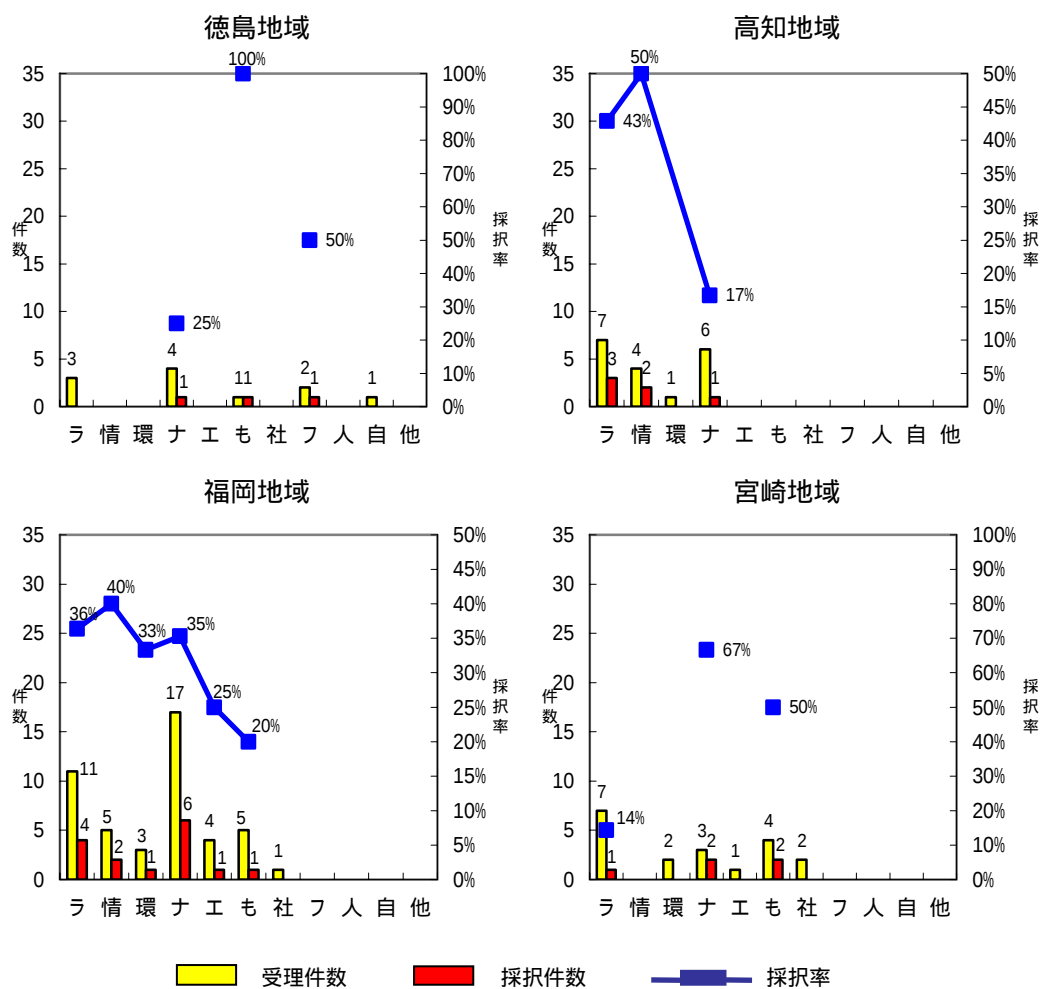
ラ:ライフサイエンス 情:情報通信 環:環境 ナ:ナノテク・材料 エ:エネルギー
 も:ものづくり技術 社:社会基盤 フ:フロンティア 人:人文・社会 自:自然科学一般 他:その他

B (発展型)





ラ:ライフサイエンス 情:情報通信 環:環境 ナ:ナノテク・材料 エ:エネルギー
 も:ものづくり技術 社:社会基盤 フ:フロンティア 人:人文・社会 自:自然科学一般 他:その他



ラ:ライフサイエンス 情:情報通信 環:環境 ナ:ナノテク・材料 エ:エネルギー
 も:ものづくり技術 社:社会基盤 フ:フロンティア 人:人文・社会 自:自然科学一般 他:その他

北海道地域は、『ライフサイエンス』が中心となっている(受理 230 件で全国 6 位、採択 78 件で全国 2 位)。この分野の採択率が 33.9%と全国 1 位となっている。岩手地域で採択件数が多いのは、『ライフサイエンス(41 件)』『ナノテク・材料(27 件)』である。また、『ナノテク・材料』の採択率(37.0%)は全国 2 位である。さらに全体でみた採択率は全国 1 位である。

宮城地域で採択件数が多いのは、『ライフサイエンス(40 件)』で、採択率(29.6%)は全国 4 位である。また、採択率で『社会基盤(33.3%)』は全国 3 位である。

茨城地域で採択件数が多いのは、『ライフサイエンス(72 件)』『ナノテク・材料(70 件で全国 2 位)』『ものづくり技術(34 件で全国 3 位)』『情報通信(28 件で全国 2 位)』などがある。また、『環境(受理 67 件、採択 19 件)』は突出して多く、全国 1 位である。全体的に幅広い分野でトップクラスである。

新潟地域で採択件数が多いのは、『ナノテク・材料(23 件)』『ライフサイエンス(22 件)』などである。また、採択率で『情報通信(35.7%)』が全国 3 位という側面も持っている。

石川地域で採択件数が多いのは、『ライフサイエンス(32 件)』で採択率(29.9%)は全国 2 位となっている。他に『ナノテク・材料(19 件)』などがある。また、採択率で『環境(36.4%)』は全国 1 位と健闘している。

静岡地域で採択件数が多いのは、『ナノテク・材料(22 件)』『ライフサイエンス(18 件)』『ものづくり技術(10 件)』などである。採択率で『フロンティア(50.0%)』は全国 3 位である。

東海地域で採択件数が多いのは、『ライフサイエンス(80 件で全国 1 位)』『ナノテク・材料(69 件で全国 3 位)』『ものづくり技術(36 件で全国 4 位)』『情報通信(31 件で全国 1 位)』などである。また、採択率で『情報通信(33.0%)』は全国 3 位となっており、幅広い分野においてトップクラスを占めている。

滋賀地域で採択件数が多いのは、『ナノテク・材料(28 件)』『ライフサイエンス(22 件)』『ものづくり技術(15 件)』などである。『社会基盤』は採択件数 13 件であるが、受理件数 40 件と全国トップクラスである。また、採択率では『社会基盤(29.5%)』で全国 4 位となっている。

京都地域で採択件数が多いのは、『ライフサイエンス(48 件)』『ナノテク・材料(38 件で全国 5 位)』などである。また、採択率では『エネルギー(38.5%)』が全国 1 位、『ライフサイエンス(29.8%)』で全国 3 位である。

大阪地域で採択件数が多いのは、『ナノテク・材料(79 件で全国 1 位)』『ライフサイエンス(53 件)』『ものづくり技術(40 件で全国 1 位)』『情報通信(16 件)』『社会基盤(16 件で全国 1 位)』などである。『社会基盤』は採択率 45.7%で全国 1 位である。

広島地域で採択件数が多いのは、『ライフサイエンス(73 件で全国 3 位)』『ナノテ

ク・材料(49 件で全国 5 位)、『ものづくり技術(32 件で全国 4 位)』があり、『エネルギー』においては受理件数 51 件、採択件数 16 件で全国トップクラスである。また、採択率で『ナノテク・材料(34.5%)』『ものづくり技術(29.6%)』はいずれも全国 3 位であり、健闘している。

徳島地域で採択件数が多いのは、『ライフサイエンス(30 件)』『ナノテク・材料(21 件)』『ものづくり技術(11 件)』などである。『環境(8 件)』で全国 2 位という側面も持っている。また、採択率で『環境(30.8%)』は全国 2 位である。

高知地域で採択件数が多いのは、『ライフサイエンス(40 件)』『ナノテク・材料(18 件)』『ものづくり技術(13 件)』などである。また、採択率で『ものづくり技術(31.7%)』が全国 2 位という側面も持っている。

福岡地域で採択件数が多いのは、『ライフサイエンス(65 件)』『ナノテク・材料(62 件)』『ものづくり技術(19 件)』『環境(11 件で全国 2 位)』などである。

宮崎地域で採択件数が多いのは、『ナノテク・材料(22 件)』『ライフサイエンス(21 件)』などである。また、採択率で『ナノテク・材料(50.0%)』は全国 1 位、『社会基盤(37.5%)』は全国 2 位である。

B(発展型)については、採択件数では A(発掘型)同様に茨城地域、大阪地域が幅広い分野でトップクラスである。その後京都地域、福岡地域と続く。京都地域では『ライフサイエンス』で受理件数 21 件採択件数 7 件と突出している。

2-6 地域ブロック別 技術分野(小分類)別

地域ブロック別 技術分野(小分野)別受理件数トップ3を表2-6-1に示す。

表2-6-1 地域ブロック別 技術分野(小分類)別 受理数トップ3

A(発掘型)

地域	1位		2位		3位	
	分野	件数	分野	件数	分野	件数
北海道	食料科学・技術	87	医学・医療	70	ライフサイエンスその他	29
岩手	医学・医療	54	食料科学・技術	47	医療・福祉機器	20
宮城	医学・医療	65	加工・合成・プロセス	37	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)	26
茨城	医学・医療	118	食料科学・技術	57	医療・福祉機器	47
新潟	医学・医療	39	食料科学・技術	24	エネルギー・環境応用, 加工・合成・プロセス	14
石川	医学・医療	60	医療・福祉機器	24	食料科学・技術, 加工・合成・プロセス	11
静岡	医学・医療	30	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)	23	食料科学・技術	22
東海	医学・医療	129	食料科学・技術	70	加工・合成・プロセス	64
滋賀	医学・医療	59	加工・合成・プロセス	19	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等), 計測技術・標準	17
京都	医学・医療	66	食料科学・技術	30	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)	28
大阪	医学・医療	133	加工・合成・プロセス	72	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)	63
広島	医学・医療	112	食料科学・技術	64	医療・福祉機器	38
徳島	医学・医療	51	食料科学・技術	34	医療・福祉機器	16
高知	医学・医療	69	食料科学・技術	34	ライフサイエンスその他	17
福岡	医学・医療	123	食料科学・技術	46	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)	30
宮崎	医学・医療	52	食料科学・技術	31	エネルギー・環境応用	10

B(発展型)

地域	1位		2位		3位	
	分野	件数	分野	件数	分野	件数
北海道	医学・医療食料科学・技術	5	計測技術・標準医療・福祉機器	4	-	-
岩手	医学・医療	7	医療・福祉機器	2	環境・生態	1
					共通基礎研究	
					ライフサイエンスその他	
					センサ	
					ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)	
					ナノ物質・材料(構造材料応用等)	
					エネルギー・環境応用	
					表面・界面	
宮城	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)	3	計測技術・標準	3	環境負荷最小化	2
					社会基盤の劣化対策	
茨城	医学・医療	14	医療・福祉機器	6	医学・医療	5
					センサ	
新潟	医学・医療	6	先進的ものづくり	3	エネルギー・環境応用	2
					加工・合成・プロセス	
					食料科学・技術	
					物質生産	
					計測技術・標準	
石川	医学・医療	3	食料科学・技術	1	加工・合成・プロセス	-
					医療・福祉機器	
					ヒューマンインターフェイス評価	
					デバイス	
					ナノ物質・材料(構造材料応用等)	
静岡	加工・合成・プロセス	4	食料科学・技術	2	計測技術・標準	-
					基礎物性	
					社会基盤の劣化対策	
					医療・福祉機器	
東海	加工・合成・プロセス	4	医学・医療	3	食料科学・技術	-
					デバイス	
					エネルギー・環境応用	
					医療・福祉機器	
滋賀	医学・医療	4	医療・福祉機器	3	エネルギー・環境応用	2
京都	医学・医療	12	医療・福祉機器	5	計測技術・標準	4
大阪	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)	6	-	-	-	-
	加工・合成・プロセス					
	医療・福祉機器					
広島	医学・医療	8	食料科学・技術	2	-	-
徳島	計測技術・標準	2	医学・医療	1	-	-
高知	医学・医療	5	加工・合成・プロセス	4	-	1
福岡	食料科学・技術	4	-	-	-	-
	ナノ物質・材料(構造材料応用等)					
宮崎	医療・福祉機器	6	エネルギー・環境応用	2	-	-
	医学・医療					

地域ブロック別 技術分野(小分野)別受理件数トップ3 特徴を以下に示す。

北海道地域以外では「医学・医療」が1位となっている。(北海道地域においては「食料科学・技術(87件)」「医学・医療(70件)」で第2位である)

宮城、石川、滋賀、大阪の4地域を除く12地域において、「食料科学・技術」がトップ3内に入っている。

「加工・合成・プロセス」「ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)」が6地域、「医療・福祉機器」が5地域においてトップ3に入ってきている。

B(発展型)については、「ゲノム」が12地域、「医学・医療」が9地域、「食料科学・技術」「脳科学」「バイオインフォマティクス」が7地域、「環境・生態」「物質生産」「共通基礎研究」が5地域においてトップ3に入っている。

2-7 都道府県別

代表研究者所属機関の都道府県別に受理・採択件数と採択率を表 2-7-1、図 2-7-1 に、都道府県別 受理・採択状況の推移を表 2-7-2、図 2-7-2 に示す。

表 2-7-1 都道府県別 受理・採択データ

A (発掘型)

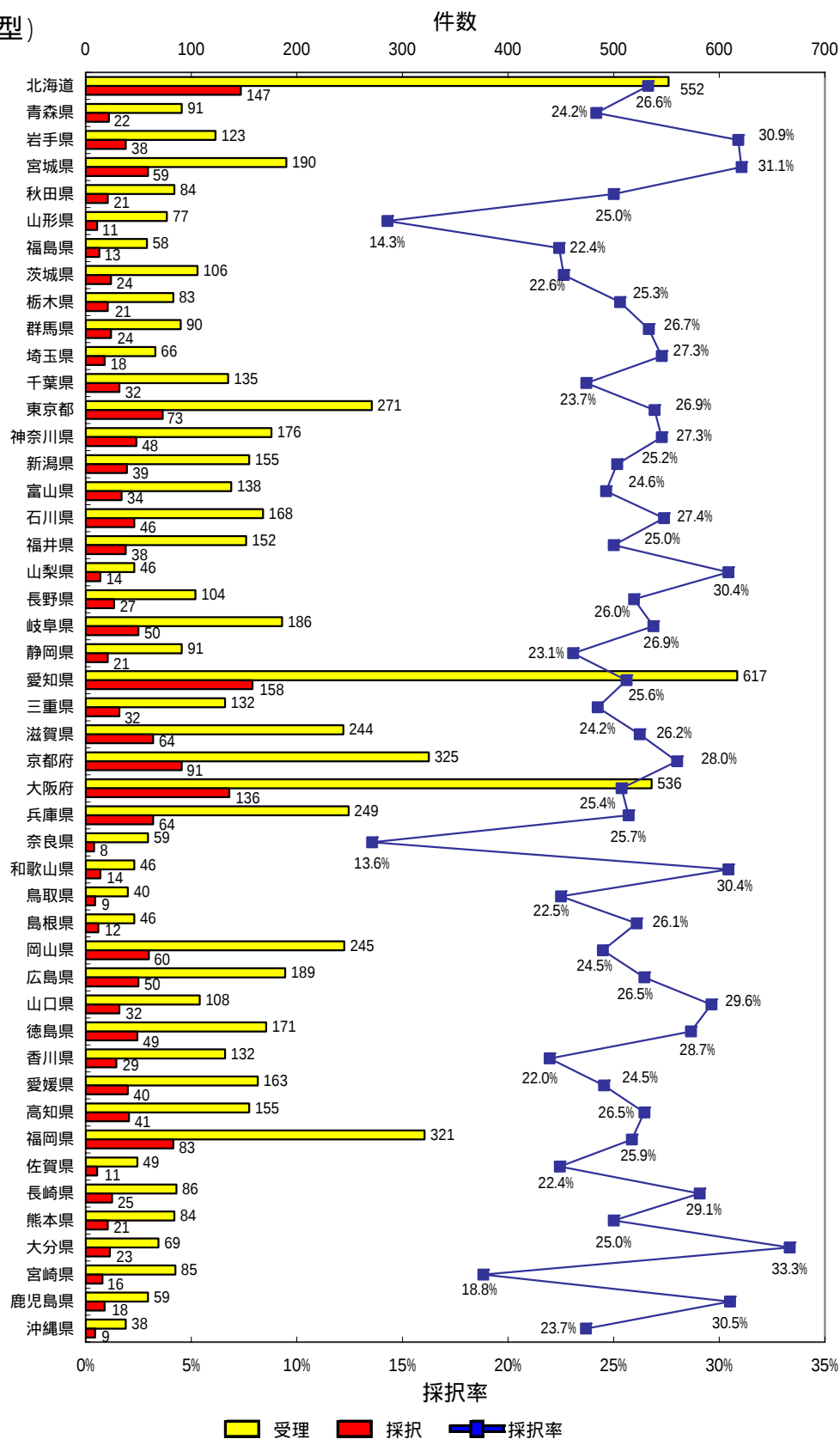
No	都道府県	受理			採択			採択率	
		件数	順位	割合	件数	順位	割合	件数	順位
1	北海道	552	2	7.5%	147	2	7.7%	26.6%	17
2	青森県	91	28	1.2%	22	31	1.1%	24.2%	36
3	岩手県	123	24	1.7%	38	19	2.0%	30.9%	3
4	宮城県	190	10	2.6%	59	10	3.1%	31.1%	2
5	秋田県	84	33	1.1%	21	32	1.1%	25.0%	29
6	山形県	77	36	1.0%	11	43	0.6%	14.3%	46
7	福島県	58	41	0.8%	13	41	0.7%	22.4%	43
8	茨城県	106	26	1.4%	24	28	1.3%	22.6%	40
9	栃木県	83	35	1.1%	21	32	1.1%	25.3%	27
10	群馬県	90	30	1.2%	24	28	1.3%	26.7%	16
11	埼玉県	66	38	0.9%	18	36	0.9%	27.3%	12
12	千葉県	135	21	1.8%	32	22	1.7%	23.7%	37
13	東京都	271	6	3.7%	73	6	3.8%	26.9%	14
14	神奈川県	176	13	2.4%	48	14	2.5%	27.3%	12
15	新潟県	155	17	2.1%	39	18	2.0%	25.2%	28
16	富山県	138	20	1.9%	34	21	1.8%	24.6%	32
17	石川県	168	15	2.3%	46	15	2.4%	27.4%	11
18	福井県	152	19	2.1%	38	19	2.0%	25.0%	29
19	山梨県	46	43	0.6%	14	39	0.7%	30.4%	5
20	長野県	104	27	1.4%	27	26	1.4%	26.0%	22
21	岐阜県	186	12	2.5%	50	11	2.6%	26.9%	15
22	静岡県	91	28	1.2%	21	32	1.1%	23.1%	39
23	愛知県	617	1	8.3%	158	1	8.3%	25.6%	25
24	三重県	132	22	1.8%	32	22	1.7%	24.2%	35
25	滋賀県	244	9	3.3%	64	7	3.3%	26.2%	20
26	京都府	325	4	4.4%	91	4	4.8%	28.0%	10
27	大阪府	536	3	7.3%	136	3	7.1%	25.4%	26
28	兵庫県	249	7	3.4%	64	7	3.3%	25.7%	24
29	奈良県	59	39	0.8%	8	47	0.4%	13.6%	47
30	和歌山県	46	43	0.6%	14	39	0.7%	30.4%	5
31	鳥取県	40	46	0.5%	9	45	0.5%	22.5%	41
32	島根県	46	43	0.6%	12	42	0.6%	26.1%	21
33	岡山県	245	8	3.3%	60	9	3.1%	24.5%	34
34	広島県	189	11	2.6%	50	11	2.6%	26.5%	18
35	山口県	108	25	1.5%	32	22	1.7%	29.6%	7
36	徳島県	171	14	2.3%	49	13	2.6%	28.7%	9
37	香川県	132	22	1.8%	29	25	1.5%	22.0%	44
38	愛媛県	163	16	2.2%	40	17	2.1%	24.5%	33
39	高知県	155	17	2.1%	41	16	2.1%	26.5%	19
40	福岡県	321	5	4.3%	83	5	4.3%	25.9%	23
41	佐賀県	49	42	0.7%	11	43	0.6%	22.4%	42
42	長崎県	86	31	1.2%	25	27	1.3%	29.1%	8
43	熊本県	84	33	1.1%	21	32	1.1%	25.0%	29
44	大分県	69	37	0.9%	23	30	1.2%	33.3%	1
45	宮崎県	85	32	1.2%	16	38	0.8%	18.8%	45
46	鹿児島県	59	39	0.8%	18	36	0.9%	30.5%	4
47	沖縄県	38	47	0.5%	9	45	0.5%	23.7%	38
総計		7390	-	100.0%	1915	-	100.0%	25.9%	-

B (発展型)

No	都道府県	受理			採択			採択率	
		件数	順位	割合	件数	順位	割合	件数	順位
1	北海道	42	2	8.8%	10	3	6.8%	23.8%	38
2	青森県	8	16	1.7%	2	19	1.4%	25.0%	30
3	岩手県	6	23	1.3%	2	19	1.4%	33.3%	17
4	宮城県	7	19	1.5%	3	13	2.0%	42.9%	8
5	秋田県	4	34	0.8%	2	19	1.4%	50.0%	3
6	山形県	5	29	1.1%	2	19	1.4%	40.0%	9
7	福島県	4	34	0.8%	1	33	0.7%	25.0%	30
8	茨城県	16	9	3.4%	4	10	2.7%	25.0%	30
9	栃木県	8	16	1.7%	0	43	0.0%	0.0%	43
10	群馬県	10	13	2.1%	3	13	2.0%	30.0%	26
11	埼玉県	5	29	1.1%	2	19	1.4%	40.0%	9
12	千葉県	12	11	2.5%	4	10	2.7%	33.3%	17
13	東京都	19	7	4.0%	6	7	4.1%	31.6%	24
14	神奈川県	18	8	3.8%	8	5	5.4%	44.4%	7
15	新潟県	20	6	4.2%	7	6	4.8%	35.0%	15
16	富山県	4	34	0.8%	2	19	1.4%	50.0%	3
17	石川県	6	23	1.3%	1	33	0.7%	16.7%	40
18	福井県	8	16	1.7%	2	19	1.4%	25.0%	30
19	山梨県	5	29	1.1%	3	13	2.0%	60.0%	2
20	長野県	7	19	1.5%	1	33	0.7%	14.3%	42
21	岐阜県	3	42	0.6%	0	43	0.0%	0.0%	43
22	静岡県	4	34	0.8%	1	33	0.7%	25.0%	30
23	愛知県	30	4	6.3%	10	3	6.8%	33.3%	17
24	三重県	5	29	1.1%	2	19	1.4%	40.0%	9
25	滋賀県	6	23	1.3%	1	33	0.7%	16.7%	40
26	京都府	33	3	6.9%	12	2	8.2%	36.4%	13
27	大阪府	44	1	9.3%	15	1	10.2%	34.1%	16
28	兵庫県	16	9	3.4%	5	9	3.4%	31.3%	25
29	奈良県	10	13	2.1%	2	19	1.4%	20.0%	39
30	和歌山県	2	45	0.4%	0	43	0.0%	0.0%	43
31	鳥取県	7	19	1.5%	2	19	1.4%	28.6%	28
32	島根県	2	45	0.4%	1	33	0.7%	50.0%	3
33	岡山県	3	42	0.6%	1	33	0.7%	33.3%	17
34	広島県	11	12	2.3%	4	10	2.7%	36.4%	13
35	山口県	4	34	0.8%	0	43	0.0%	0.0%	43
36	徳島県	4	34	0.8%	1	33	0.7%	25.0%	30
37	香川県	6	23	1.3%	2	19	1.4%	33.3%	17
38	愛媛県	6	23	1.3%	3	13	2.0%	50.0%	3
39	高知県	10	13	2.1%	3	13	2.0%	30.0%	26
40	福岡県	24	5	5.1%	6	7	4.1%	25.0%	30
41	佐賀県	3	42	0.6%	1	33	0.7%	33.3%	17
42	長崎県	5	29	1.1%	2	19	1.4%	40.0%	9
43	熊本県	2	45	0.4%	0	43	0.0%	0.0%	43
44	大分県	4	34	0.8%	1	33	0.7%	25.0%	30
45	宮崎県	7	19	1.5%	2	19	1.4%	28.6%	28
46	鹿児島県	6	23	1.3%	2	19	1.4%	33.3%	17
47	沖縄県	4	34	0.8%	3	13	2.0%	75.0%	1
総計		475	-	100.0%	147	-	100.0%	30.9%	-

図 2-7-1 都道府県別 受理・採択件数と採択率

A (発掘型)



B(発展型)

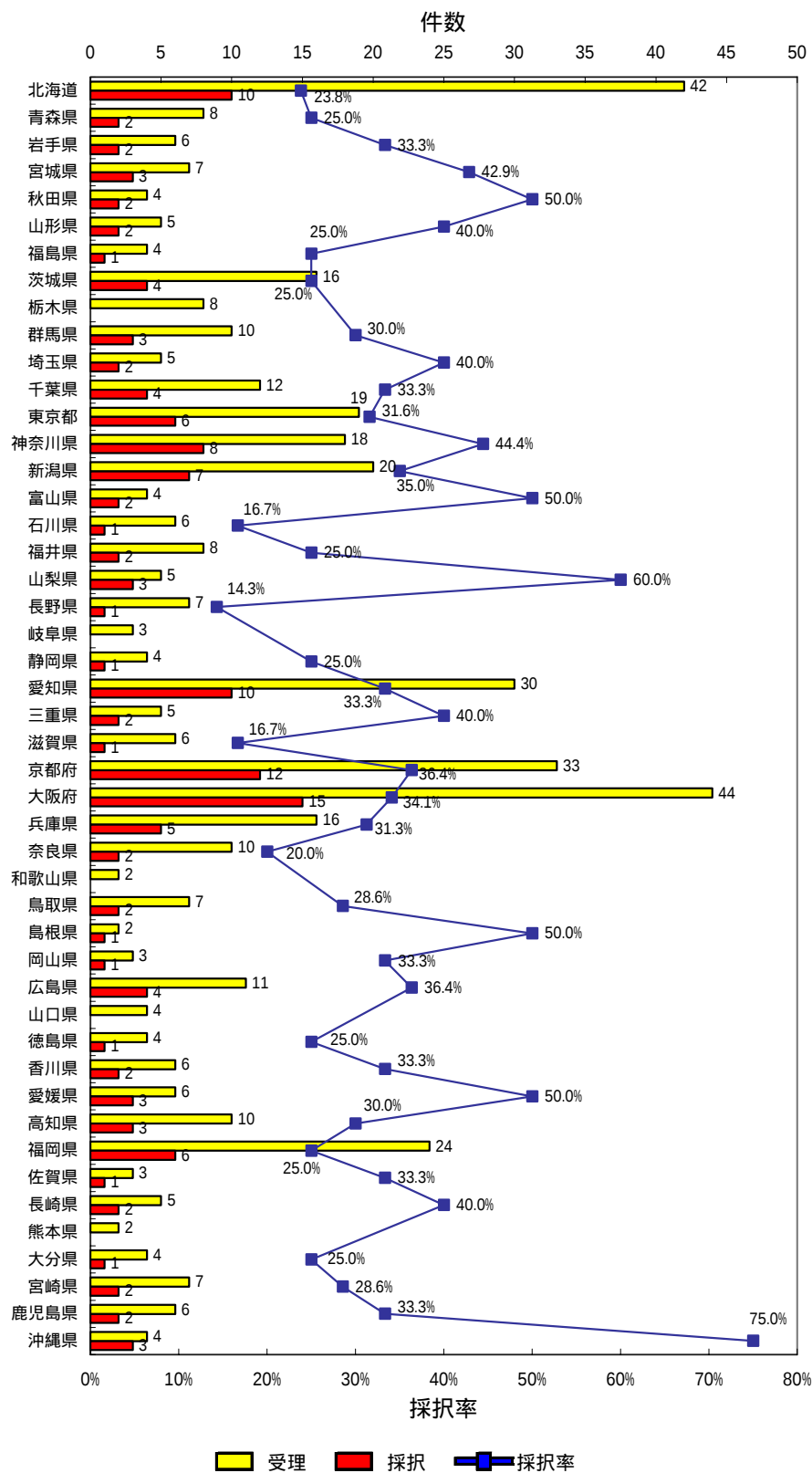
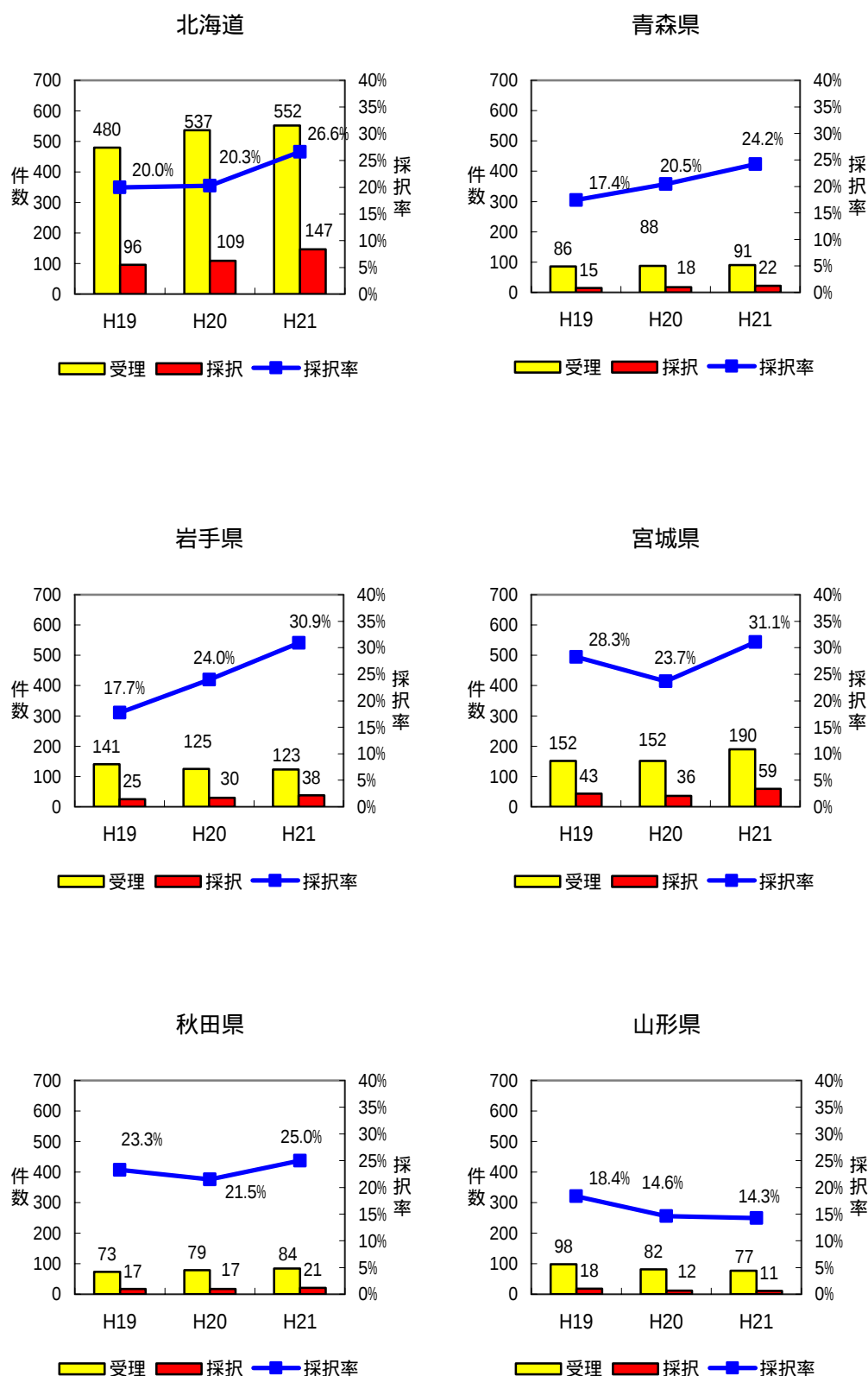


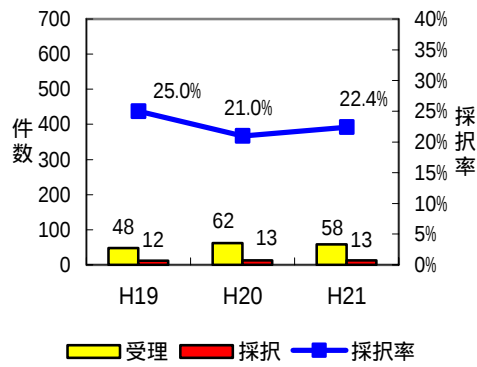
表 2-7-2 都道府県別 受理・採択件数と採択率の推移 A(発掘型)

No	都道府県	受理数			採択数			採択率		
		H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
1	北海道	480	537	552	96	109	147	20.0%	20.3%	26.6%
2	青森県	86	88	91	15	18	22	17.4%	20.5%	24.2%
3	岩手県	141	125	123	25	30	38	17.7%	24.0%	30.9%
4	宮城県	152	152	190	43	36	59	28.3%	23.7%	31.1%
5	秋田県	73	79	84	17	17	21	23.3%	21.5%	25.0%
6	山形県	98	82	77	18	12	11	18.4%	14.6%	14.3%
7	福島県	48	62	58	12	13	13	25.0%	21.0%	22.4%
8	茨城県	156	122	106	33	35	24	21.2%	28.7%	22.6%
9	栃木県	35	69	83	8	10	21	22.9%	14.5%	25.3%
10	群馬県	91	94	90	19	20	24	20.9%	21.3%	26.7%
11	埼玉県	30	23	66	11	4	18	36.7%	17.4%	27.3%
12	千葉県	60	71	135	15	12	32	25.0%	16.9%	23.7%
13	東京都	282	253	271	56	43	73	19.9%	17.0%	26.9%
14	神奈川県	105	166	176	26	32	48	24.8%	19.3%	27.3%
15	新潟県	177	171	155	39	36	39	22.0%	21.1%	25.2%
16	富山県	66	106	138	14	24	34	21.2%	22.6%	24.6%
17	石川県	145	142	168	29	25	46	20.0%	17.6%	27.4%
18	福井県	115	149	152	21	24	38	18.3%	16.1%	25.0%
19	山梨県	62	55	46	10	14	14	16.1%	25.5%	30.4%
20	長野県	78	92	104	19	25	27	24.4%	27.2%	26.0%
21	岐阜県	79	100	186	21	21	50	26.6%	21.0%	26.9%
22	静岡県	117	114	91	22	15	21	18.8%	13.2%	23.1%
23	愛知県	356	445	617	75	89	158	21.1%	20.0%	25.6%
24	三重県	75	84	132	11	17	32	14.7%	20.2%	24.2%
25	滋賀県	139	149	244	28	39	64	20.1%	26.2%	26.2%
26	京都府	326	289	325	68	67	91	20.9%	23.2%	28.0%
27	大阪府	409	509	536	98	103	136	24.0%	20.2%	25.4%
28	兵庫県	201	211	249	40	35	64	19.9%	16.6%	25.7%
29	奈良県	62	59	59	15	9	8	24.2%	15.3%	13.6%
30	和歌山県	61	52	46	6	11	14	9.8%	21.2%	30.4%
31	鳥取県	50	38	40	8	6	9	16.0%	15.8%	22.5%
32	島根県	51	38	46	9	8	12	17.6%	21.1%	26.1%
33	岡山県	183	177	245	38	31	60	20.8%	17.5%	24.5%
34	広島県	168	187	189	39	44	50	23.2%	23.5%	26.5%
35	山口県	71	93	108	11	17	32	15.5%	18.3%	29.6%
36	徳島県	156	163	171	27	39	49	17.3%	23.9%	28.7%
37	香川県	98	100	132	21	17	29	21.4%	17.0%	22.0%
38	愛媛県	124	173	163	25	43	40	20.2%	24.9%	24.5%
39	高知県	130	131	155	23	35	41	17.7%	26.7%	26.5%
40	福岡県	276	296	321	56	64	83	20.3%	21.6%	25.9%
41	佐賀県	33	32	49	6	8	11	18.2%	25.0%	22.4%
42	長崎県	49	73	86	11	19	25	22.4%	26.0%	29.1%
43	熊本県	75	81	84	18	14	21	24.0%	17.3%	25.0%
44	大分県	39	54	69	8	9	23	20.5%	16.7%	33.3%
45	宮崎県	102	87	85	18	16	16	17.6%	18.4%	18.8%
46	鹿児島県	71	56	59	15	13	18	21.1%	23.2%	30.5%
47	沖縄県	37	25	38	7	4	9	18.9%	16.0%	23.7%
総計		6018	6454	7390	1250	1332	1915	20.8%	20.6%	25.9%

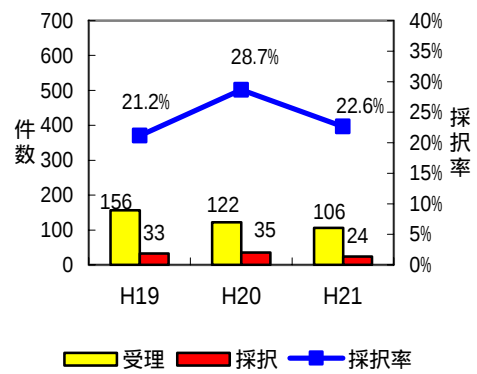
図 2-7-2 都道府県別 受理・採択件数と採択率の推移 A(発掘型)



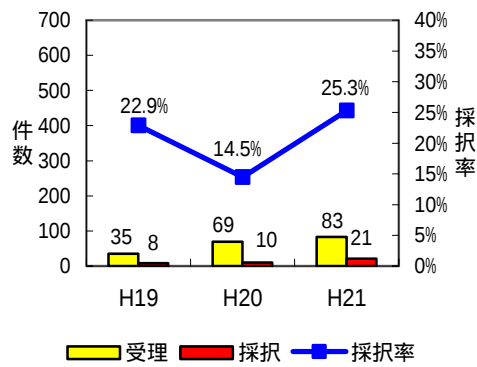
福島県



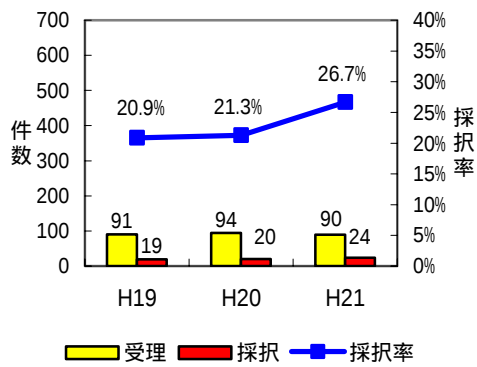
茨城県



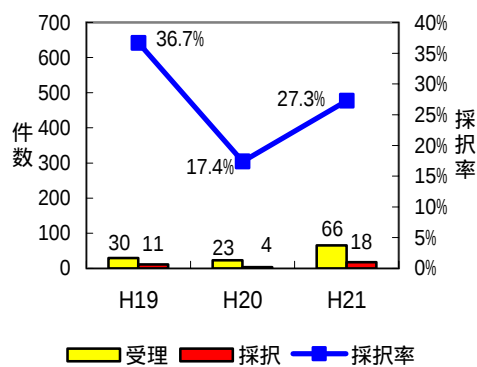
栃木県



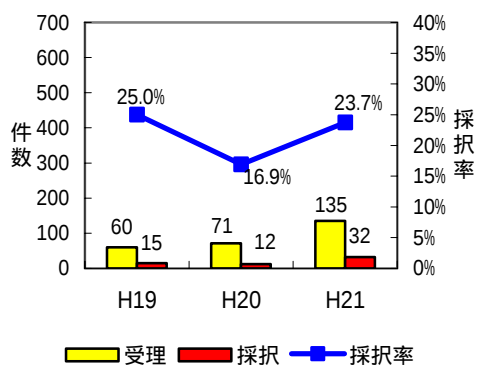
群馬県



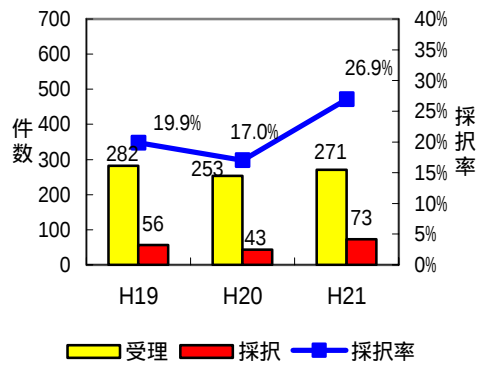
埼玉県



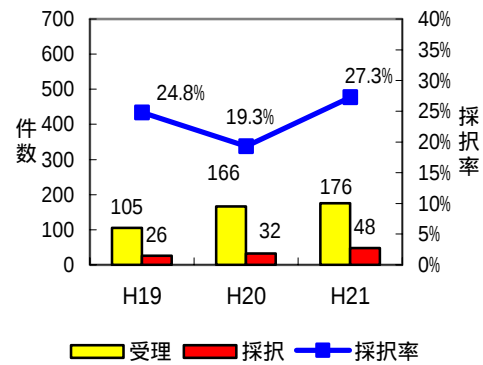
千葉県



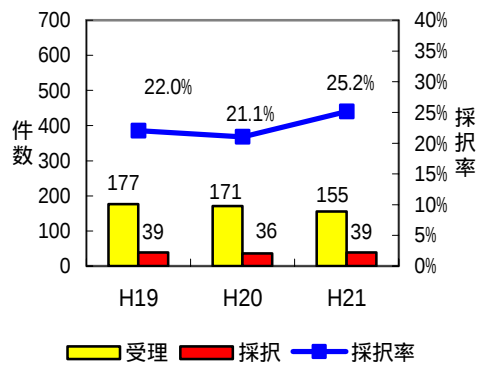
東京都



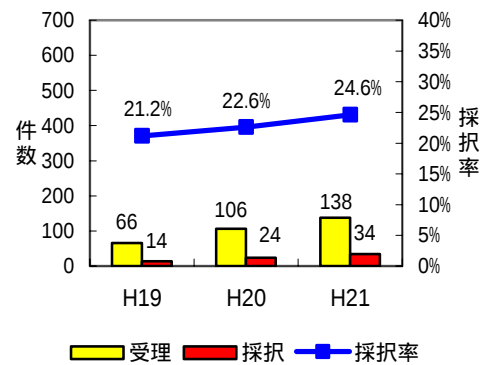
神奈川県



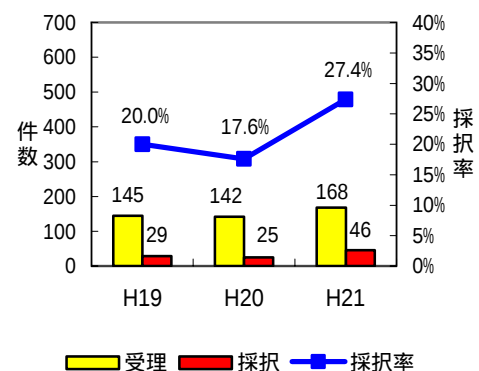
新潟県



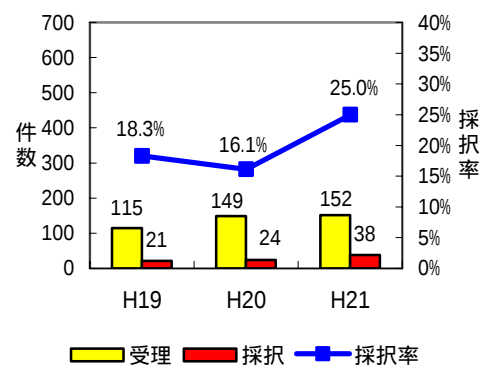
富山県



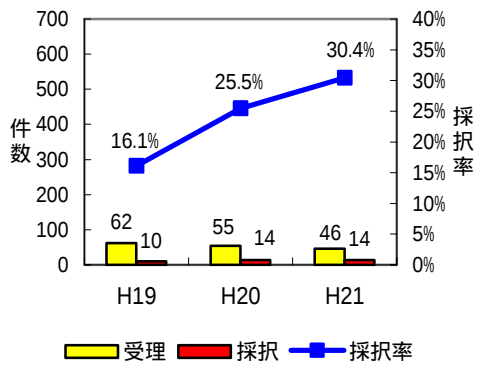
石川県



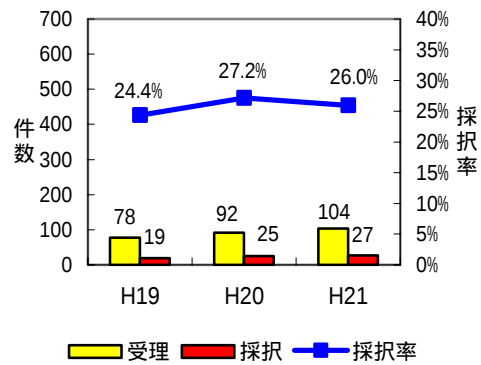
福井県



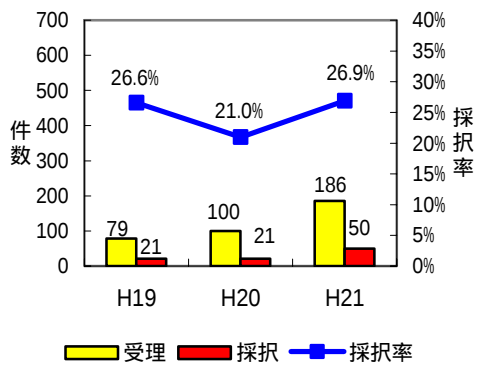
山梨県



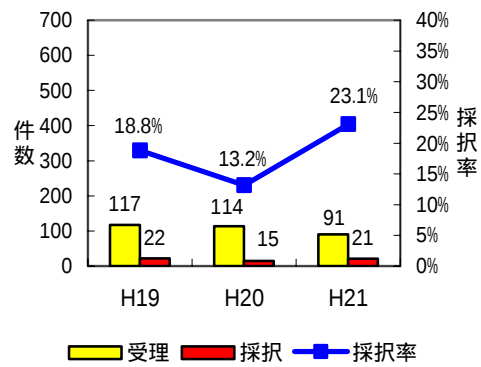
長野県



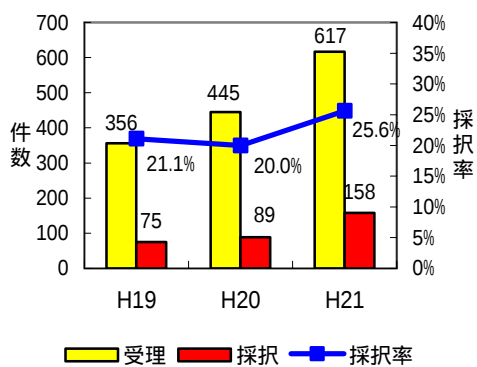
岐阜県



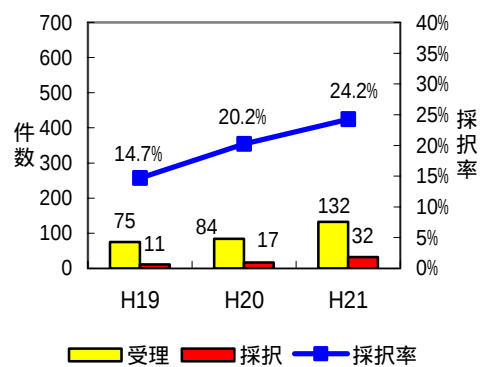
静岡県



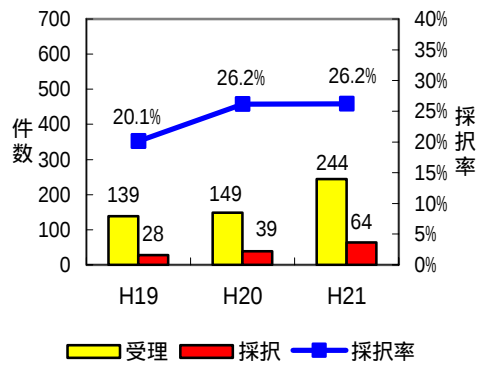
愛知県



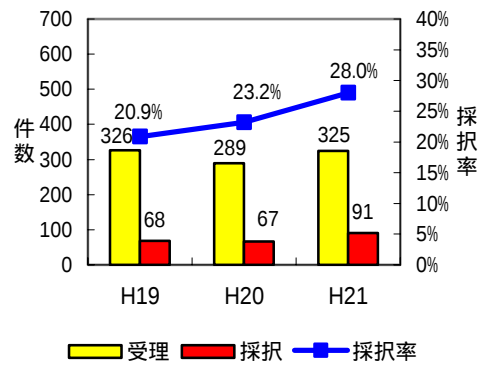
三重県



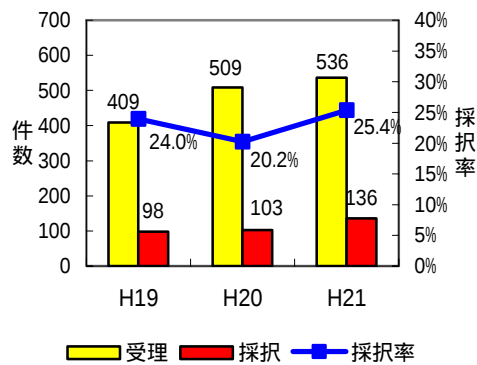
滋賀県



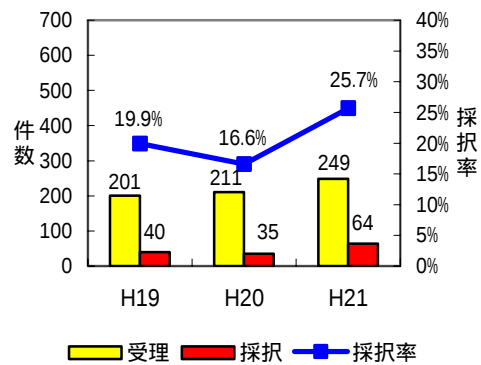
京都府



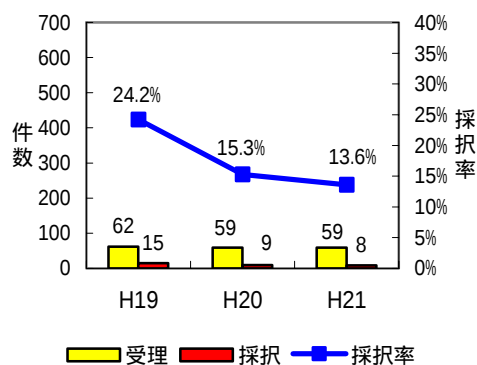
大阪府



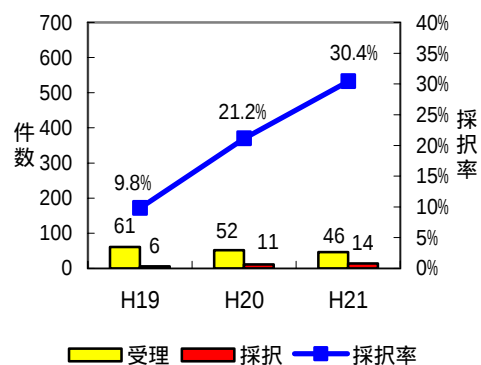
兵庫県



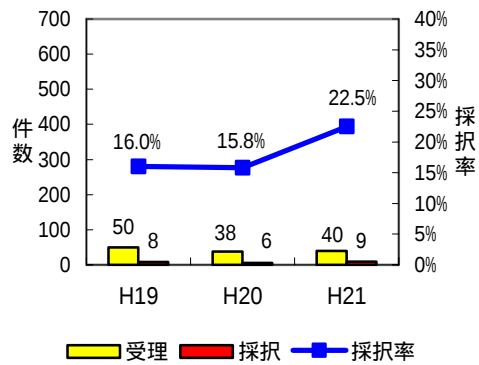
奈良県



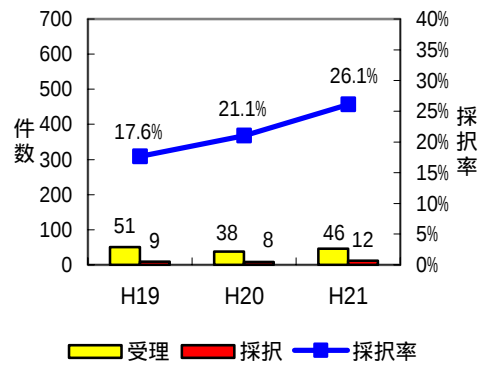
和歌山県



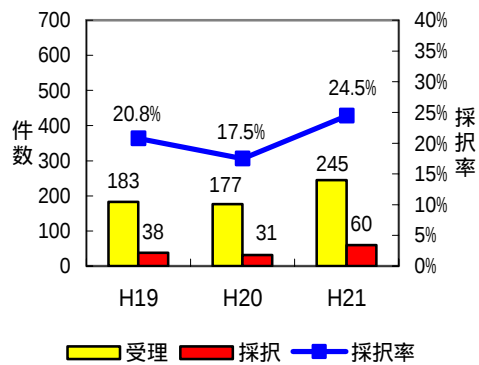
鳥取県



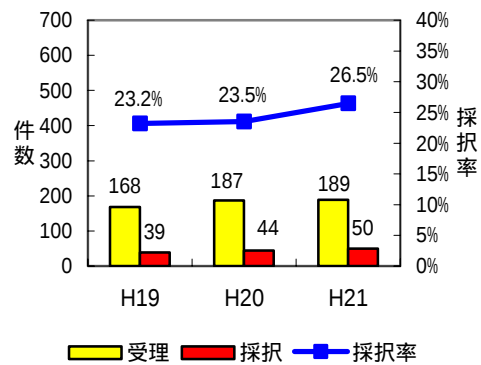
島根県



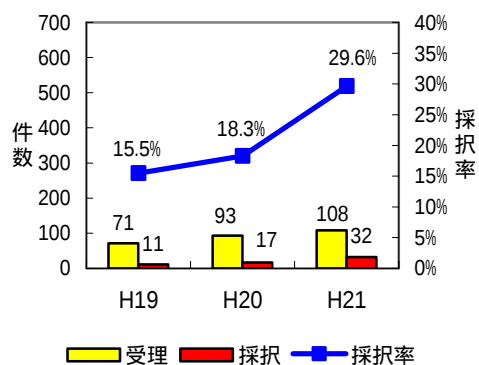
岡山県



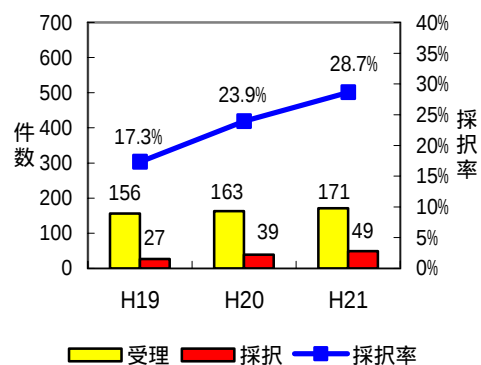
広島県



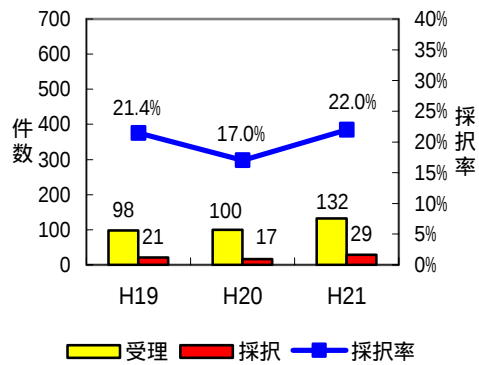
山口県



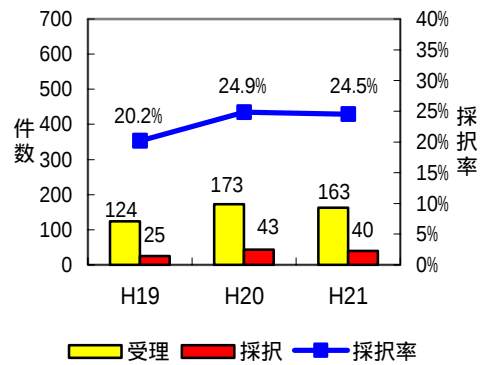
徳島県



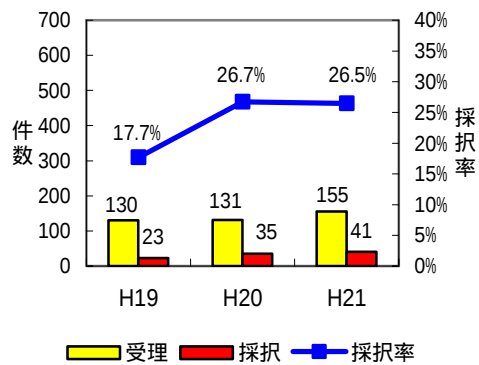
香川県



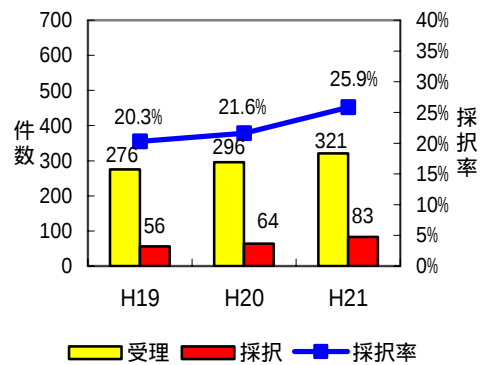
愛媛県



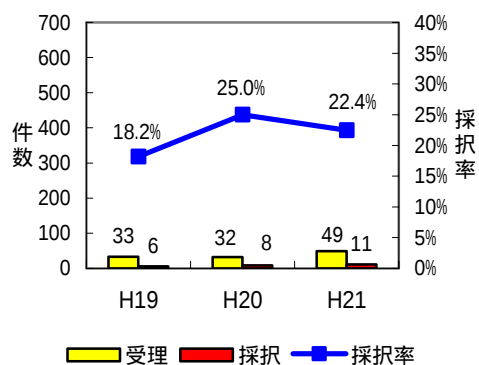
高知県



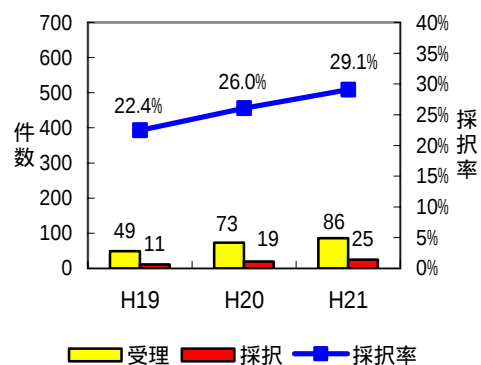
福岡県



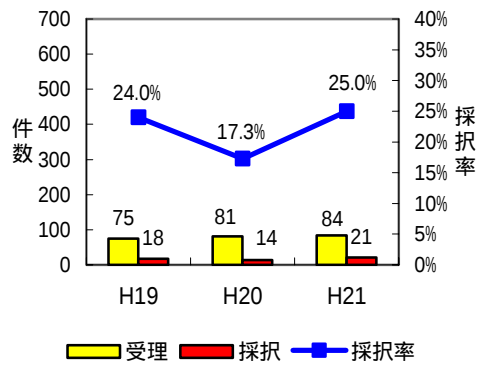
佐賀県



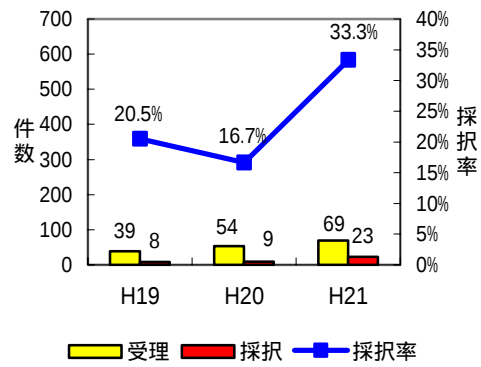
長崎県



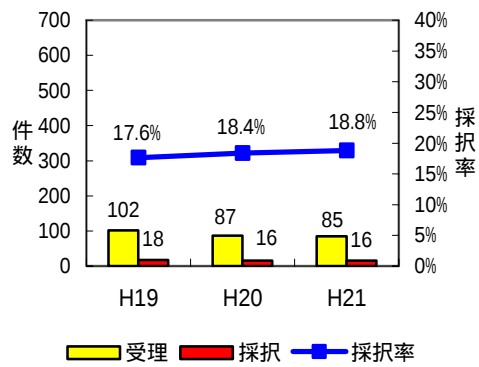
熊本県



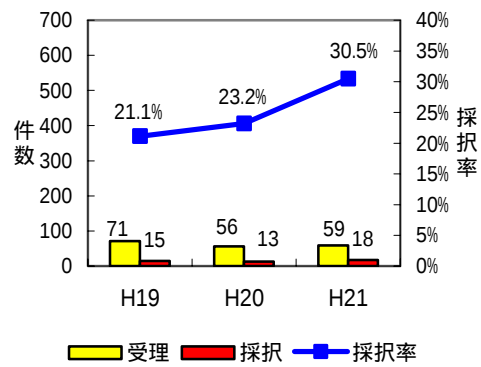
大分県



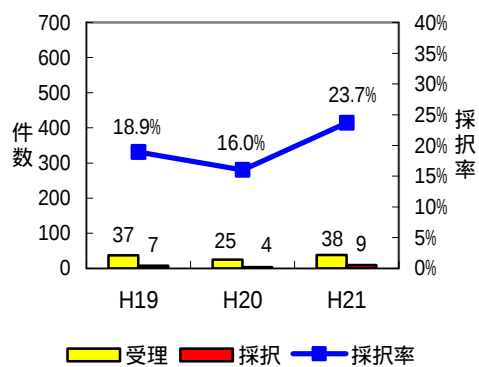
宮崎県



鹿児島県



沖縄県



本年度の都道府県別受理件数ベスト 5 は「愛知県(617 件)」「北海道(552 件)」「大阪府(536 件)」「京都府(325 件)」「福岡県(321 件)」であり、採択件数ベスト 5 は「愛知県(158 件)」「北海道(147 件)」「大阪府(136 件)」「京都府(91 件)」「福岡県(83 件)」となっている。受理・採択で順位が完全に一致している。

都道府県別採択率ベスト 5 は「大分県(33.3%)」「宮城県(31.1%)」「岩手県(30.9%)」「鹿児島県(30.5%)」「山梨県・和歌山県(30.4%)」であり、全国平均は 25.9%となっている。

都道府県別の採択件数の推移を見ると、次のような特徴を示している。

- ・ 前年度と比較して著しく採択数を増加させた所は「埼玉県(前年比 450.0%)」「千葉県(266.7%)」「大分県(255.6%)」「岐阜県(238.1%)」「沖縄県(225.0%)」ある。
- ・ 採択数 50 件以上を条件とすると、前年比較で採択数を大きく上昇させた所は、「岐阜県(前年比 238.1%)」「岡山県(193.5%)」「兵庫県(182.9%)」「愛知県(177.5%)」「東京都(169.8%)」となっている。
- ・ また、前年比較で採択数を減少させた所は「茨城県(前年比 68.6%)」「奈良県(88.9%)」「山形県(91.7%)」「愛媛県(93.0%)」である。

B(発展型)については、受理件数では「大阪府(44 件)」「北海道(42 件)」「京都府(33 件)」「愛知県(30 件)」「福岡県(24 件)」の順で A(発掘型)と同様に健闘している。また、採択件数では「大阪府(15 件)」「京都府(12 件)」「北海道・愛知県(10 件)」「神奈川県(8 件)」となる。A(発掘型)と同様の都道府県名が並ぶが、「神奈川県」が健闘して全国 5 位に入っている。

2-8 都道府県別 技術分野(大分類)別

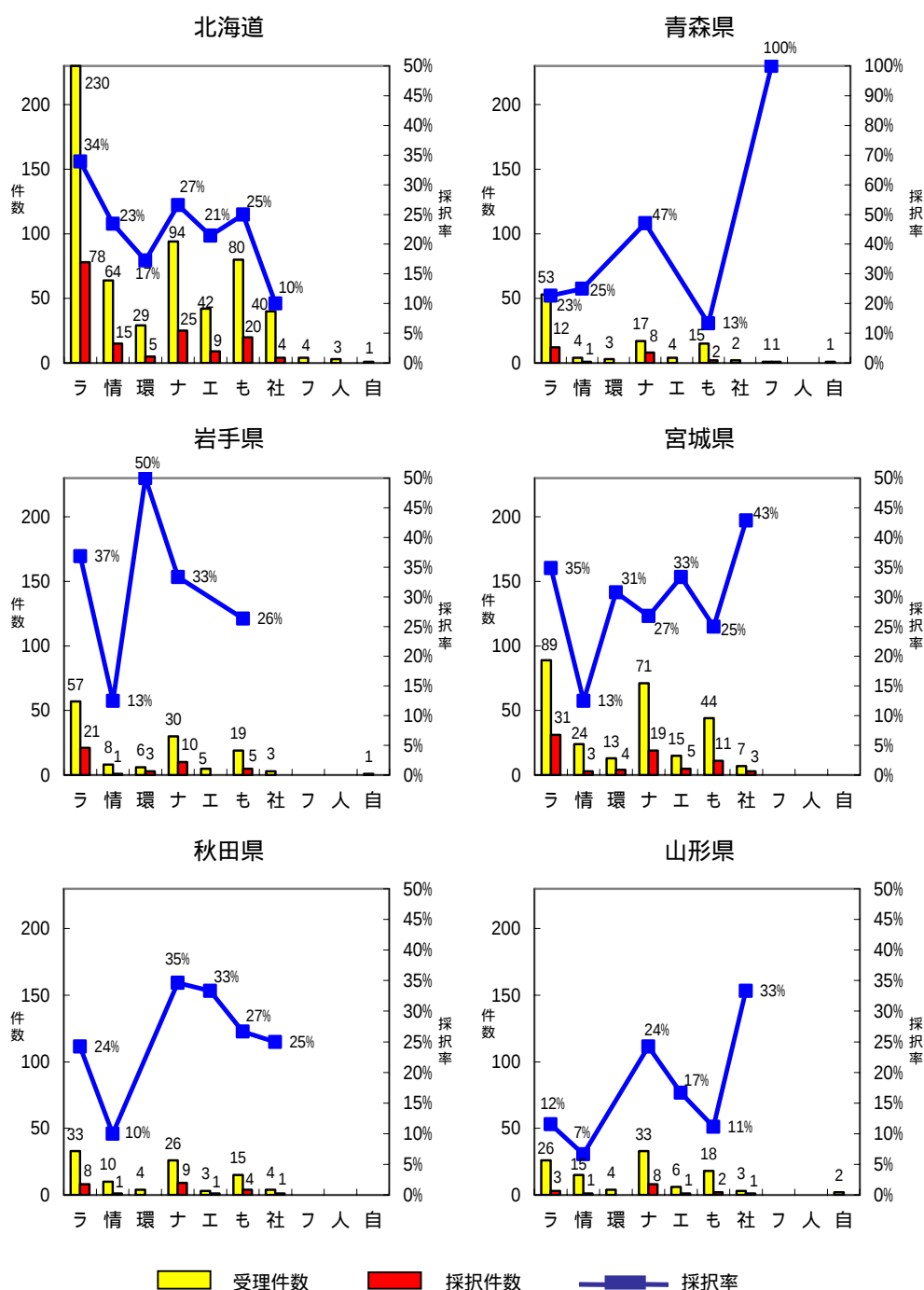
代表研究者の所属機関がある都道府県別 技術分野(大分類)別の受理・採択件数と採択率を表 2-8-1、図 2-8-1 に示す。

表 2-8-1 都道府県別 技術分野(大分類)別 受理・採択データ

A(発掘型)

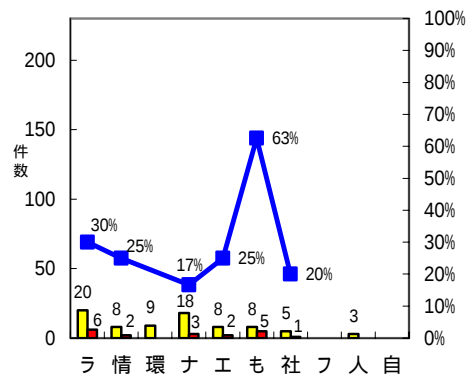
都道府県	ライフサイエンス		情報通信				環境				ナノテク・材料				エネルギー				ものづくり技術				社会基盤				フロンティア				人文・社会				自然科学一般				標記分野以外				総計		
	受理数	採択数	採択率%	受理数	採択数	採択率%	受理数	採択数	採択率%	受理数	採択数	採択率%	受理数	採択数	採択率%	受理数	採択数	採択率%	受理数	採択数	採択率%	受理数	採択数	採択率%	受理数	採択数	採択率%	受理数	採択数	採択率%	受理数	採択数	採択率%	受理数	採択数	採択率%									
北海道	230	78	34	64	15	23	29	5	17	94	25	27	42	9	21	80	20	25	40	4	10	4	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	586	156	27									
青森県	53	12	23	4	1	25	3	0	0	17	8	47	4	0	0	15	2	13	2	0	0	1	1	100	0	0	0	1	0	0	0	0	0	99	24	24									
岩手県	57	21	37	8	1	13	6	3	50	30	10	33	5	0	0	19	5	26	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	100	129	41	32									
宮城県	89	31	35	24	3	13	13	4	31	71	19	27	15	5	33	44	11	25	7	3	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	263	76	29									
秋田県	33	8	24	10	1	10	4	0	0	26	9	35	3	1	33	15	4	27	4	1	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	95	24	25									
山形県	26	3	12	15	1	7	4	0	0	33	8	24	6	1	17	18	2	11	3	1	33	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	105	16	15									
福島県	20	6	30	8	2	25	9	0	0	18	3	17	8	2	25	8	5	63	5	1	20	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	79	19	24									
茨城県	40	10	25	11	3	27	7	1	14	38	8	21	7	3	43	21	5	24	4	1	25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	129	31	24									
栃木県	23	5	22	6	4	67	9	2	22	31	7	23	6	3	50	19	3	16	10	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	105	24	23									
群馬県	33	11	33	4	3	75	8	1	13	30	8	27	10	1	10	14	2	14	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	102	26	25									
埼玉県	13	2	15	4	1	25	5	2	40	22	6	27	6	1	17	8	3	38	5	0	0	0	0	0	3	2	67	1	1	100	0	0	66	17	26										
千葉県	66	16	24	12	4	33	8	0	0	28	5	18	5	2	40	17	4	24	10	4	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	146	35	24									
東京都	88	20	23	47	12	26	22	9	41	72	22	31	21	4	19	49	15	31	24	4	17	5	2	40	1	0	0	0	0	0	0	0	0	329	88	27									
神奈川県	51	19	37	20	4	20	16	5	31	67	22	33	10	3	30	33	4	12	7	2	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	204	59	29									
新潟県	50	11	22	10	2	20	8	1	13	43	15	35	10	5	50	27	6	22	10	2	20	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	159	42	26									
富山県	43	10	23	15	3	20	5	3	60	34	10	29	9	1	11	26	9	35	9	1	11	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	143	37	26									
石川県	64	22	34	25	5	20	6	1	17	32	9	28	9	3	33	32	6	19	6	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	174	47	27									
福井県	41	6	15	17	3	18	6	2	33	41	14	34	2	1	50	20	4	20	21	7	33	2	0	0	2	0	0	1	1	100	0	0	152	37	24										
山梨県	9	3	33	12	3	25	3	0	0	15	6	40	2	0	0	3	1	33	1	1	100	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	45	14	31									
長野県	33	10	30	4	0	0	4	1	25	30	8	27	6	0	0	16	4	25	9	2	22	2	2	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	104	27	26									
岐阜県	74	17	23	19	4	21	11	3	27	42	11	26	14	4	29	15	6	40	19	6	32	2	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	196	52	27									
静岡県	34	5	15	10	3	30	0	0	0	25	8	32	3	0	0	18	5	28	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	94	21	22									
愛知県	190	50	26	66	24	36	32	9	28	223	49	22	40	8	20	90	26	29	45	11	24	2	0	0	1	0	0	2	1	50	0	0	0	689	177	26									
三重県	47	13	28	9	3	33	12	3	25	35	9	26	11	4	36	21	4	19	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140	36	26									
滋賀県	71	16	23	40	11	28	16	4	25	56	14	25	10	3	30	36	11	31	23	6	26	1	1	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	253	66	26									
京都府	137	46	34	30	4	13	12	3	25	114	34	30	12	4	33	42	7	17	20	2	10	2	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	369	101	27									
大阪府	159	36	23	67	9	13	14	3	21	202	53	26	29	6	21	85	27	32	19	8	42	2	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	578	142	25									
兵庫県	88	15	17	22	4	18	17	6	35	79	23	29	9	1	11	31	8	26	15	7	47	3	1	33	2	2	100	1	0	0	0	0	0	266	67	25									
奈良県	24	2	8	6	0	0	3	0	0	16	4	25	1	1	100	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	8	13									
和歌山県	9	2	22	11	3	27	2	0	0	15	3	20	1	0	0	7	5	71	1	1	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	14	30								
鳥取県	19	5	26	6	0	0	1	0	0	9	3	33	2	1	50	6	2	33	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	11	25									
島根県	16	6	38	5	0	0	5	2	40	11	2	18	5	1	20	3	1	33	2	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	13	28								
岡山県	121	31	26	29	6	21	17	4	24	50	18	36	20	5	25	45	15	33	11	1	9	1	0	0	1	0	0	5	0	0	0	0	0	295	80	27									
広島県	63	17	27	16	4	25	9	1	11	47	17	36	13	3	23	34	10	29	14	1	7	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	198	53	27									
山口県	39	14	36	11	1	9	8	0	0	25	9	36	11	6	55	20	4	20	9	2	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	123	36	29									
徳島県	63	17	27	13	3	23	15	5	33	39	13	33	11	2	18	27	9	33	10	2	20	0	0	0	0	0	0	1	1	100	0	0	0	178	51	29									
香川県	56	13	23	12	1	8	11	3	27	25	8	32	3	2	67	19	2	11	10	1	10	1	1	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	137	31	23								
愛媛県	66	20	30	11	1	9	14	4	29	44	12	27	9	2	22	15	3	20	8	1	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	169	43	25								
高知県	75	20	27	12	2	17	10	2	20	18	6	33	9	0	0	26	10	38	8	1	13	2	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	160	42	26								
福岡県	107	26	24	32	4	13	29	6	21	118	41	35	20	4	20	34	10	29	13	2	15	11	1	9	1	1	100	2	0	0	0	0	0	365	95	26									
佐賀県	26	7	27	0	0	0	4	1	25	14	5	36	3	0	0	6	2	33	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	57	15	26									
長崎県	46	15	33	5	1	20	5	2	40	28	6	21	9	0	0	15	5	33	3	1	33	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	112	30	27									
熊本県	38	13	34	13	3	23	2	0	0	25	7	28	3	1	33	16	2	13	8	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105	27	26									
大分県	23	7	30	7	1	14	2	0	0	20	11	55	6	2	33	6	1	17	2	1	50	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	69	23	33									
宮崎県	52	8	15	3	1	33	6	1	17	16	4	25	3	0	0																														

図 2-8-1 都道府県別 技術分野(大分類)別 受理・採択件数と採択率
A (発掘型)

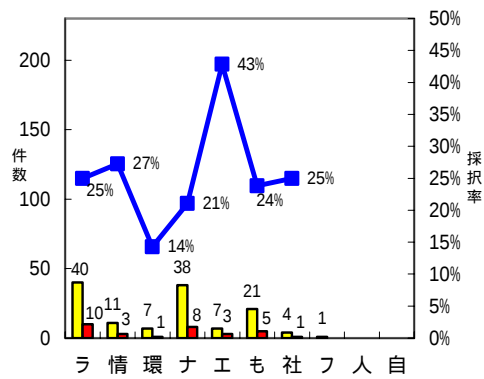


ラ: ライフサイエンス 情: 情報通信 環: 環境 ナ: ナノテク・材料 エ: エネルギー
も: ものづくり技術 社: 社会基盤 フ: フロンティア 人: 人文・社会 自: 自然科学一般 他: その他

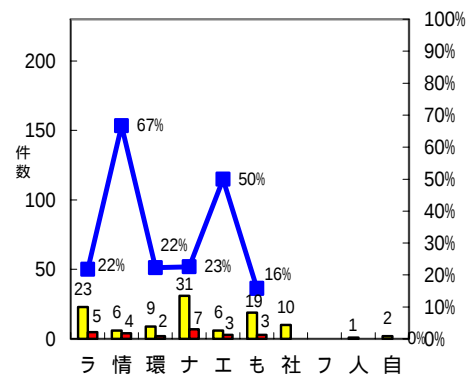
福島県



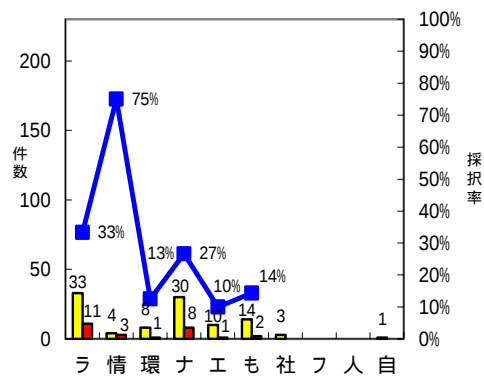
茨城県



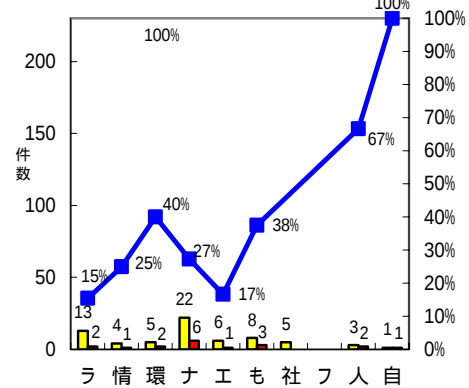
栃木県



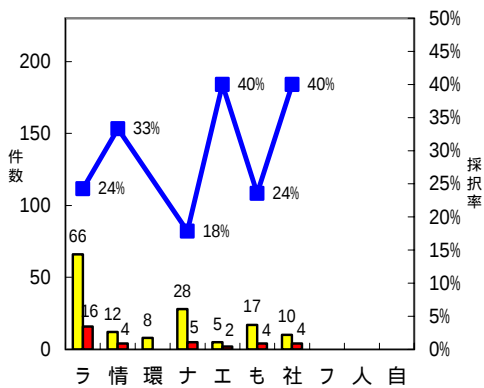
群馬県



埼玉県



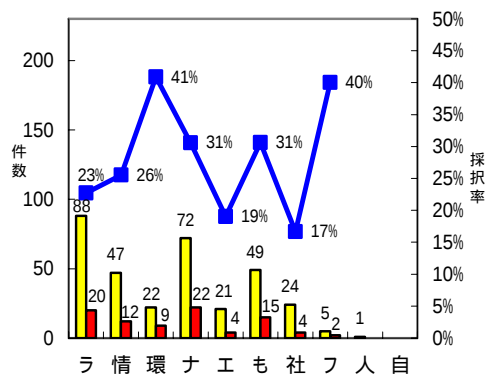
千葉県



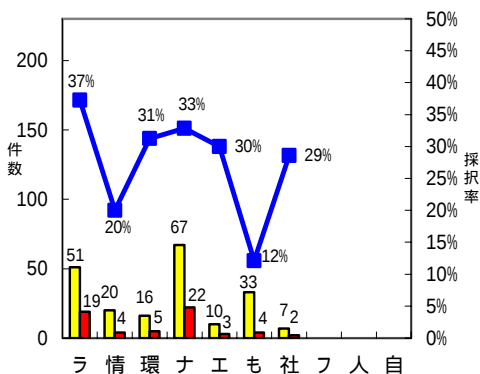
受理件数
 採択件数
 採択率

ラ:ライフサイエンス 情:情報通信 環:環境 ナ:ナノテク・材料 エ:エネルギー
 も:ものづくり技術 社:社会基盤 フ:フロンティア 人:人文・社会 自:自然科学一般 他:その他

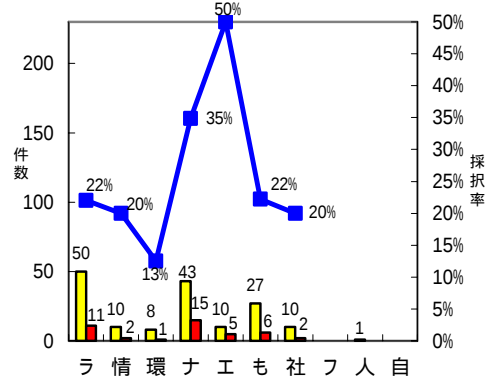
東京都



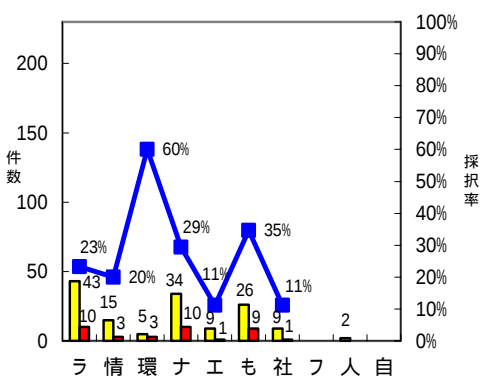
神奈川県



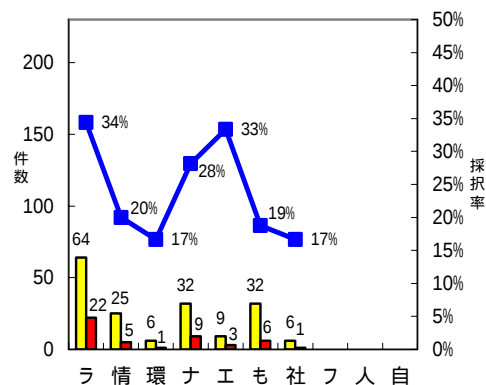
新潟県



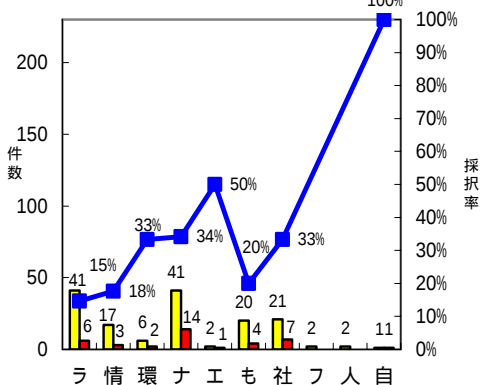
富山県



石川県

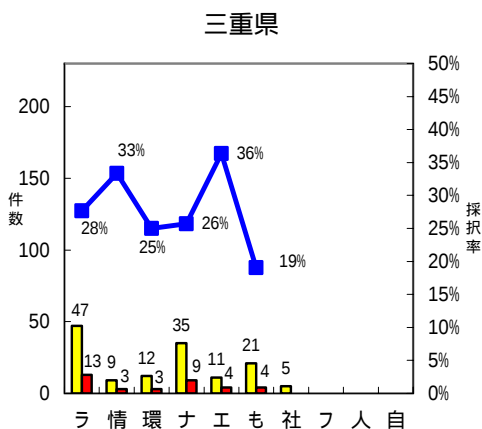
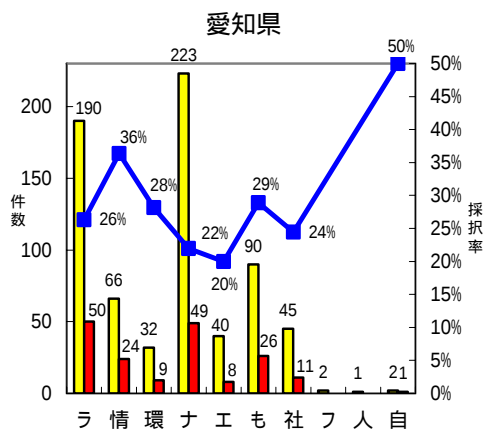
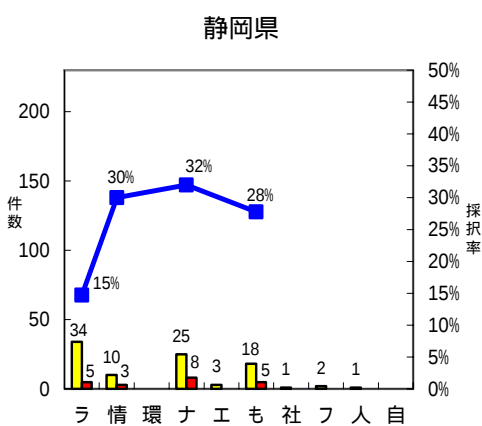
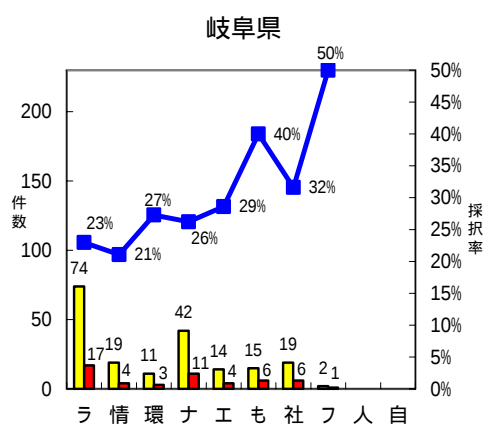
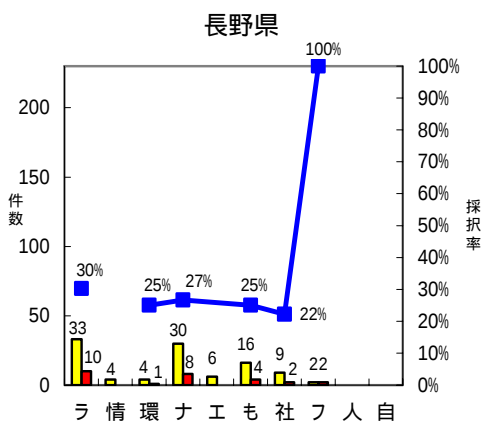
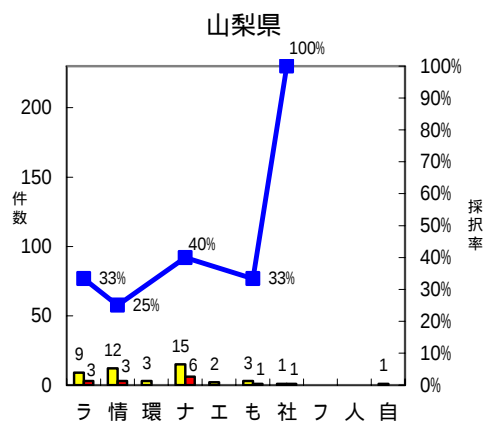


福井県



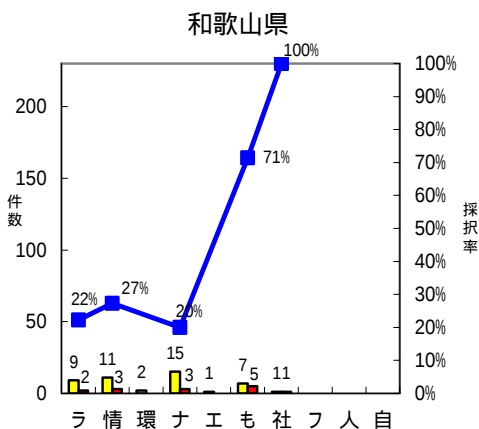
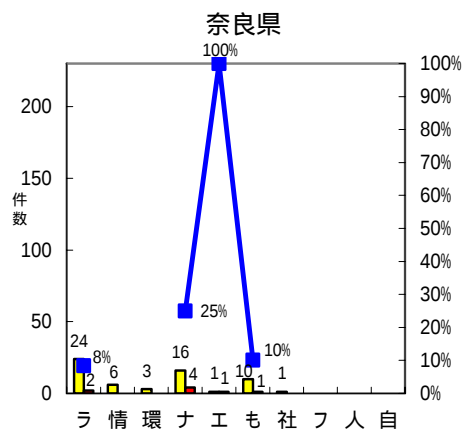
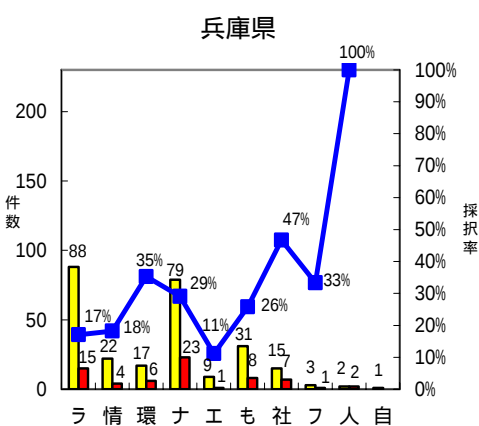
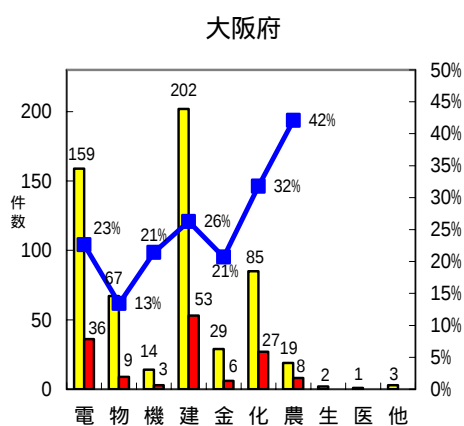
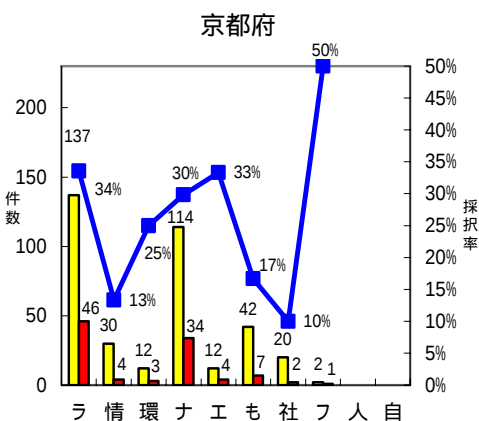
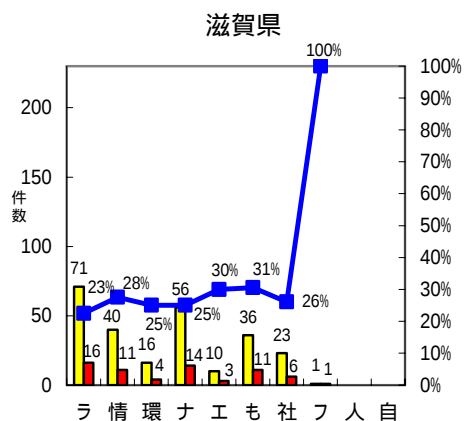
受理件数
 採択件数
 採択率

ラ:ライフサイエンス 情:情報通信 環:環境 ナ:ナノテク・材料 エ:エネルギー
 も:ものづくり技術 社:社会基盤 フ:フロンティア 人:人文・社会 自:自然科学一般 他:その他



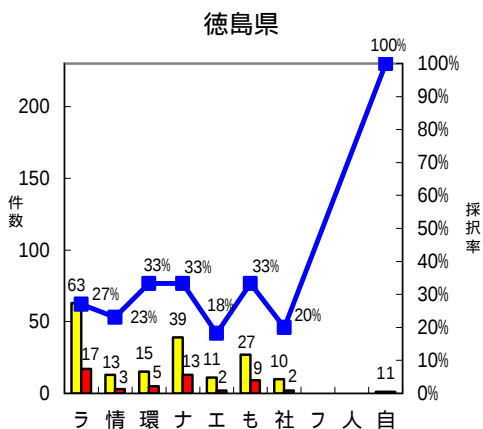
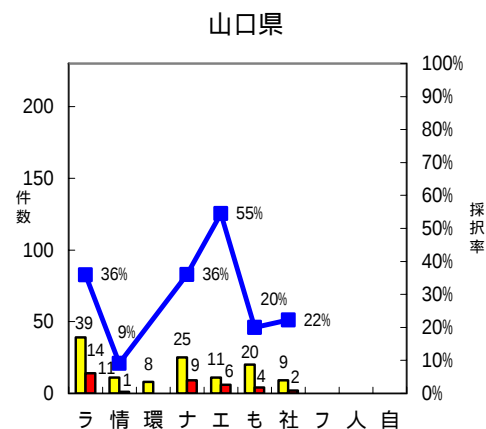
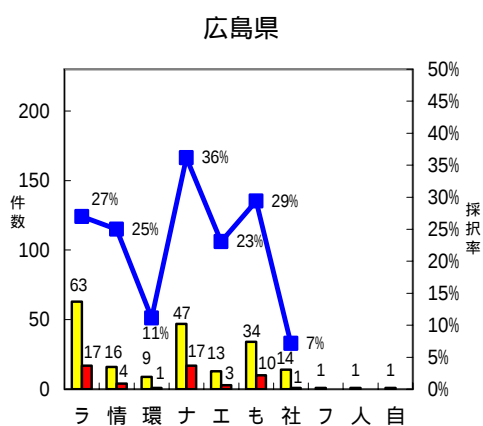
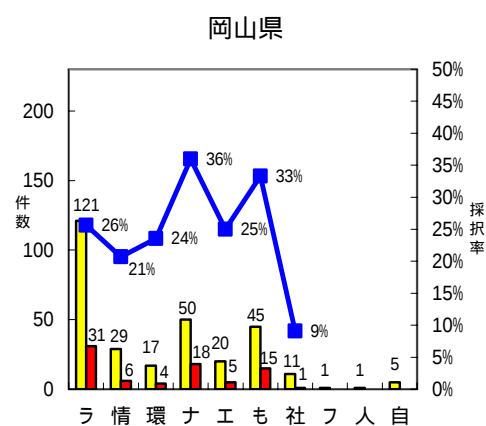
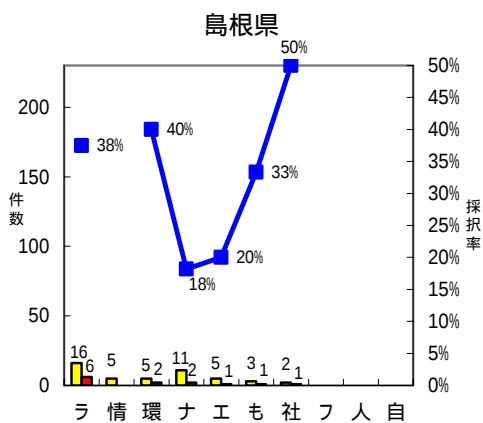
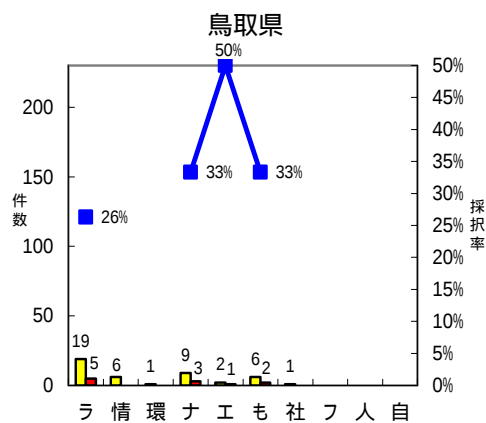
受理件数
 採択件数
 採択率

ラ:ライフサイエンス 情:情報通信 環:環境 ナ:ナノテク・材料 エ:エネルギー
 も:ものづくり技術 社:社会基盤 フ:フロンティア 人:人文・社会 自:自然科学一般 他:その他



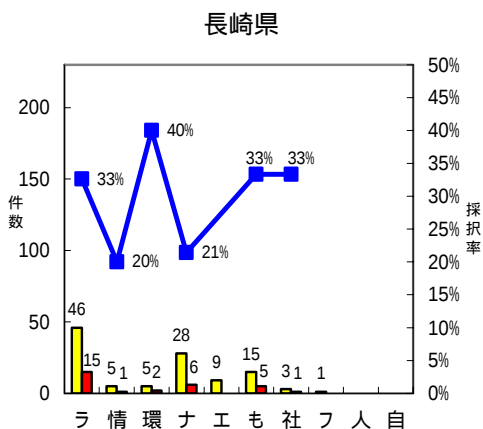
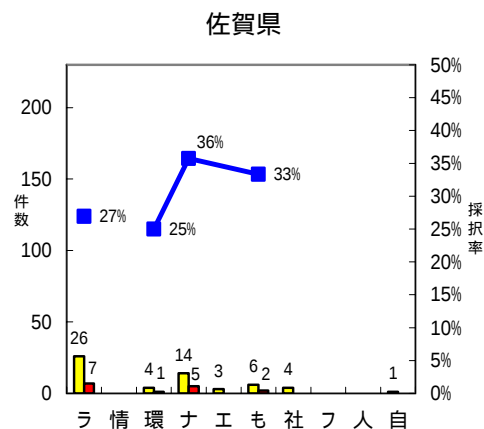
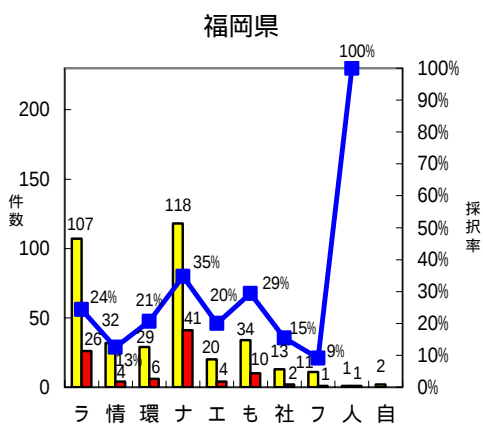
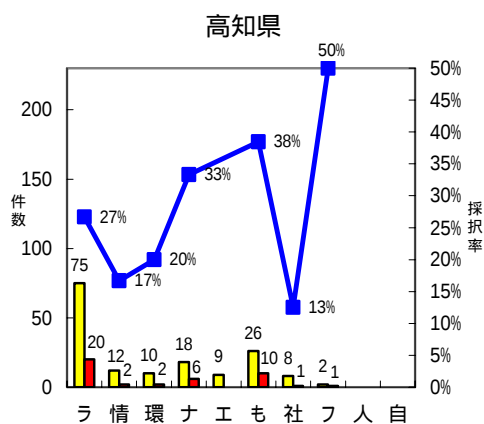
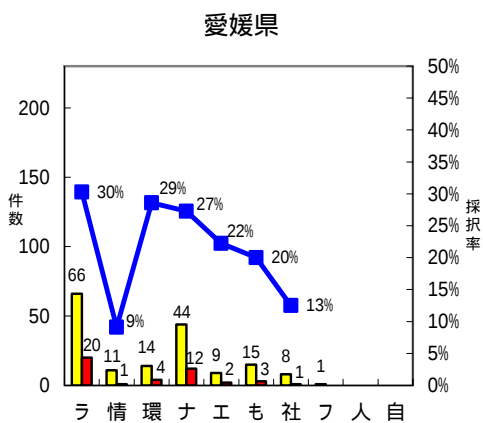
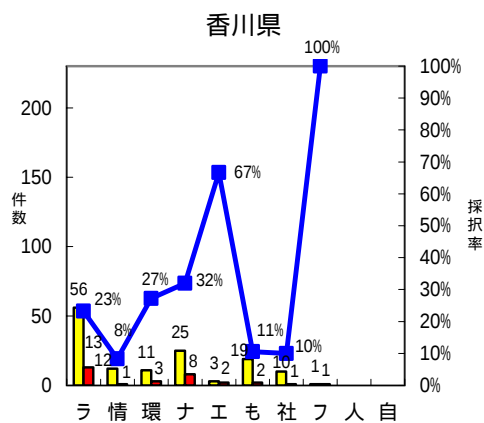
受理件数
 採択件数
 採択率

ラ:ライフサイエンス 情:情報通信 環:環境 ナ:ナノテク・材料 エ:エネルギー
 も:ものづくり技術 社:社会基盤 フ:フロンティア 人:人文・社会 自:自然科学一般 他:その他



受理件数
 採択件数
 採択率

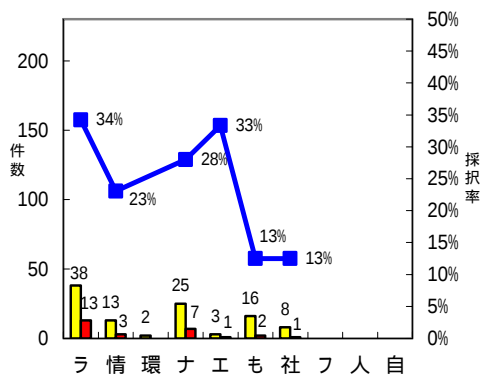
ラ:ライフサイエンス 情:情報通信 環:環境 ナ:ナノテク・材料 エ:エネルギー
 も:ものづくり技術 社:社会基盤 フ:フロンティア 人:人文・社会 自:自然科学一般 他:その他



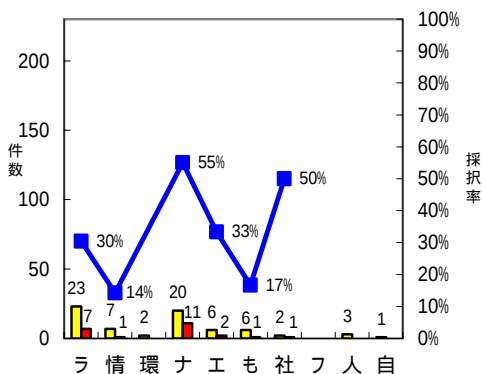
受理件数
 採択件数
 採択率

ラ:ライフサイエンス 情:情報通信 環:環境 ナ:ナノテク・材料 エ:エネルギー
 も:ものづくり技術 社:社会基盤 フ:フロンティア 人:人文・社会 自:自然科学一般 他:その他

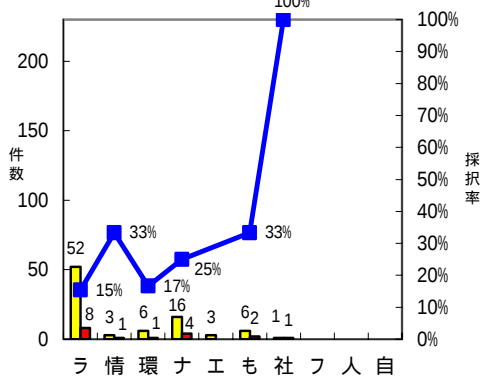
熊本県



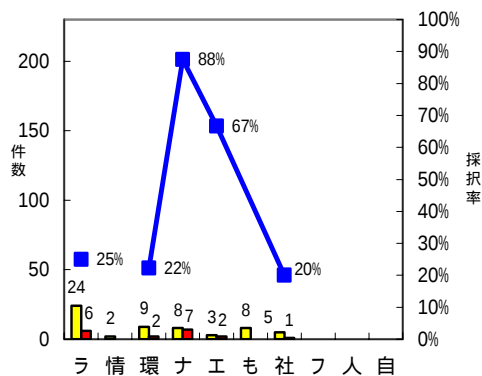
大分県



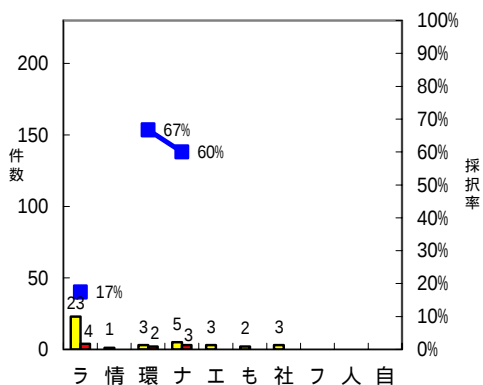
宮崎県



鹿児島県



沖縄県



受案件数
 採択件数
 採択率

ラ:ライフサイエンス 情:情報通信 環:環境 ナ:ナノテク・材料 エ:エネルギー
 も:ものづくり技術 社:社会基盤 フ:フロンティア 人:人文・社会 自:自然科学一般 他:その他

都道府県別の受理・採択件数の両者で全国ベスト 6 に入る愛知県、北海道、大阪府、京都府、福岡県、東京都、並びに特筆すべき県について、技術分野(大分類)別の特徴を示す。

「愛知県」：『情報通信(受理 66 件・採択 24 件)』と『社会基盤(受理 45 件・採択 11 件)』で採択数全国 1 位である。特に『社会基盤』の採択数は、他を引き離している。『環境(受理 32 件・採択 9 件)』でも全国 1 位である。また、『ライフサイエンス(受理 190 件・採択 50 件)』『ナノテク・材料(受理 223 件・採択 49 件)』『ものづくり技術(受理 90 件・採択 26 件)』は採択数で全国 2 位となっている。全体的に幅広い分野でトップクラスであるので総合 1 位となっている。

「北海道」：『ライフサイエンス(受理 230 件、採択 78 件)』が中心となっており、受理・採択が全国 1 位である。あとに続くのは『ナノテク・材料(受理 94 件、採択 25 件)』『ものづくり技術(受理 80 件、採択 20 件)』『情報通信(受理 64 件、採択 15 件)』だが、他の都道府県と比べると受理件数、採択件数いずれもそれほど多くはない。総合的に受理数(586 件)、採択数(156 件)ともに全国 2 位となっている。

「大阪府」：『ナノテク・材料』『ものづくり技術(受理 85 件、採択 27 件)』は受理数(202 件)と全国 2 位だが、採択数(53 件)で全国 1 位となっている。『物理・計測(受理 56 件、採択 13 件)』では受理・採択数ともに全国 2 位である。『ライフサイエンス(受理 159 件・採択 36 件)』もトップクラスである。

「京都府」：採択数が多い分野として『ライフサイエンス(採択 63 件)』は全国 3 位となっている。続いて『ナノテク・材料(採択 34 件)』がある。

「福岡県」：『ナノテク・材料(採択 41 件)』が全国 3 位となっている。

福岡県は受理件数(365 件)、採択件数(95 件)ともに全国 5 位となっている。『フロンティア』は全体数の少ない中、受理件数 11 件と健闘している。

「東京都」：『ナノテク・材料(採択 22 件)』の他、採択数の多い分野として『ライフサイエンス(採択 20 件)』『ものづくり技術(採択 15 件)』『情報通信(採択 12 件)』がある。どの分野も平均的であるが『環境(採択 9 件)』は全国 1 位、『情報通信』の採択数は全国 3 位である。。

上記以外の都道府県で、採択数ベスト 3 に入る技術分野を有する県として、山口県の『エネルギー(採択 6 件 全国 3 位)』、福井県・兵庫県の『社会基盤(採択 7 件 全国 3 位)』があり、各県の特徴として注目できる。

2-9 都道府県別 技術分野(小分類)別

都道府県別 技術分野(小分類)別 受理数トップ3を表2-9-1に示す。

表2-9-1 都道府県別 技術分野(小分類)別 受理数トップ3 A(発掘型)

都道府県	1位		2位		3位	
	分野	件数	分野	件数	分野	件数
北海道	ライフサイエンス	230	ナノテク・材料	94	ものづくり技術	80
青森県	ライフサイエンス	53	ナノテク・材料	17	ものづくり技術	15
岩手県	ライフサイエンス	57	ナノテク・材料	30	ものづくり技術	19
宮城県	ライフサイエンス	89	ナノテク・材料	71	ものづくり技術	44
秋田県	ライフサイエンス	33	ナノテク・材料	26	ものづくり技術	15
山形県	ナノテク・材料	33	ライフサイエンス	26	ものづくり技術	18
福島県	ライフサイエンス	20	ナノテク・材料	18	環境	9
茨城県	ライフサイエンス	40	ナノテク・材料	38	ものづくり技術	21
栃木県	ナノテク・材料	31	ライフサイエンス	23	ものづくり技術	19
群馬県	ライフサイエンス	33	ナノテク・材料	30	ものづくり技術	14
埼玉県	ナノテク・材料	22	ライフサイエンス	13	ものづくり技術	8
千葉県	ライフサイエンス	66	ナノテク・材料	28	ものづくり技術	17
東京都	ライフサイエンス	88	ナノテク・材料	72	ものづくり技術	49
神奈川県	ナノテク・材料	67	ライフサイエンス	51	ものづくり技術	33
新潟県	ライフサイエンス	50	ナノテク・材料	43	ものづくり技術	27
富山県	ライフサイエンス	43	ナノテク・材料	34	ものづくり技術	26
石川県	ライフサイエンス	64	ナノテク・材料, ものづくり技術	32		
福井県	ライフサイエンス, ナノテク・材料	41			社会基盤	21
山梨県	ナノテク・材料	15	情報通信	12	ライフサイエンス	9
長野県	ライフサイエンス	33	ナノテク・材料	30	ものづくり技術	16
岐阜県	ライフサイエンス	74	ナノテク・材料	42	情報通信, 社会基盤	19
静岡県	ライフサイエンス	34	ナノテク・材料	25	ものづくり技術	18
愛知県	ナノテク・材料	223	ライフサイエンス	190	ものづくり技術	90
三重県	ライフサイエンス	47	ナノテク・材料	35	ものづくり技術	21
滋賀県	ライフサイエンス	71	ナノテク・材料	56	情報通信	40
京都府	ライフサイエンス	137	ナノテク・材料	114	ものづくり技術	42
大阪府	ナノテク・材料	202	ライフサイエンス	159	ものづくり技術	85
兵庫県	ライフサイエンス	88	ナノテク・材料	79	ものづくり技術	31
奈良県	ライフサイエンス	24	ナノテク・材料	16	ものづくり技術	10
和歌山県	ナノテク・材料	15	情報通信	11	ライフサイエンス	9
鳥取県	ライフサイエンス	19	ナノテク・材料	9	情報通信, ものづくり技術	6
島根県	ライフサイエンス	16	ナノテク・材料	11	情報通信, 環境, エネルギー	5
岡山県	ライフサイエンス	121	ナノテク・材料	50	ものづくり技術	45
広島県	ライフサイエンス	63	ナノテク・材料	47	ものづくり技術	34
山口県	ライフサイエンス	39	ナノテク・材料	25	ものづくり技術	20
徳島県	ライフサイエンス	63	ナノテク・材料	39	ものづくり技術	27
香川県	ライフサイエンス	56	ナノテク・材料	25	ものづくり技術	19
愛媛県	ライフサイエンス	66	ナノテク・材料	44	ものづくり技術	15
高知県	ライフサイエンス	75	ものづくり技術	26	ナノテク・材料	18
福岡県	ナノテク・材料	118	ライフサイエンス	107	ものづくり技術	34
佐賀県	ライフサイエンス	26	ナノテク・材料	14	ものづくり技術	6
長崎県	ライフサイエンス	46	ナノテク・材料	28	ものづくり技術	15
熊本県	ライフサイエンス	38	ナノテク・材料	25	ものづくり技術	16
大分県	ライフサイエンス	23	ナノテク・材料	20	情報通信	7
宮崎県	ライフサイエンス	52	ナノテク・材料	16	環境, ものづくり技術	6
鹿児島県	ライフサイエンス	24	環境	9	ナノテク・材料, ものづくり技術	8
沖縄県	ライフサイエンス	23	ナノテク・材料	5	環境, エネルギー, 社会基盤	3

都道府県別の受理件数で全国ベスト 6 に入る愛知県、北海道、大阪府、京都府、福岡県、東京都、並びに特筆すべき県について、技術分野(小分類)別の特徴を示す。

「愛知県」: 受理件数のトップ 3 は「ナノテク・材料(223 件)」「ライフサイエンス(190 件)」「ものづくり技術(90 件)」であり、「ナノテク・材料」「ものづくり技術」は全国 1 位である。また、「ライフサイエンス」は全国 2 位で、どの分野においても受理数が多いのが特徴である。

「北海道」: 受理件数のトップ 3 は「ライフサイエンス(230 件)」「ナノテク・材料(94 件)」「ものづくり技術(80 件)」である。「ライフサイエンス」はその数が突出して多く、全国 1 位となっている。「ライフサイエンス」が北海道の中心的分野であることがわかる。

「大阪府」: 受理件数のトップ 3 は「ナノテク・材料(202 件)」「ライフサイエンス(159 件)」「ものづくり技術(85 件)」である。「ナノテク・材料」、「ものづくり技術」は全国 2 位、「ライフサイエンス」は全国 3 位となっている。

「京都府」: 受理件数のトップ 3 は「ライフサイエンス(137 件)」「ナノテク・材料(114 件)」「ものづくり技術(42 件)」となっている。

「福岡県」: 受理件数のトップ 3 は「ナノテク・材料(118 件)」「ライフサイエンス(107 件)」「ものづくり技術(34 件)」となっている。

「東京都」: 受理件数のトップ 3 は「ライフサイエンス(88 件)」「ナノテク・材料(72 件)」「ものづくり技術(49 件)」となっている。

「その他」:

- ・ 各都道府県、「ライフサイエンス」「ナノテク・材料」「ものづくり技術」分野が中心の中、それ以外の分野がトップ 3 内に入っている特徴的な県を挙げる。
- ・ 福井県は「社会基盤(採択 7 件)」で全国 3 位である。
- ・ 滋賀県は「情報通信」で受理件数が全国 5 位、採択件数 11 件で全国 4 位である。
- ・ 上述の都道府県以外で採択数 5 件以上を得ている分野として、岐阜県の「社会基盤(6 件)」があるが、全国トップ 3 に入るまでには至っていない。

2-10 研究機関分類別

代表研究者が所属する機関(以下「研究機関」)を前年度同様、「国立大学」、「公立大学」、「私立大学」、「国立試験研究機関」、「公設試験研究機関」、「高等専門学校」、「公益法人」、「その他」に分類(以下「研究機関分類」)し、それぞれの受理・採択状況を調べた。

研究機関分類別の受理・採択状況を表 2-10-1、図 2-10-1 に、また、比較のために過去 2 年間を含む 3 年間の推移を表 2-10-2、図 2-10-2 に示し、採択における各機関分類の割合を図 2-10-3 に示す。

表 2-10-1 研究機関分類別 受理・採択データ

A (発掘型)

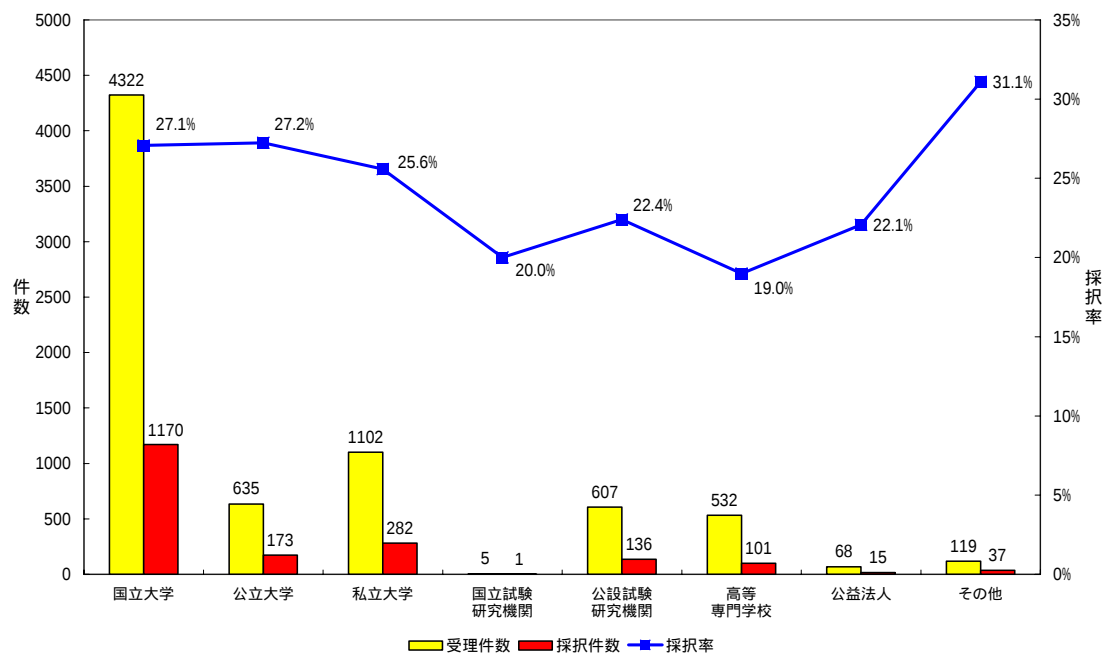
研究機関分類	分類内機関		受理			採択			採択率
	機関数	割合	受理件数	割合	機関区分内平均受理数	採択件数	割合	機関区分内平均採択数	
国立大学	113	24.1%	4322	58.5%	38.2	1170	61.1%	10.4	27.1%
公立大学	40	8.5%	635	8.6%	15.9	173	9.0%	4.3	27.2%
私立大学	126	26.9%	1102	14.9%	8.7	282	14.7%	2.2	25.6%
国立試験研究機関	4	0.9%	5	0.1%	1.3	1	0.1%	0.3	20.0%
公設試験研究機関	96	20.5%	607	8.2%	6.3	136	7.1%	1.4	22.4%
高等専門学校	57	12.2%	532	7.2%	9.3	101	5.3%	1.8	19.0%
公益法人	13	2.8%	68	0.9%	5.2	15	0.8%	1.2	22.1%
その他	19	4.1%	119	1.6%	6.3	37	1.9%	1.9	31.1%
総計	468	100.0%	7390	100.0%	15.8	1915	100.0%	4.1	25.9%

B (発展型)

研究機関分類	分類内機関		受理			採択			採択率
	機関数	割合	受理件数	割合	機関区分内平均受理数	採択件数	割合	機関区分内平均採択数	
国立大学	75	41.0%	292	61.5%	3.9	100	68.0%	1.3	34.2%
公立大学	12	6.6%	37	7.8%	3.1	10	6.8%	0.8	27.0%
私立大学	46	25.1%	73	15.4%	1.6	18	12.2%	0.4	24.7%
国立試験研究機関	1	0.5%	1	0.2%	1.0	0	0.0%	0.0	0.0%
公設試験研究機関	24	13.1%	33	6.9%	1.4	8	5.4%	0.3	24.2%
高等専門学校	15	8.2%	24	5.1%	1.6	5	3.4%	0.3	20.8%
公益法人	3	1.6%	3	0.6%	1.0	0	0.0%	0.0	0.0%
その他	7	3.8%	12	2.5%	1.7	6	4.1%	0.9	50.0%
総計	183	100.0%	475	100.0%	2.6	147	100.0%	0.8	30.9%

図 2-10-1 研究機関分類別 受理・採択件数と採択率

A (発掘型)



B (発展型)

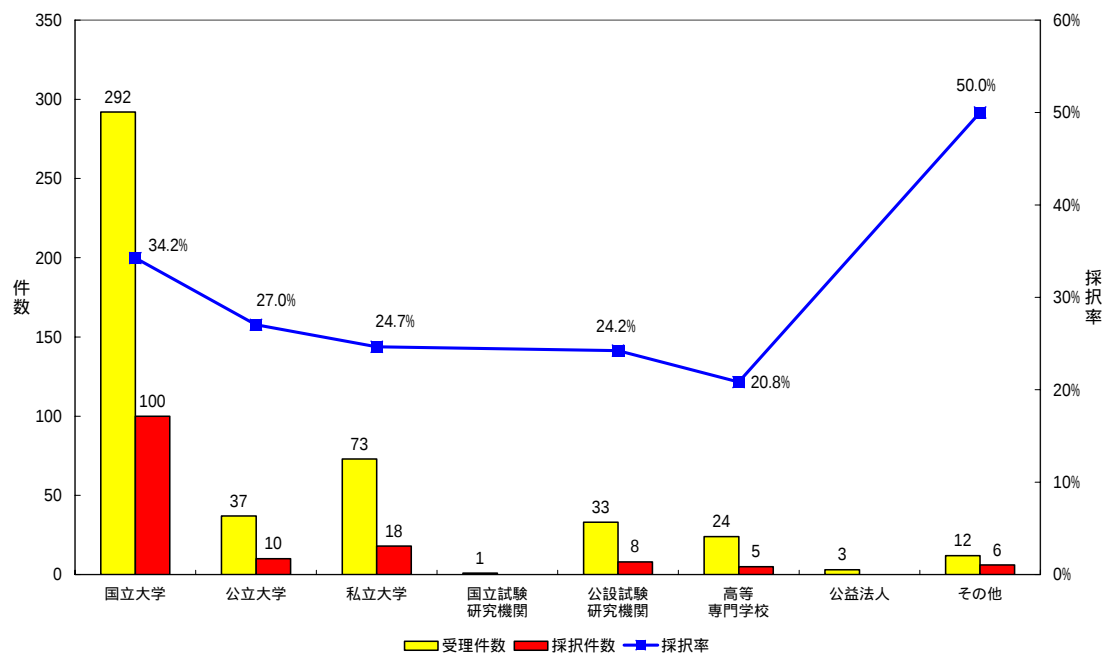
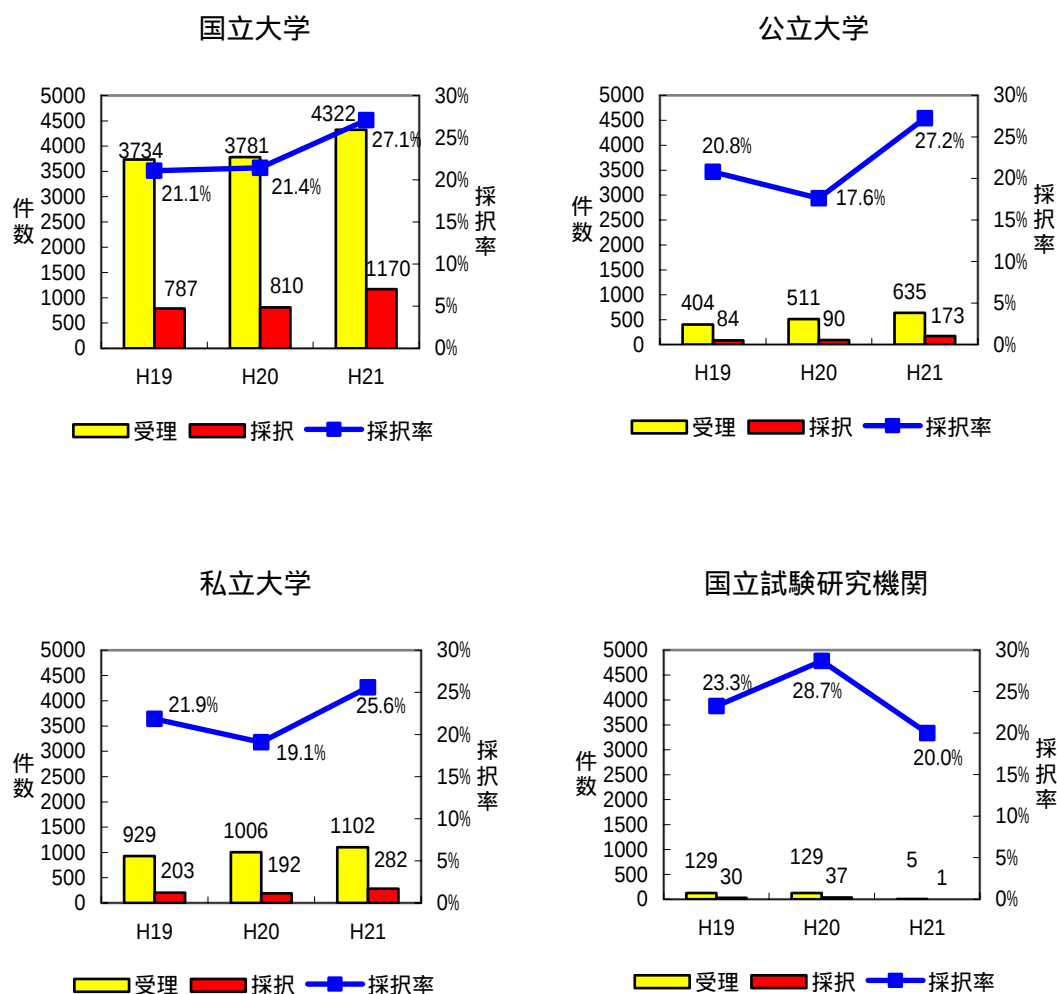


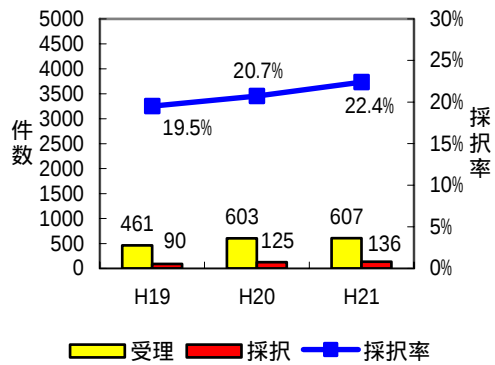
表 2-10-2 研究機関分類別 受理・採択件数と採択率の推移 A(発掘型)

研究機関分類	受理件数			採択件数			採択率		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
国立大学	3734	3781	4322	787	810	1170	21.1%	21.4%	27.1%
公立大学	404	511	635	84	90	173	20.8%	17.6%	27.2%
私立大学	929	1006	1102	203	192	282	21.9%	19.1%	25.6%
国立試験研究機関	129	129	5	30	37	1	23.3%	28.7%	20.0%
公設試験研究機関	461	603	607	90	125	136	19.5%	20.7%	22.4%
高等専門学校	299	351	532	43	63	101	14.4%	17.9%	19.0%
公益法人	56	72	68	13	15	15	23.2%	20.8%	22.1%
その他	6	1	119	0	0	37	0.0%	0.0%	31.1%
総計	5621	6018	7390	1008	1250	1915	17.9%	20.8%	25.9%

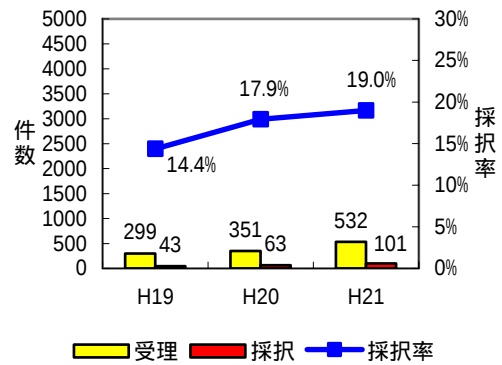
図 2-10-2 研究機関分類別 受理・採択件数と採択率の推移



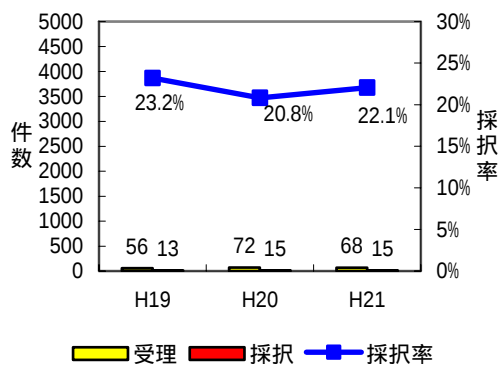
公設試験研究機関



高等専門学校



公益法人



その他

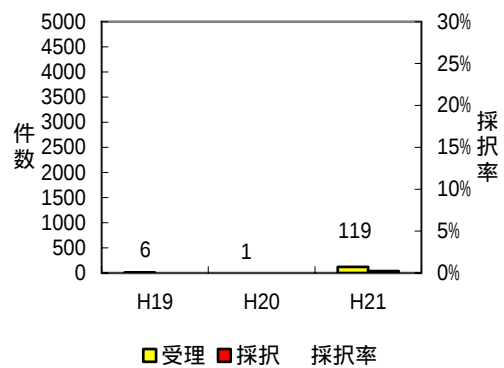
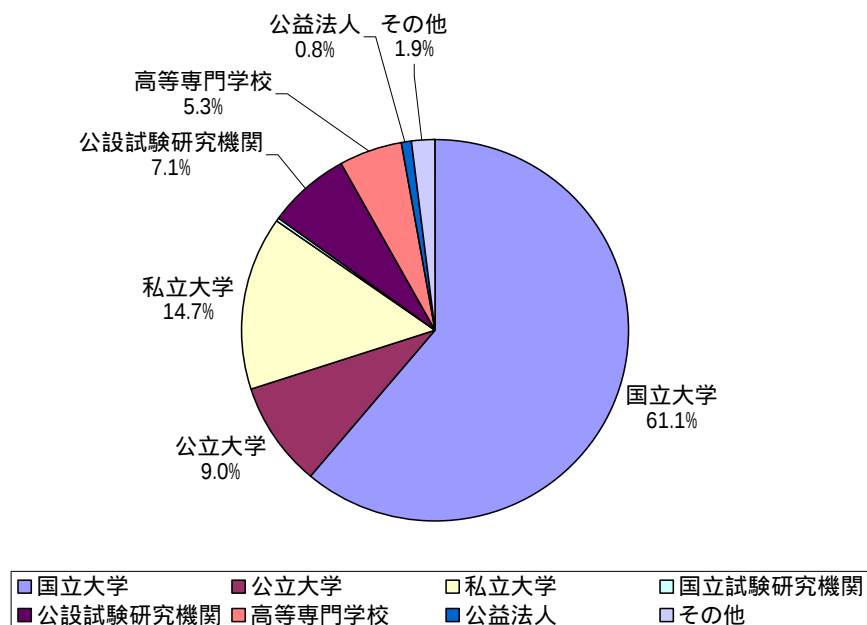
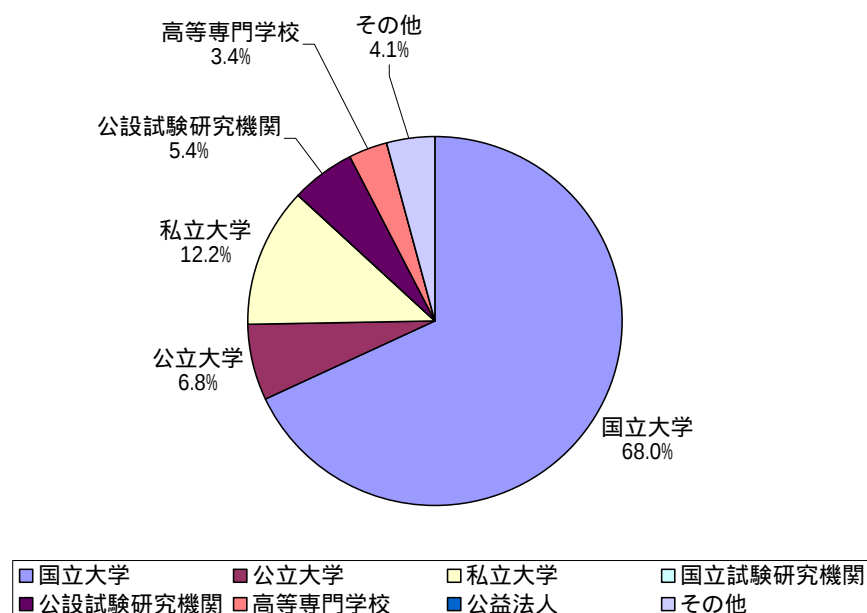


図 2-10-3 研究機関分類別 受理・採択件数割合
A (発掘型)



B (発展型)



受理した研究機関の数は全体で 468 機関におよび、過去の経過(平成 19 年度 436 機関、平成 20 年度 443 機関)を見ても、着実に増えている。研究機関分類別の機関数は、「私立大学」(126 機関)、「国立大学」(113 機関)、「公設試験研究機関」(96 機関)、「高等専門学校」(57 機関)、「公立大学」(40 機関)、「公益法人」(13 機関)、「国立試験研究機関」(4 機関)の順であり、前年度とは一部順位が変わっているが、ほぼ同じである。

研究機関分類別機関数の前年度との比較では、増加した「国立大学」(42 機関増)、「高等専門学校」(9 機関増)、「公立大学」(2 機関増)に対し、「公設試験研究機関」(26 機関減)、「国立試験研究機関」(11 機関減)、「私立大学」(4 機関減)は減少している。

研究機関分類別受理件数順は、「国立大学」(4322 件)、「私立大学」(1102 件)、「公立大学」(635 件)、「公設試験研究機関」(607 件)、「高等専門学校」(532 件)、「公益法人」(68 件)、「国立試験研究機関」(5 件)、「その他」(119 件)である。前年度と比べ、「国立大学」(3781 件)、「私立大学」(1006 件)、「公設試験研究機関」(603 件)、「公立大学」(511 件)、「高等専門学校」(351 件)、「国立試験研究機関」(129 件)、「公益法人」(72 件)と一部順位が変わっている。

研究機関分類別で見た平均受理数は、「国立大学」(前年度 53.3 件 今年度 38.2 件、以下同様)、「公立大学」(13.4 件 15.9 件)、「高等専門学校」(7.3 件 9.3 件)、「私立大学」(7.7 件 8.7 件)、「公設試験研究機関」(4.9 件 6.3 件)、「公益法人」(4.0 件 5.2 件)、「国立試験研究機関」(8.6 件 1.3 件)となっている。「国立大学」が大幅に減ってはいるが、最大の平均受理件数を示していることは前年度と同様である。

研究機関分類別採択件数は、多いほうから順に「国立大学」(1170 件)、「私立大学」(282 件)、「公立大学」(173 件)、「公設試験研究機関」(136 件)、「高等専門学校」(101 件)、「公益法人」(15 件)、「国立試験研究機関」(1 件)である。前年度と比べ順位は「国立大学」(810 件)、「私立大学」(192 件)、「公設試験研究機関」(125 件)、「公立大学」(90 件)、「高等専門学校」(63 件)、「国立試験研究機関」(37 件)と、一部変化が見られる。国立大学が大幅に採択件数を増加させており、他機関を引き離している。

研究機関分類別で見た平均採択件数は、「国立大学」(前年度 11.4 今年度 10.4 件、以下同様)、「公立大学」(2.3 件 4.3 件)、「私立大学」(1.5 件 2.2 件)、「高等専門学校」(1.3 件 1.8 件)、「公設試験研究機関」(1.0 件 1.4 件)、「公益法人」(0.8 件 1.2 件)、「国立試験研究機関」(2.5 件 0.3 件)となっており、「公立大学」「私立大学」「高等専門学校」「公益法人」は増加を示している。

研究機関分類別採択率は、高いほうから順に「公立大学」(27.2%)、「国立大学」(27.1%)、「私立大学」(25.6%)、「公設試験研究機関」(22.4%)、「国立試験研究機

関」(20.0%)、「公益法人」(22.1%)、「高等専門学校」(19.0%)であり、前年度に対し「国立試験研究機関」以外の機関は増加している。順位は前年度の「国立試験研究機関」(28.7%)、「国立大学」(21.4%)、「公益法人」(20.8%)、「公設試験研究機関」(20.7%)、「私立大学」(19.1%)、「高等専門学校」(17.9%)、「公立大学」(17.6%)の順と大幅に変化している。

研究機関分類別採択率の前年度との増減で見ると、「公立大学」(前年度比154.7%、以下同様)、「私立大学」(134.1%)、「国立大学」(126.4%)、「公設試験研究機関」(108.1%)、「公益法人」(105.9%)、「高等専門学校」(105.8%)、「国立試験研究機関」(69.7%)であり、前年度減少した「公立大学」「私立大学」「国立大学」の伸びが大きく、「国立試験研究機関」の減少が目立つ。

2-11 研究機関別

代表研究者が所属する研究機関個別の受理・採択件数と採択率について、受理件数上位 30 機関を抜粋すると表 2-11-1、図 2-11-1 のようになる。また、比較のために過去 2 年間を含む 3 年間の推移を表 2-11-2、図 2-11-2 に示す。

表 2-11-1 研究機関別 受理・採択データ(受理件数上位 30 機関)

A(発掘型)

研究機関	受理件数	採択件数	採択率
名古屋大学	222	60	27.0%
大阪大学	168	49	29.2%
九州大学	164	43	26.2%
京都大学	156	47	30.1%
大阪府立大学	155	42	27.1%
岡山大学	153	43	28.1%
神戸大学	144	34	23.6%
東北大学	137	44	32.1%
徳島大学	126	38	30.2%
福井大学	122	31	25.4%
広島大学	118	34	28.8%
金沢大学	116	34	29.3%
岐阜大学	113	30	26.5%
立命館大学	109	35	32.1%
名古屋工業大学	102	29	28.4%
愛媛大学	96	26	27.1%
北海道大学	87	44	50.6%
千葉大学	85	20	23.5%
高知大学	83	23	27.7%
岩手大学	80	25	31.3%
信州大学	77	22	28.6%
熊本大学	76	17	22.4%
京都工芸繊維大学	74	18	24.3%
室蘭工業大学	74	14	18.9%
山口大学	73	24	32.9%
産業技術総合研究所	72	19	26.4%
香川大学	70	15	21.4%
山形大学	68	10	14.7%
兵庫県立大学	67	19	28.4%
三重大学	66	19	28.8%

B (発展型)

研究機関	受理件数	採択件数	採択率
名古屋大学	17	5	29.4%
大阪大学	17	6	35.3%
京都大学	12	6	50.0%
大阪府立大学	12	6	50.0%
北海道大学	12	5	41.7%
九州大学	11	2	18.2%
長岡技術科学大学	11	3	27.3%
広島大学	8	3	37.5%
千葉大学	8	4	50.0%
京都工芸繊維大学	8	3	37.5%
神戸大学	7	3	42.9%
福井大学	7	1	14.3%
名古屋工業大学	7	3	42.9%
群馬大学	7	3	42.9%
近畿大学	7	1	14.3%
鳥取大学	7	2	28.6%
東北大学	6	2	33.3%
信州大学	6	1	16.7%
産業技術総合研究所	6	2	33.3%
香川大学	6	2	33.3%
新潟大学	6	2	33.3%
宮崎大学	6	1	16.7%
九州工業大学	6	2	33.3%
筑波大学	6	1	16.7%
山形大学	5	2	40.0%
兵庫県立大学	5	1	20.0%
東京農工大学	5	1	20.0%
慶應義塾大学	5	3	60.0%
長崎大学	5	2	40.0%
山梨大学	5	3	60.0%

図 2-11-1 研究機関別 受理・採択件数と採択率(受理件数上位 30 機関)
A (発掘型)

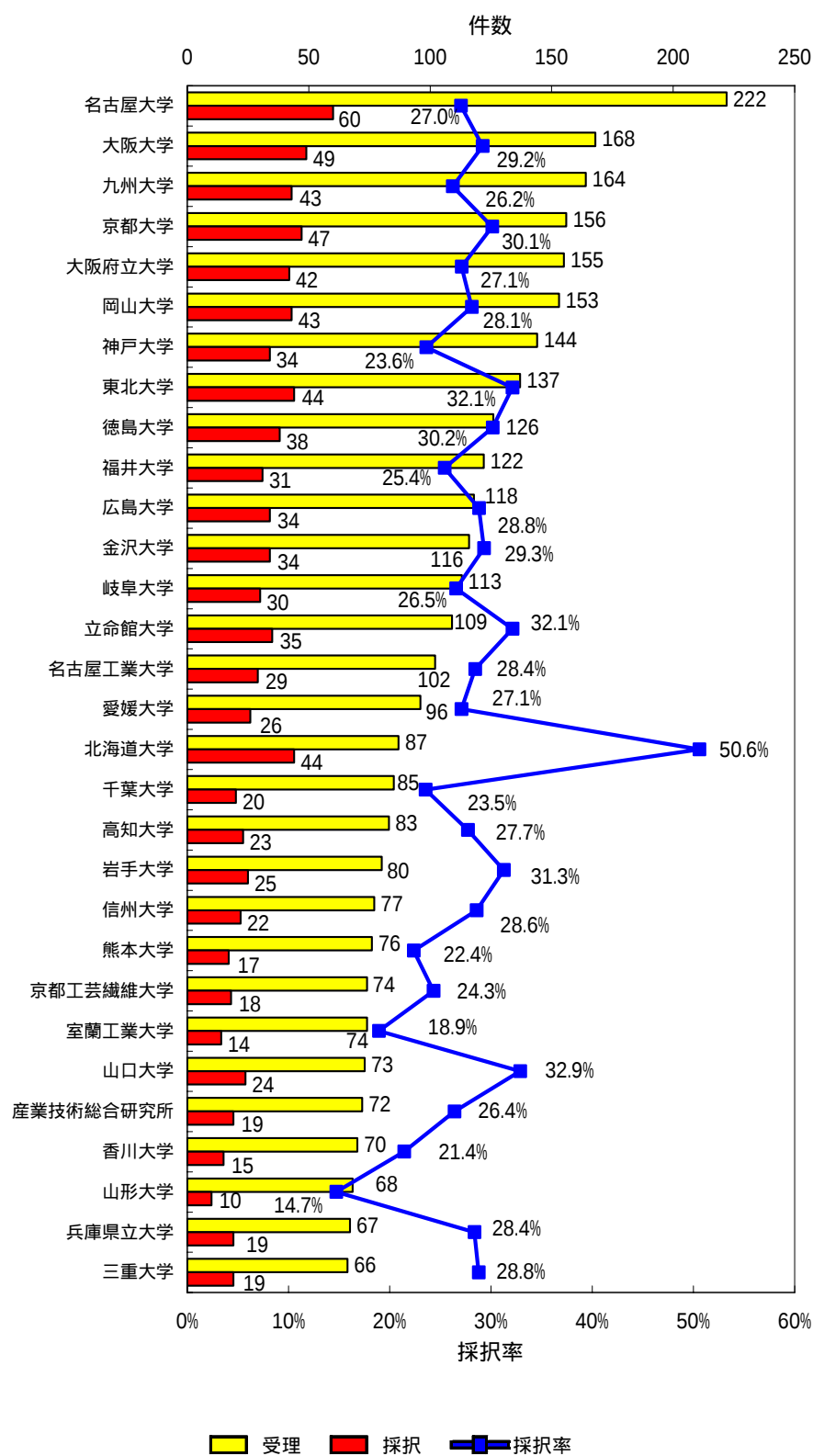


図 2-11-1 研究機関別 受理・採択件数と採択率 (受理件数上位 30 機関)
B (発展型)

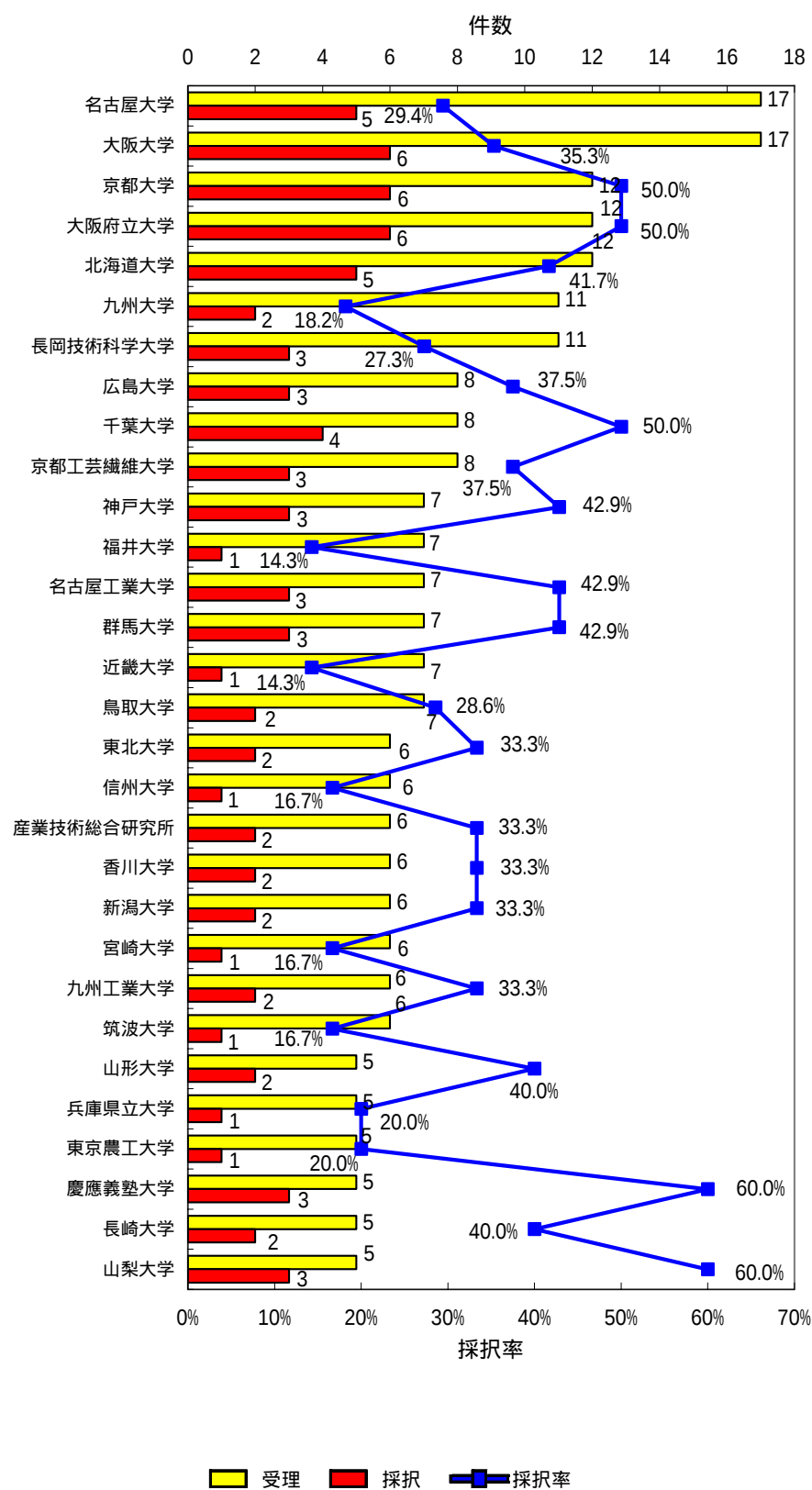


表 2-11-2 研究機関別 受理・採択件数と採択率の推移(受理件数上位 30 機関)
A(発掘型)

研究機関	受理件数			採択件数			採択率		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
名古屋大学	169	210	222	34	42	60	20.1%	20.0%	27.0%
大阪大学	159	140	168	39	35	49	24.5%	25.0%	29.2%
九州大学	159	150	164	35	36	43	22.0%	24.0%	26.2%
京都大学	156	112	156	27	29	47	17.3%	25.9%	30.1%
大阪府立大学	78	140	155	17	23	42	21.8%	16.4%	27.1%
岡山大学	139	132	153	31	25	43	22.3%	18.9%	28.1%
神戸大学	121	104	144	24	18	34	19.8%	17.3%	23.6%
東北大学	90	98	137	26	25	44	28.9%	25.5%	32.1%
徳島大学	123	124	126	22	28	38	17.9%	22.6%	30.2%
福井大学	95	135	122	16	20	31	16.8%	14.8%	25.4%
広島大学	122	124	118	28	29	34	23.0%	23.4%	28.8%
金沢大学	84	88	116	17	17	34	20.2%	19.3%	29.3%
岐阜大学	-	-	113	-	-	30	-	-	26.5%
立命館大学	-	-	109	-	-	35	-	-	32.1%
名古屋工業大学	-	-	102	-	-	29	-	-	28.4%
愛媛大学	82	96	96	17	23	26	20.7%	24.0%	27.1%
北海道大学	66	73	87	16	24	44	24.2%	32.9%	50.6%
千葉大学	-	-	85	-	-	20	-	-	23.5%
高知大学	-	-	83	-	-	23	-	-	27.7%
岩手大学	86	76	80	16	21	25	18.6%	27.6%	31.3%
信州大学	64	67	77	19	22	22	29.7%	32.8%	28.6%
熊本大学	52	70	76	10	12	17	19.2%	17.1%	22.4%
京都工芸繊維大学	71	71	74	14	13	18	19.7%	18.3%	24.3%
室蘭工業大学	65	70	74	11	13	14	16.9%	18.6%	18.9%
山口大学	68	73	73	10	15	24	14.7%	20.5%	32.9%
産業技術総合研究所	56	73	72	14	21	19	25.0%	28.8%	26.4%
香川大学	78	72	70	16	10	15	20.5%	13.9%	21.4%
山形大学	78	69	68	14	10	10	17.9%	14.5%	14.7%
兵庫県立大学	54	65	67	11	11	19	20.4%	16.9%	28.4%
三重大学	-	-	66	-	-	19	-	-	28.8%

(H19・H20の「-」表記はH20において上位30位圏外の機関)

B (発展型)

研究機関	受理件数			採択件数			採択率		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
名古屋大学	-	13	17	-	2	5	-	15.4%	29.4%
大阪大学	-	21	17	-	2	6	-	9.5%	35.3%
京都大学	-	26	12	-	3	6	-	11.5%	50.0%
大阪府立大学	-	8	12	-	1	6	-	12.5%	50.0%
北海道大学	-	12	12	-	1	5	-	8.3%	41.7%
九州大学	-	18	11	-	1	2	-	5.6%	18.2%
長岡技術科学大学	-	10	11	-	1	3	-	10.0%	27.3%
広島大学	-	15	8	-	1	3	-	6.7%	37.5%
千葉大学	-	-	8	-	-	4	-	-	50.0%
京都工芸繊維大学	-	17	8	-	2	3	-	11.8%	37.5%
神戸大学	-	5	7	-	-	3	-	-	42.9%
福井大学	-	8	7	-	-	1	-	-	14.3%
名古屋工業大学	-	-	7	-	-	3	-	-	42.9%
群馬大学	-	6	7	-	-	3	-	-	42.9%
近畿大学	-	6	7	-	1	1	-	16.7%	14.3%
鳥取大学	-	-	7	-	-	2	-	-	28.6%
東北大学	-	6	6	-	1	2	-	16.7%	33.3%
信州大学	-	-	6	-	-	1	-	-	16.7%
産業技術総合研究所	-	10	6	-	-	2	-	-	33.3%
香川大学	-	-	6	-	-	2	-	-	33.3%
新潟大学	-	7	6	-	1	2	-	14.3%	33.3%
宮崎大学	-	8	6	-	2	1	-	25.0%	16.7%
九州工業大学	-	-	6	-	-	2	-	-	33.3%
筑波大学	-	6	6	-	-	1	-	-	16.7%
山形大学	-	-	5	-	-	2	-	-	40.0%
兵庫県立大学	-	5	5	-	1	1	-	20.0%	20.0%
東京農工大学	-	5	5	-	-	1	-	-	20.0%
慶應義塾大学	-	-	5	-	-	3	-	-	60.0%
長崎大学	-	-	5	-	-	2	-	-	40.0%
山梨大学	-	5	5	-	2	3	-	40.0%	60.0%

受理件数に関しては、名古屋大学(222 件)、大阪大学(168 件)、九州大学(164 件)、京都大学(156 件)、大阪府立大学(155 件)、岡山大学(153 件)が 150 件以上のトップグループを形成し、続いて神戸大学(144 件)、東北大学(137 件)、徳島大学(126 件)、福井大学(122 件)、広島大学(124 件)でトップ 10 となっている。このトップ 10 の上位は例年同じ機関名が並ぶ傾向にあるが、今年度は京都大学(前年度 112 件 今年度 156 件、以下同様)と神戸大学(104 件 144 件)と東北大学(98 件 137 件)が急伸している。一方、受理件数減少しているのは、福井大学(135 件 122 件)。

受理件数で 3 年間着実に増加している機関は、名古屋大学、大阪府立大学、東北大学、徳島大学、金沢大学、北海道大学、信州大学、熊本大学、室蘭工業大学、兵庫県立大学である。

採択件数上位機関トップ 10 は、名古屋大学(60 件)、大阪大学(49 件)、京都大学(47 件)、東北大学(44 件)、北海道大学(44 件)、九州大学(43 件)、岡山大学(43 件)、大阪府立大学(42 件)、徳島大学(38 件)、立命館大学(35 件)、神戸大学(34 件)、広島大学(34 件)、金沢大学(34 件)である。採択件数の伸びが大きいのは、名古屋大学(42 件 60 件)、京都大学(29 件 47 件)、大阪府立大学(23 件 42 件)、岡山大学(25 43 件)、東北大学(25 44 件)、北海道大学(24 件 44 件)である。全体的に採択件数は増加傾向にあり、唯一前年度より減少したのは産業技術総合研究所(21 件 19 件)である。

採択件数で 3 年間着実に増加している機関は、名古屋大学、九州大学、京都大学、大阪府立大学、徳島大学、福井大学、広島大学、愛媛大学、北海道大学、岩手大学、熊本大学、室蘭工業大学である。

採択率で上位機関トップ 10(但し、採択件数 20 件以上)は、北海道大学(50.6%)、山口大学(32.9%)、東北大学(32.1%)、立命館大学(32.1%)、岩手大学(31.3%)、徳島大学(30.2%)、京都大学(30.1%)、金沢大学(29.3%)、大阪大学(29.2%)、広島大学(28.8%)である。採択率で前年度からの伸びが大きい機関は、福井大学(前年度比 171.5%、以下同様)、兵庫県立大学(167.6%)、大阪府立大学(164.9%)、山口大学(160.0%)、香川大学(154.3%)、北海道大宅(153.8%)、金沢大学(151.7%)である。一方、採択率が前年度より減少した機関は、信州大学(前年度比 87.0%、以下同様)、産業技術総合研究所(91.7%)である。

採択率で 3 年間着実に増加している機関は、大阪大学、九州大学、京都大学、徳島大学、広島大学、愛媛大学、北海道大学、岩手大学、室蘭工業大学、山口大学である。中でも北海道大学、山口大学は高い伸び率を示している。3 年間採択率 20%以上を記録した機関は名古屋大学、大阪大学、京都大学、九州大学、東北大学、広島大学、愛媛大学、北海道大学、信州大学、産業技術総合研究所である。

B(発展型)については、A(発掘型)同様の機関がトップ 3 に名を連ねている。受理件数では「名古屋大学(17 件)」「大阪大学(17 件)」「京都大学(12 件)」「大阪府立大学(12 件)」「北海道大学(12 件)」が続く。受理件数は昨年より減少傾向にあるものの、採択件数は増え、採択率も大幅に増加している。

2-12 研究機関分類別 技術分野(大分類)別

研究機関分類別 技術分野(大分類)の受理件数上位3分野を表2-12-1に示す。

表 2-12-1 研究機関分類別 技術分野(大分類)における上位3分野 A(発掘型)

研究機関分類	1位		2位		3位	
	技術分野	受理件数	技術分野	受理件数	技術分野	受理件数
国立大学	ライフサイエンス	1666	ナノテク・材料	1308	ものづくり技術	577
公立大学	ライフサイエンス	260	ナノテク・材料	159	情報通信	106
私立大学	ライフサイエンス	450	ナノテク・材料	230	ものづくり技術	157
国立試験研究機関	ライフサイエンス	6				
公設試験研究機関	ライフサイエンス	243	ナノテク・材料	163	ものづくり技術	149
高等専門学校	ナノテク・材料	144	ものづくり技術	127	情報通信	86
公益法人	ライフサイエンス	42	ナノテク・材料	16	エネルギー	11

B(発展型)

研究機関分類	1位		2位		3位	
	技術分野	受理件数	技術分野	受理件数	技術分野	受理件数
国立大学	ライフサイエンス	102	ナノテク・材料	98	ものづくり技術	46
公立大学	ナノテク・材料	23	ものづくり技術	7	ライフサイエンス	6
私立大学	ライフサイエンス	26	ナノテク・材料	20	エネルギー	10
国立試験研究機関	ライフサイエンス	1				
公設試験研究機関	ナノテク・材料	12	ものづくり技術	9	ライフサイエンス	8
高等専門学校	ナノテク・材料	13	ライフサイエンス	5	ものづくり技術 社会基盤	3
公益法人	ナノテク・材料	3	ライフサイエンス	1		

各研究機関分類内で技術分野(大分類)の受理件数トップ3 についての特徴を示す。ほとんどの研究機関において『ライフサイエンス』『ナノテク・材料』が1位2位を占めている。3位に『ものづくり技術』『情報通信』『エネルギー』と続く。

「高等専門学校」のみ『ナノテク・材料』『ものづくり技術』『情報通信』という構成になっているところに特徴が表れている。

B(発展型)についても、A(発掘型)と同じで、『ライフサイエンス』『ナノテク・材料』が中心である。『ナノテク・材料』が1位になっているところが多くなっている。3位に「私立学校」で『エネルギー』、「高等専門学校」で『社会基盤』が挙げられている。

2-13 研究機関分類別 技術分野(小分類)別

代表研究者が所属する研究機関の分類別 技術分野(小分類)毎の受理件数 上位3分野を表 2-13-1 に示す。

表 2-13-1 研究機関分類別 技術分野(小分類)における上位3分野

A (発掘型)

研究機関分類	1位		2位		3位	
	技術分野	受理件数	技術分野	受理件数	技術分野	受理件数
国立大学	医学・医療	809	食料科学・技術	316	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等)	259
公立大学	医学・医療	134	食料科学・技術	58	医療・福祉機器	40
私立大学	医学・医療	245	食料科学・技術	76	医療・福祉機器	60
国立試験研究機関	脳科学	3	医学・医療, 食料科学・技術, 共通基礎研究	1		
公設試験研究機関	食料科学・技術	134	加工・合成・プロセス	48		
高等専門学校	医療・福祉機器	44	省エネルギー・エネルギー利用技術	35	エネルギー・環境応用, 加工・合成・プロセス	29
公益法人	食料科学・技術	16	医学・医療	10	脳科学	6

B (発展型)

研究機関分類	1位		2位		3位	
	技術分野	受理件数	技術分野	受理件数	技術分野	受理件数
国立大学	医学・医療	58	加工・合成・プロセス	24	医療・福祉機器	23
公立大学	医学・医療, 計測技術・標準	5	ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等), ナノ医療, 表面・界面	4	ナノ物質・材料(構造材料応用等), 環境負荷最小化, 先進的ものづくり, 医療・福祉機器	2
私立大学	医学・医療	15	医療・福祉機器	7	食料科学・技術, エネルギー・環境応用	5
国立試験研究機関	医学・医療	1				
公設試験研究機関	食料科学・技術, ナノ物質・材料(構造材料応用等), 加工・合成・プロセス, 先進的ものづくり, 医療・福祉機器	3	物質生産, エネルギー・環境応用, 環境負荷最小化	2	医学・医療, 環境・生態, その他(ライフサイエンス), センサ, ヒューマンインターフェイス評価, デバイス, 地域環境, ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等), ナノバイオロジー, 表面・界面, 計測技術・標準, 環境に対する負荷の軽減, システム, 社会基盤の劣化対策	1
高等専門学校	ナノ物質・材料(構造材料応用等)	3	医学・医療, 食料科学・技術, 加工・合成・プロセス, 省エネルギー・エネルギー利用技術, 医療・福祉機器, 社会基盤の劣化対策	2	共通基礎研究, センサ, ヒューマンインターフェイス評価, ナノ物質・材料(電子・磁気・光学応用等), ナノ情報デバイス, エネルギー・環境応用, 表面・界面, 計測技術・標準, 基礎物性, 安全空間創成材料, 共通基礎研究, 高精度技術, 有害危険・危惧物質等安全対策	1
公益法人	食料科学・技術, エネルギー・環境応用, 表面・界面, 計測技術・標準	1				

研究機関分類毎に技術分野(小分類)の受理件数トップ3についての特徴を示す。「国立大学」「公立大学」「私立大学」の大学系は、1位2位はまったく同じで『医学・医療』『食料化学・技術』という構成である。1位『医学・医療』の受理件数は2位以下を大きく引き離していることから、大学での中心分野となっているのがわかる。他機関については、さまざまな分野でトップ3が構成されている。「高等専門学校」は環境エネルギー分野に力を入れているのが伺える。

B(発展型)については、A(発掘型)同様「国立大学」「公立大学」「私立大学」は『医学・医療』の分野が1位となっている。

2-14 代表研究者役職別

代表研究者の所属機関内における役職名を前年度と同様に分類し、それぞれの受理・採択件数と採択率を調査した。なお、大学内の学部長、所長などの役職は教授に、国立試験研究機関や公設試験研究機関内の個別役職名に関しては、年齢などを考慮し分類した。表 2-14-1、図 2-14-1 に代表研究者役職分類別の受理・採択件数と採択率を、図 2-14-2 に採択件数の役職分類別割合を示す。

表 2-14-1 代表研究者役職分類別 受理・採択データ

A (発掘型)

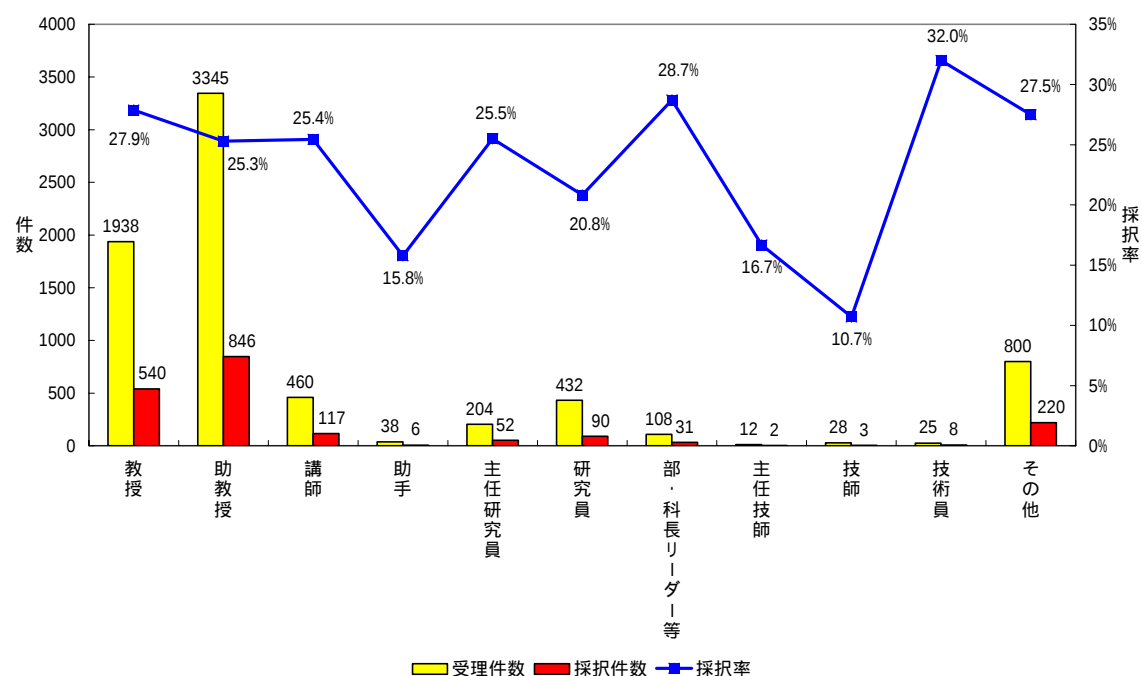
代表研究者役職分類	受理		採択		採択率
	件数	割合	件数	割合	
教授	1938	26.2%	540	28.2%	27.9%
助教授	3345	45.3%	846	44.2%	25.3%
講師	460	6.2%	117	6.1%	25.4%
助手	38	0.5%	6	0.3%	15.8%
主任研究員	204	2.8%	52	2.7%	25.5%
研究員	432	5.8%	90	4.7%	20.8%
部・科長リーダー等	108	1.5%	31	1.6%	28.7%
主任技師	12	0.2%	2	0.1%	16.7%
技師	28	0.4%	3	0.2%	10.7%
技術員	25	0.3%	8	0.4%	32.0%
その他	800	10.8%	220	11.5%	27.5%
総計	7390	100.0%	1915	100.0%	25.9%

B (発展型)

代表研究者役職分類	受理		採択		採択率
	件数	割合	件数	割合	
教授	169	35.6%	60	40.8%	35.5%
助教授	175	36.8%	49	33.3%	28.0%
講師	19	4.0%	6	4.1%	31.6%
助手	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
主任研究員	12	2.5%	6	4.1%	50.0%
研究員	22	4.6%	3	2.0%	13.6%
部・科長リーダー等	8	1.7%	2	1.4%	25.0%
主任技師	1	0.2%	0	0.0%	0.0%
技師	4	0.8%	3	2.0%	75.0%
技術員	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
その他	65	13.7%	18	12.2%	27.7%
総計	475	100.0%	147	100.0%	30.9%

図 2-14-1 代表研究者役職分類別 受理・採択件数と採択率

A (発掘型)



B (発展型)

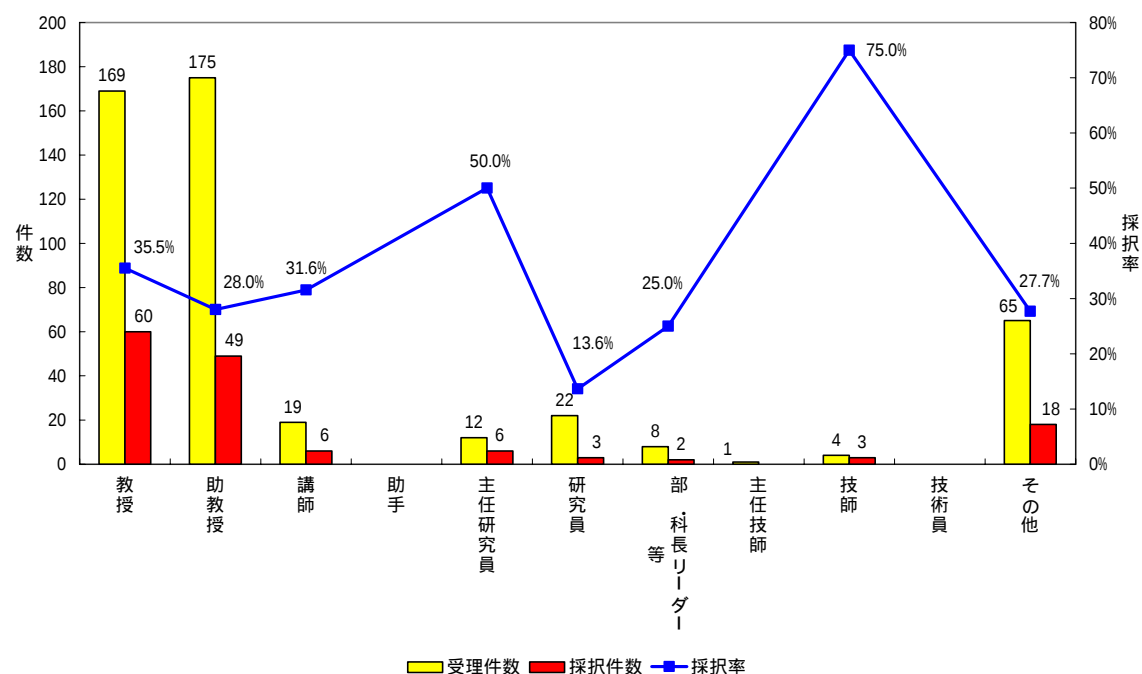
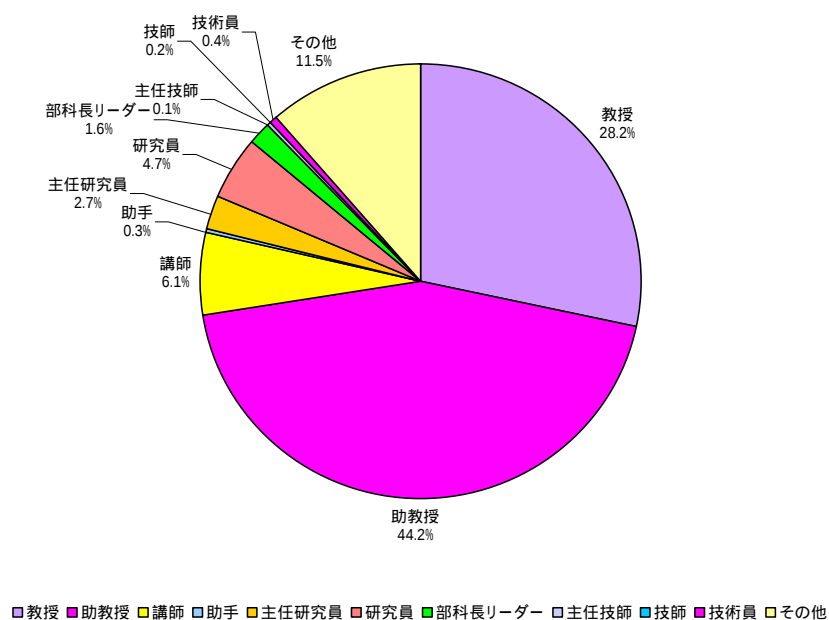
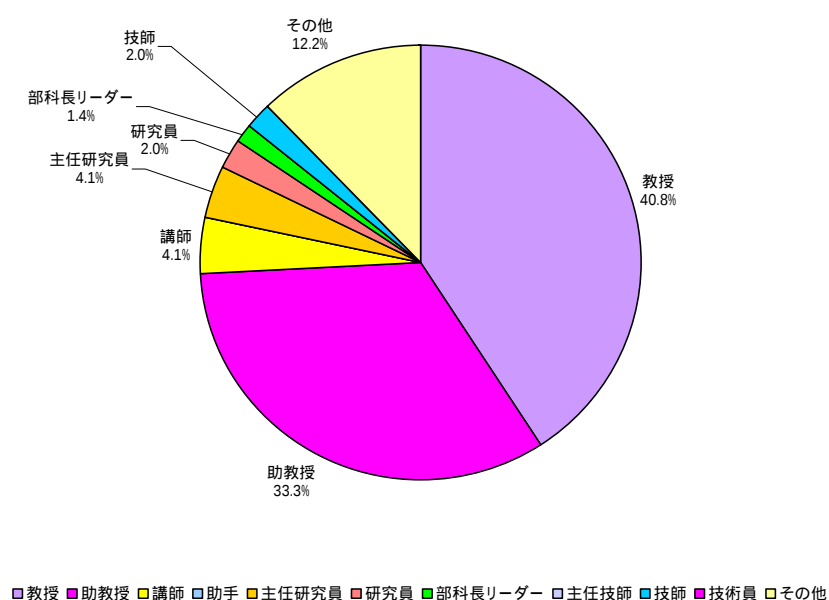


図 2-14-2 代表研究者役職分類別 採択数 割合
A (発掘型)



B (発展型)



「大学」の役職分類(教授、助教授、講師、助手)で、受理件数(合計 78.2%)、採択件数(合計 78.8%)共に約 8 割を占めている。

役職分類別の受理・採択件数割合に関しては、教授(受理件数割合 26.2%; 採択件数 28.2%割合、以下同様)、助教授(45.3%; 44.2%)がそれぞれ受理・採択共に約 3 割から 4 割を占め、前年度(教授(29.6%; 31.2%)、助教授(44.0%; 43.4%))より助教授の割合が高い傾向にある。大学関係者として講師(6.2%; 6.1%)は受理・採択共にやや数が少なく、教授、助教授に次ぐ実績を示している。

採択率に関しては、教授(27.9%)、助教授(25.3%)、講師(25.4%)、主任研究員(25.5%)、部・科長リーダー等(28.7%)、技術員(32.0%)が高い。全体的に前年度より高くなっている。前年度最高の採択率が部・科長リーダー等の 23.6%に対し、今年度は半数の役職が 25%以上の採択率となっている。

受理件数に関して前年度と対比すると、研究員(前年度 348 件 今年度 432 件、伸び率 124.1%以下同様)、助教授(2838 件 3345 件、117.9%)が伸びている。一方助手(292 件 38 件、13.0%)と主任研究員(288 件 204 件、70.8%)は大きく減少している。

採択件数に関して前年度と対比すると、技術員(4 件 8 件、200%)、助教授(579 件 846 件、146.1%)、講師(81 件 117 件 144.4%)、研究員(68 件 90 件、132.4%)、教授(415 件 540 件、130.1%)の伸びが顕著である。一方、主任研究員(67 件 52 件、77.6%)、主任技師(2 件 5 件、40.0%)、技師(3 件 8 件、37.5%)、助手(56 件 6 件、10.7%)は大きく減少している。

B(発展型)については、「教授」「助教授」で約 8 割を占めているのは同様だが、A(発掘型)では「助教授」の方が受理件数・採択件数ともに多かったのに対し、B(発展型)では「教授」が採択件数を伸ばし、高い採択率を上げている。

2-15 代表研究者の年代別

代表研究者を年代別に分類し、受理・採択件数と採択率を表 2-15-1、図 2-15-1 に示す。また、年代別の受理・採択件数割合を図 2-15-2 に示す。

表 2-15-1 代表研究者の年代別 受理・採択データ

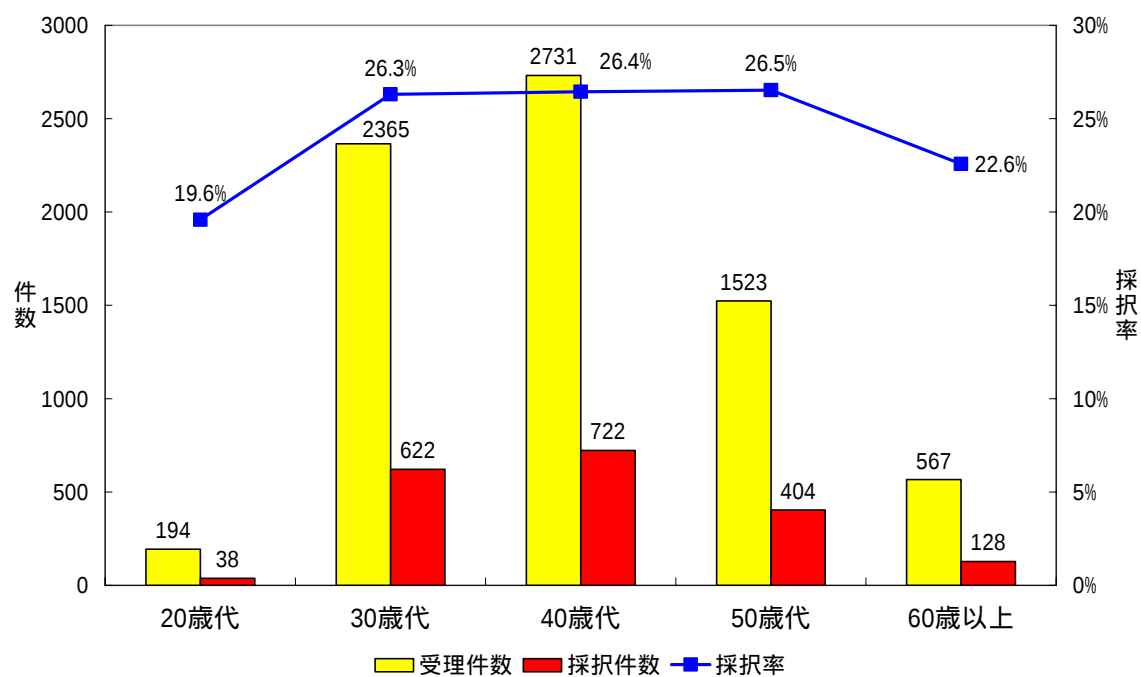
A (発掘型)

年齢 (2009/4/1現在)	受理		採択		採択率
	件数	件数割合	件数	件数割合	
20歳代	194	2.6%	38	2.0%	19.6%
30歳代	2365	32.0%	622	32.5%	26.3%
40歳代	2731	37.0%	722	37.7%	26.4%
50歳代	1523	20.6%	404	21.1%	26.5%
60歳以上	567	7.7%	128	6.7%	22.6%
年齢不明	10	0.1%	1	0.1%	10.0%
合計	7390	100%	1915	100%	25.9%

B (発展型)

年齢 (2009/4/1現在)	受理		採択		採択率
	件数	件数割合	件数	件数割合	
20歳代	5	1.1%	1	0.7%	20.0%
30歳代	91	19.2%	25	17.0%	27.5%
40歳代	206	43.4%	73	49.7%	35.4%
50歳代	128	26.9%	35	23.8%	27.3%
60歳以上	45	9.5%	13	8.8%	28.9%
年齢不明	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
合計	475	100%	147	100%	30.9%

図 2-15-1 代表研究者の年代別 受理・採択件数と採択率
A (発掘型)



B (発展型)

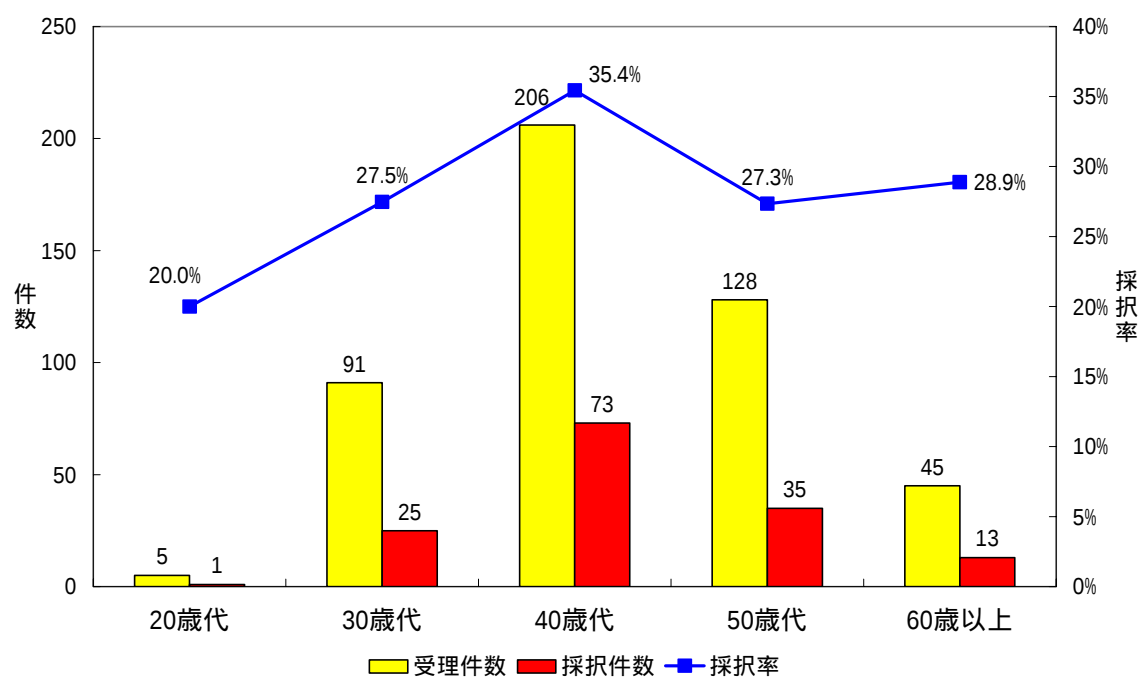
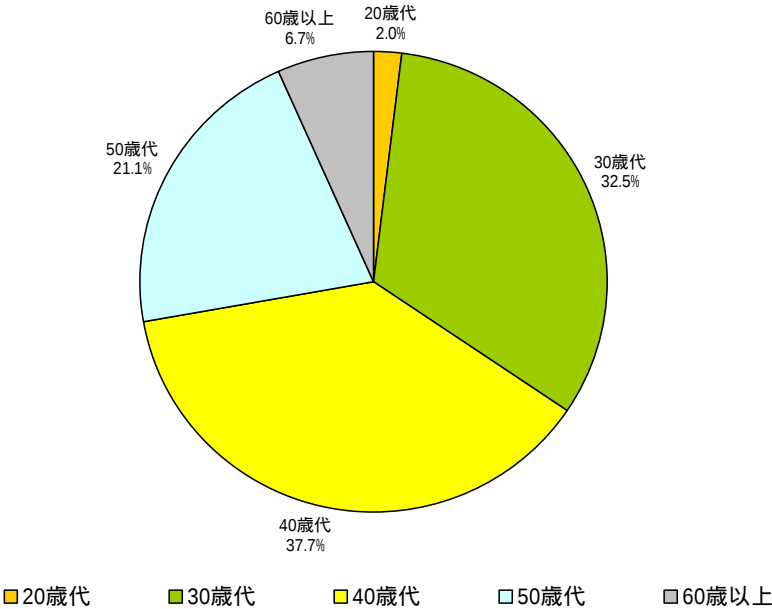
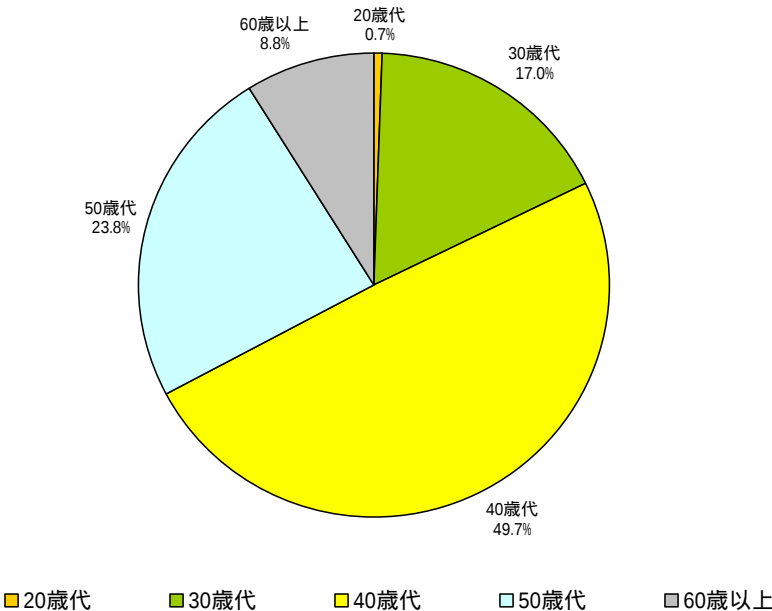


図 2-15-2 代表研究者の年代別 採択件数割合
A (発掘型)



B (発展型)



一人の代表研究者は一件のみの研究課題を応募していることから(受理件数 = 代表研究者人数)、本試験に応募した代表研究者の年代を見ると、最多の年代は 40 歳代(2731 人、全体の 37.0%)であり、次いで 30 歳代(2365 人、32.0%)、50 歳代(1523 人、20.6%)と続き、この 3 世代で全体の約 90%をカバーしている。60 歳以上(567 人、7.7%)は少なく、20 歳代(194 人、2.6%)は僅かである。採択率は中心世代の 40 歳代(26.4%) 30 歳代(26.3%) 50 歳代(26.5%)と、ほぼ同じである。それに対し、60 歳以上(22.6%) 20 歳代(19.6%)とやや落ちる。B(発展型)については、受理件数・採択件数ともに「40 歳代」が 1 位なのは変わっていないが、「30 歳代」が A(発掘型)2 位 → B(発展型)3 位、「50 歳代」が A(発掘型)3 位 → B(発展型)2 位と逆転している。20 歳代は数を大きく減らしている。

2-16 代表研究者の男女別

代表研究者を男女別に分類し、受理・採択件数と採択率を表 2-16-1、図 2-16-1 に示す。

表 2-16-1 代表研究者の男女別 受理・採択データ

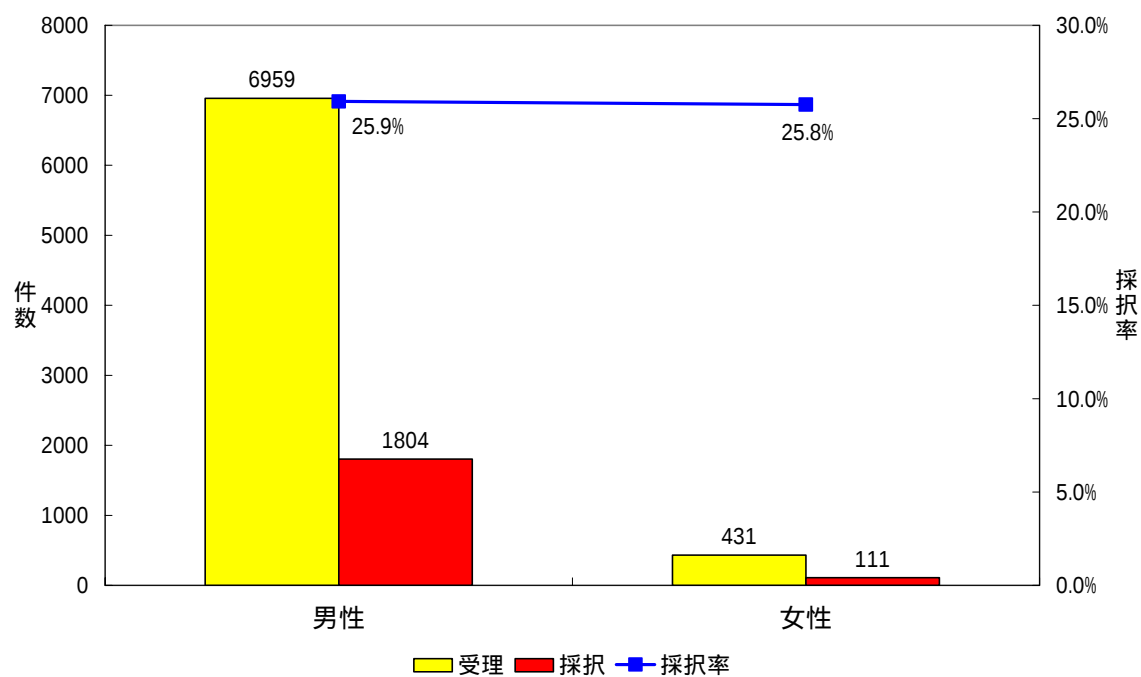
A (発掘型)

項目	受理		採択		採択率
	件数	件数割合	件数	件数割合	
男性	6959	94.2%	1804	94.2%	25.9%
女性	431	5.8%	111	5.8%	25.8%
合計	7390	100.0%	1915	100.0%	25.9%

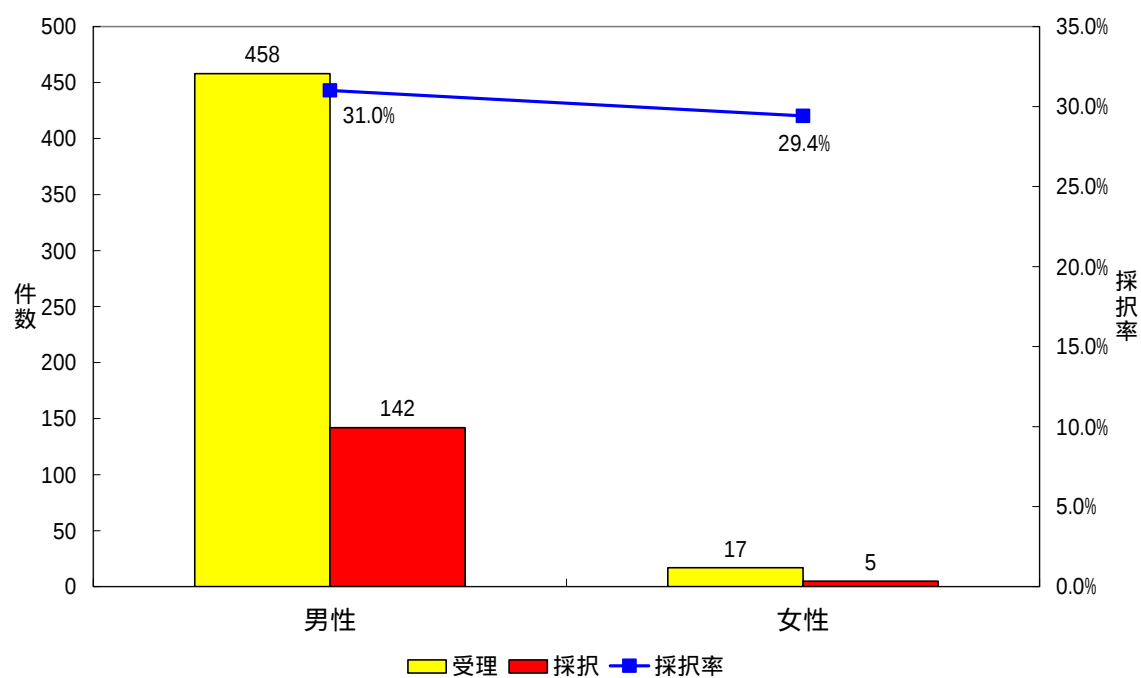
B (発展型)

項目	受理		採択		採択率
	件数	件数割合	件数	件数割合	
男性	458	96.4%	142	96.6%	31.0%
女性	17	3.6%	5	3.4%	29.4%
合計	475	100.0%	147	100.0%	30.9%

図 2-16-1 代表研究者の男女別 受理・採択件数と採択率
A (発掘型)



B (発展型)



本試験に応募した代表研究者の男女別人数を見ると、男性(6959 人、全体の 94.2%)、女性(431 人、5.8%)となり、全体の 94%は男性の研究者である。

採択率を男女別で比較すると、男性(25.9%)、女性(25.8%)であり、差はほとんどない。

B(発展型)に関しても同様に全体の 96%が男性研究者である。全体的にA(発掘型)よりも高い採択率である。

2-17 本試験参加コーディネータ

本試験に参加したコーディネータ(以下 CD と略)数の 3 年間の推移を、表 2-17-1、図 2-17-1 に示す。

表 2-17-1 本試験に参加したコーディネータ数の推移(A 発掘型)

年度	コーディネータ (受理)人数	コーディネータ (採択)人数	採択課題保有 コーディネータの割合
H19	811	508	62.6%
H20	827	524	63.4%
H21	877	627	71.5%

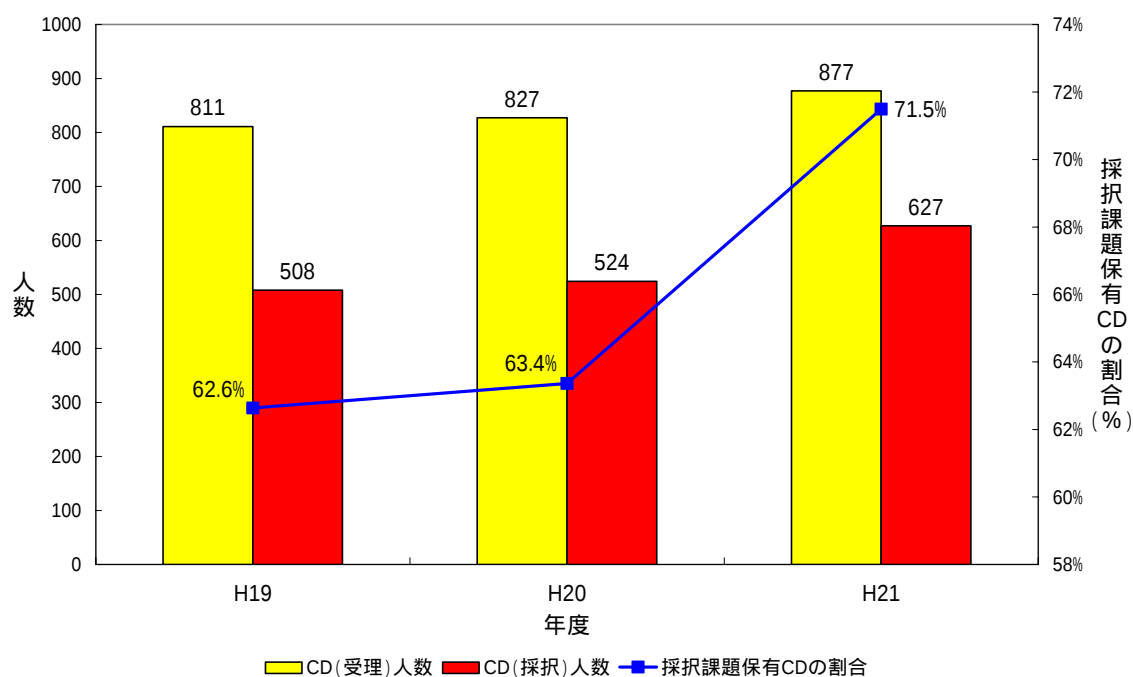
注)

コーディネータ(受理):本試験の受理に関与したコーディネータ

コーディネータ(採択):本試験の採択課題に関与したコーディネータ

採択課題保有コーディネータの割合:コーディネータ(採択) / コーディネータ(受理)

図 2-17-1 本試験に参加したコーディネータ数の推移(A 発掘型)



本試験に参加したCDは各年度共800人を上回るレベルでほぼ一定である。参加したCDの中で採択課題を有する人数やその割合は、過去3年間を見ても着実に増している。特に、本年度は大幅に人数・割合を増やしている。

2-18 コーディネータ1人当たりの受理・採択状況

コーディネータ1人当たりの受理・採択件数と採択率を表2-18-1、図2-18-1に示す。
また、3年間の年次推移を表2-18-2、図2-18-2に示す。

表2-18-1 コーディネータ1人当たりの受理・採択データ

A(発掘型)

	受理件数		採択件数		採択率	
	最大	平均	最大	平均 (注1)	最大 (注2)	平均
コーディネータ1人当たりの 受理・採択状況	86	8.4	25	3.1	65.2%	27.2%

注1) 採択課題を有するコーディネータ627人による採択課題保有件数の平均

注2) 採択課題10件以上を保有するコーディネータの中での最大採択率

B(発展型)

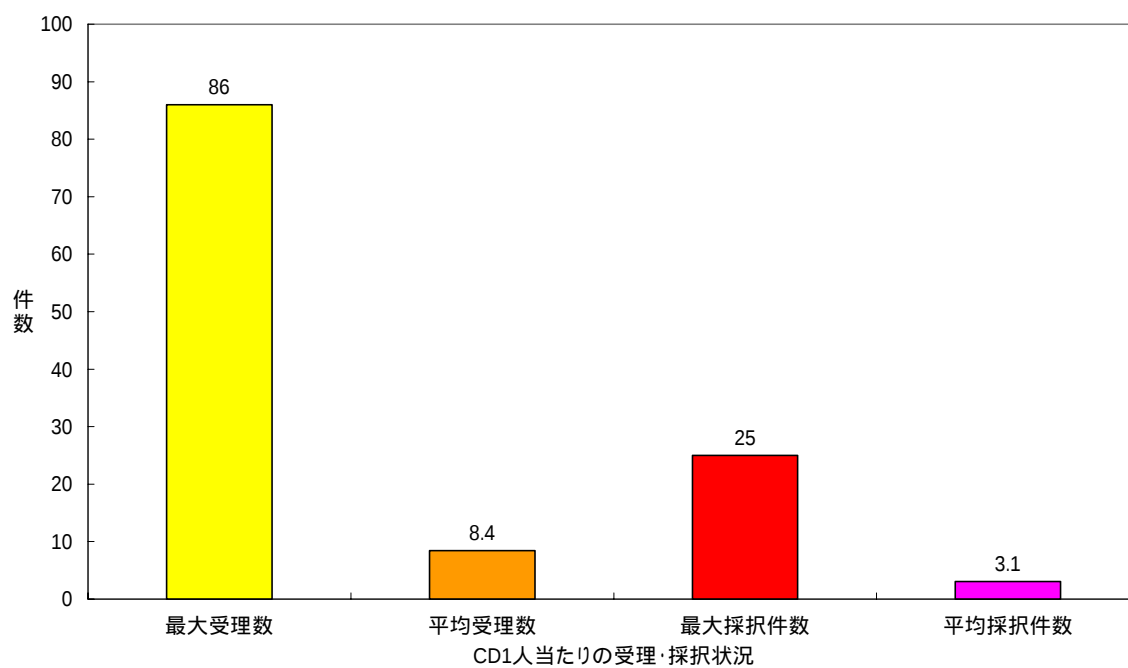
	受理件数		採択件数		採択率	
	最大	平均	最大	平均 (注1)	最大 (注2)	平均
コーディネータ1人当たりの 受理・採択状況	8	1.6	3	1.2	-	10.3%

注1) 採択課題を有するコーディネータ118人による採択課題保有件数の平均

注2) 採択課題10件以上を保有するコーディネータの中での最大採択率

図 2-18-1 コーディネータ 1 人当たりの受理・採択状況

A (発掘型)



B (発展型)

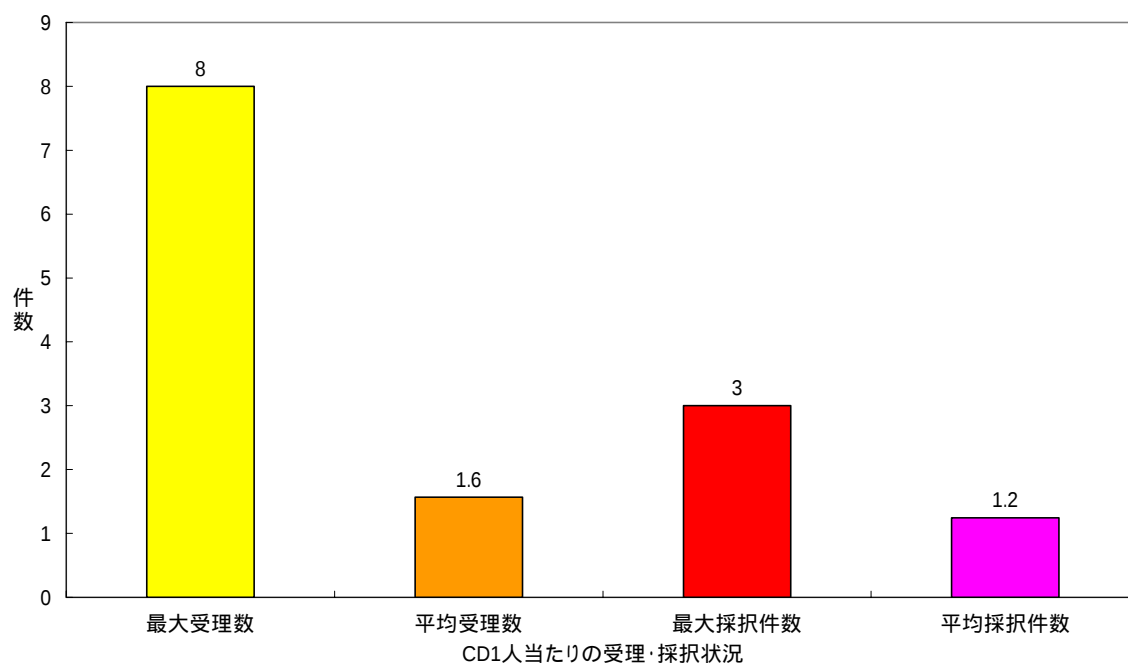
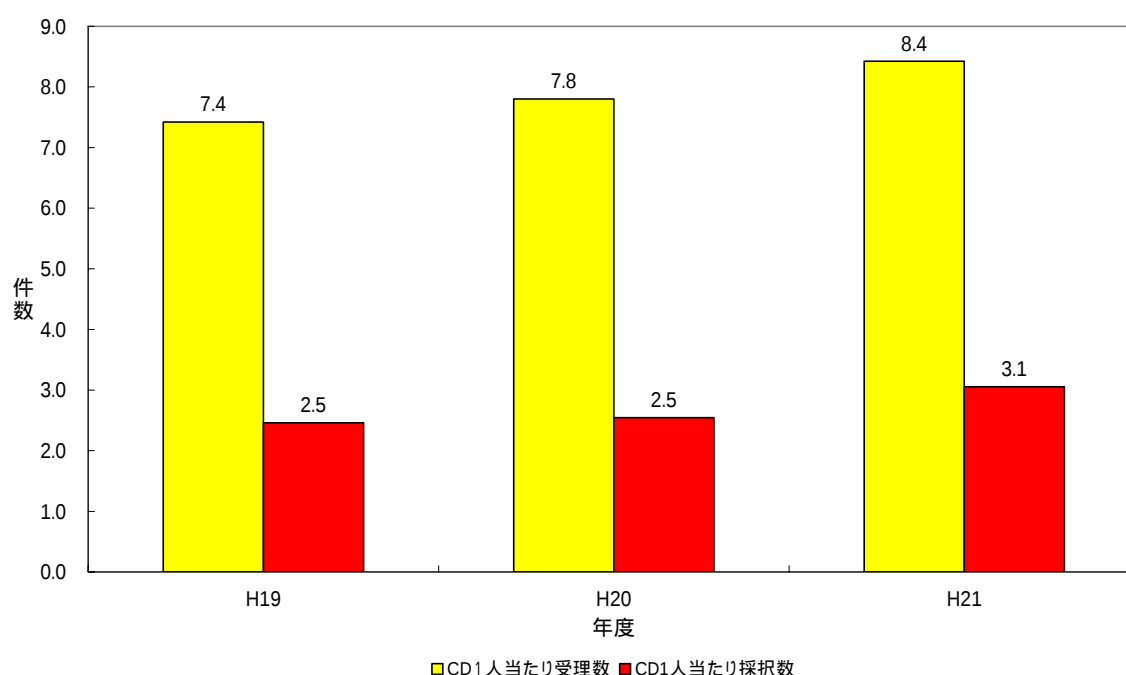


表 2-18-2 コーディネータ 1 人の受理・採択件数の推移 (A 発掘型)

年度	H19	H20	H21
コーディネータ1人当り受理件数	7.4	7.8	8.4
コーディネータ1人当り採択件数	2.5	2.5	3.1

図 2-18-2 コーディネータ 1 人当たりの受理・採択件数の推移 (A 発掘型)



本年度の CD1 人当たりの受理件数 (申請件数) は平均 8.4 件、個人としては 86 件が最大である。また、CD1 人当たりの採択件数 (採択された CD の人数で採択課題を除いた値) は 3.1 件で、個人としては 25 件の採択課題を有する人が最大である。

本年度採択課題を 10 件以上有する CD は 25 名 (採択率は 60% 台 1 名、40% 台 7 名、30% 台 4 名、20% 台 12 名) であり、採択率最大は 65.2% (1 名) である。CD800 名余の中で採択率 30% 以上を記録した 12 名は、優れた課題を数多く担当していると言える。

CD1 人当たりの受理件数は、この 3 年間で着実に増えている。採択件数は前年度より増えている。

2-19 コーディネータ所属機関分類別

コーディネータの所属する機関(以下「CD 所属機関」)を前年度と同じ分類(以下「CD 所属機関分類」)で区分し、それぞれの受理・採択件数と採択率を調べた。それらを表 2-19-1、図 2-19-1 に、また、3 年間の推移を表 2-19-2、図 2-19-2 に示す。さらに CD 所属機関分類別 採択件数割合を図 2-19-3 で示す

表 2-19-1 CD 所属機関分類別 受理・採択データ

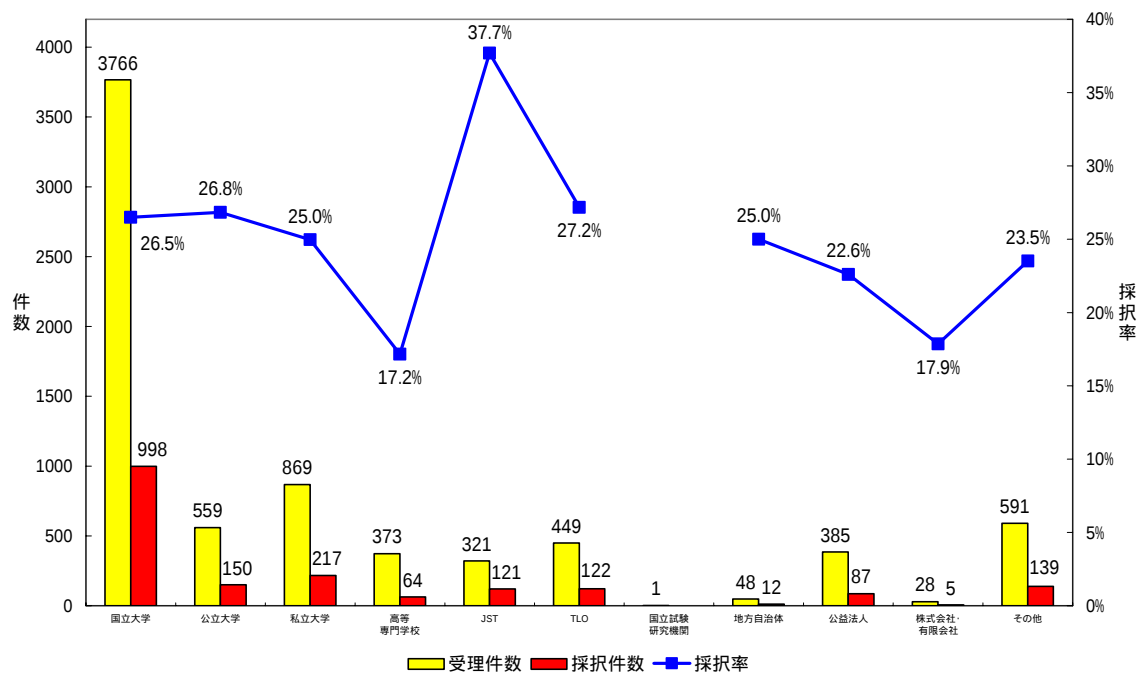
A(発掘型)

コーディネータ 所属機関分類	受理		採択		採択率
	件数	割合	件数	割合	
国立大学	3766	51.0%	998	52.1%	26.5%
公立大学	559	7.6%	150	7.8%	26.8%
私立大学	869	11.8%	217	11.3%	25.0%
高等専門学校	373	5.0%	64	3.3%	17.2%
JST	321	4.3%	121	6.3%	37.7%
TLO	449	6.1%	122	6.4%	27.2%
国立試験研究機関	1	0.0%	0	0.0%	0.0%
地方自治体	48	0.6%	12	0.6%	25.0%
公益法人	385	5.2%	87	4.5%	22.6%
株式会社・有限会社	28	0.4%	5	0.3%	17.9%
その他	591	8.0%	139	7.3%	23.5%
総計	7390	100.0%	1915	100.0%	25.9%

B(発展型)

コーディネータ 所属機関分類	受理		採択		採択率
	件数	割合	件数	割合	
国立大学	250	52.6%	80	54.4%	32.0%
公立大学	33	6.9%	10	6.8%	30.3%
私立大学	58	12.2%	14	9.5%	24.1%
高等専門学校	13	2.7%	3	2.0%	23.1%
JST	25	5.3%	11	7.5%	44.0%
TLO	23	4.8%	11	7.5%	47.8%
国立試験研究機関	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
地方自治体	2	0.4%	0	0.0%	0.0%
公益法人	31	6.5%	8	5.4%	25.8%
株式会社・有限会社	4	0.8%	1	0.7%	25.0%
その他	36	7.6%	9	6.1%	25.0%
総計	475	100.0%	147	100.0%	30.9%

図 2-19-1 CD 所属機関分類別 受理・採択件数と採択率
A (発掘型)



B (発展型)

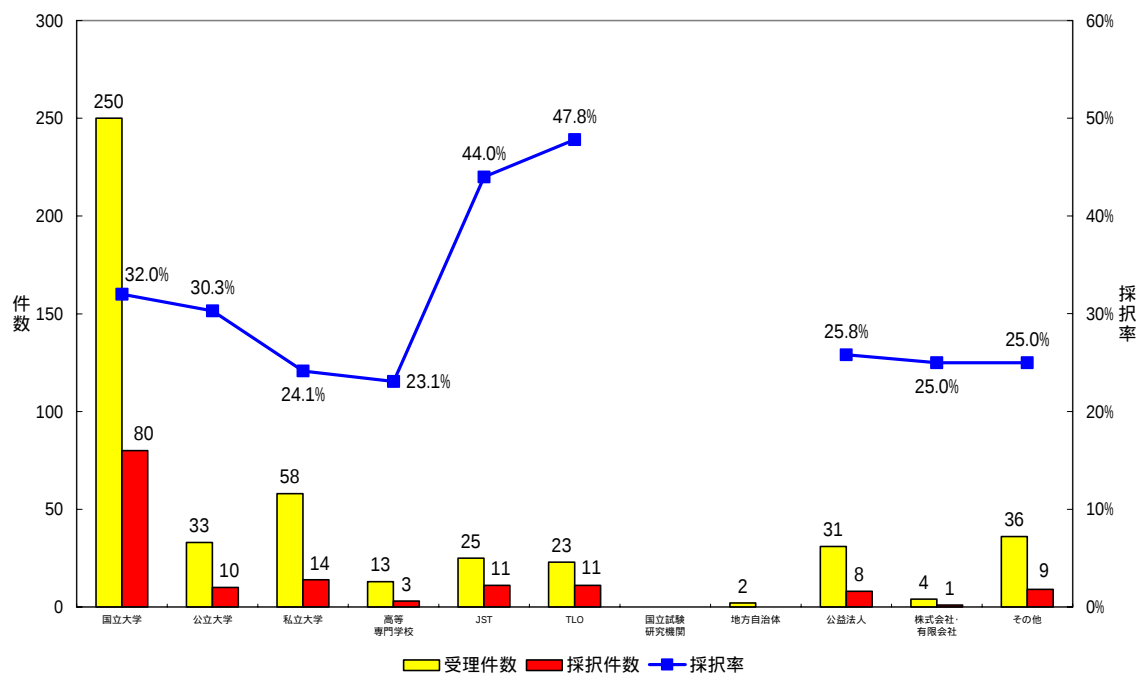
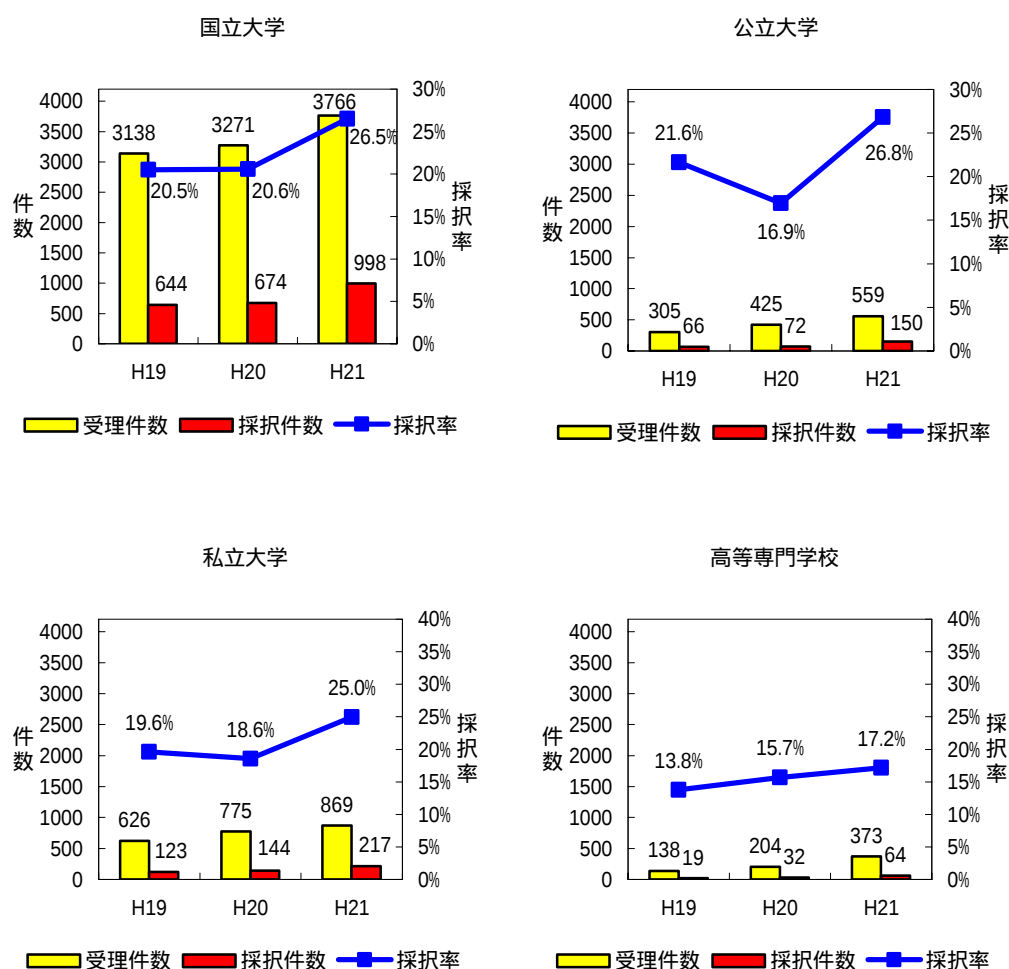
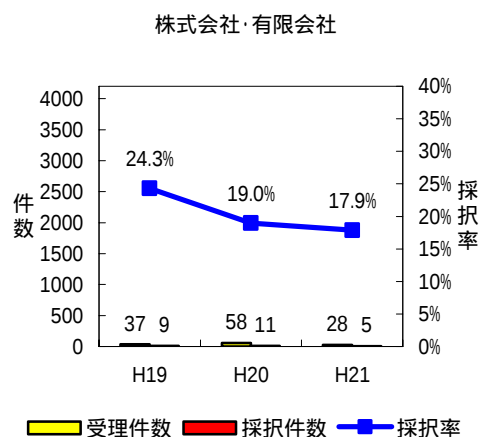
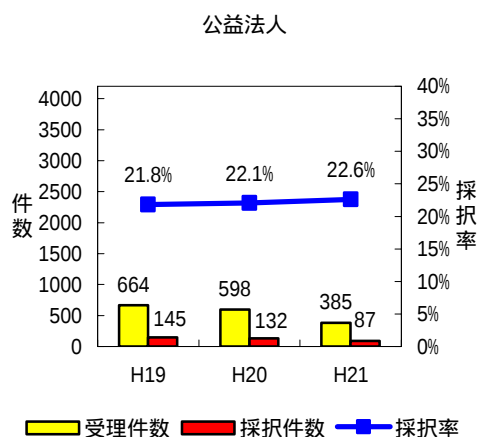
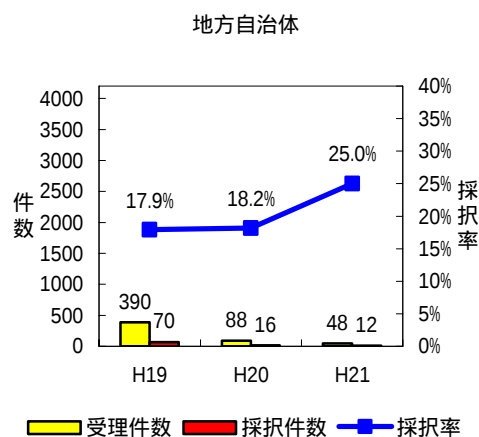
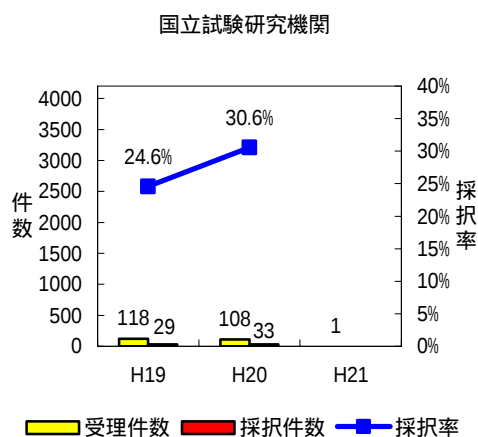
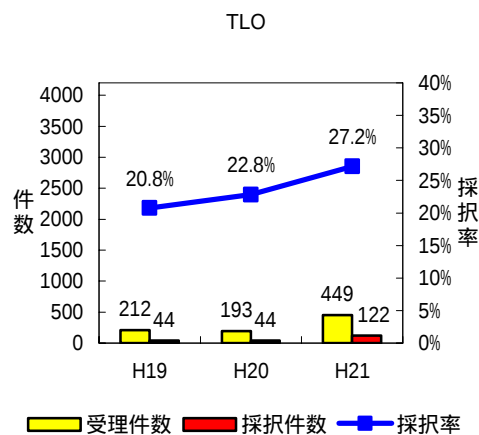
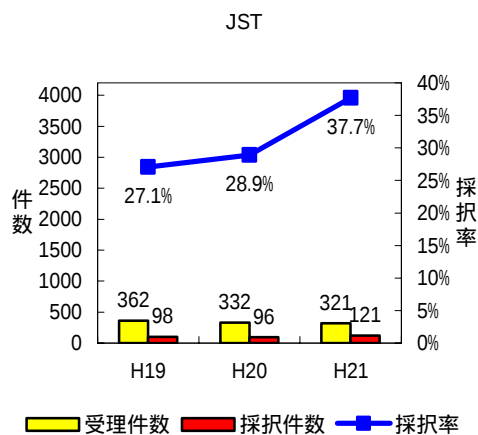


表 2-19-2 CD 所属機関分類別 受理・採択件数と採択率の推移 (A 発掘型)

コーディネータ 所属機関分類	受理件数			採択件数			採択率		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
国立大学	3138	3271	3766	644	674	998	20.5%	20.6%	26.5%
公立大学	305	425	559	66	72	150	21.6%	16.9%	26.8%
私立大学	626	775	869	123	144	217	19.6%	18.6%	25.0%
高等専門学校	138	204	373	19	32	64	13.8%	15.7%	17.2%
JST全体	362	332	321	98	96	121	27.1%	28.9%	37.7%
TLO	212	193	449	44	44	122	20.8%	22.8%	27.2%
国立試験研究機関	118	108	1	29	33	0	24.6%	30.6%	0.0%
地方自治体	390	88	48	70	16	12	17.9%	18.2%	25.0%
公益法人	664	598	385	145	132	87	21.8%	22.1%	22.6%
株式会社・有限会社	37	58	28	9	11	5	24.3%	19.0%	17.9%
その他	28	402	591	3	78	139	10.7%	19.4%	23.5%
合計	6018	6454	7390	1250	1332	1915	20.8%	20.6%	25.9%

図 2-19-2 CD 所属機関分類別 受理・採択件数と採択率の推移 (A 発掘型)





その他

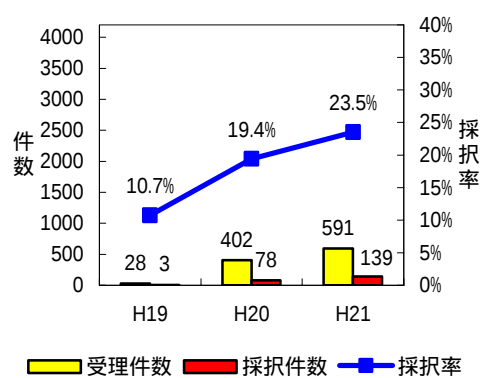
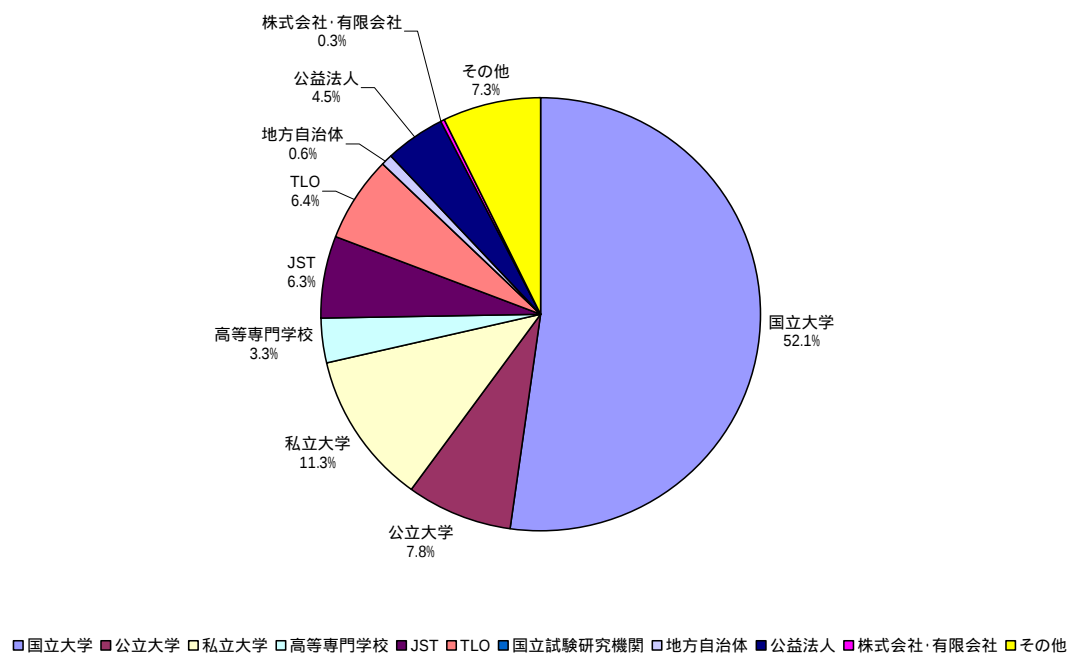
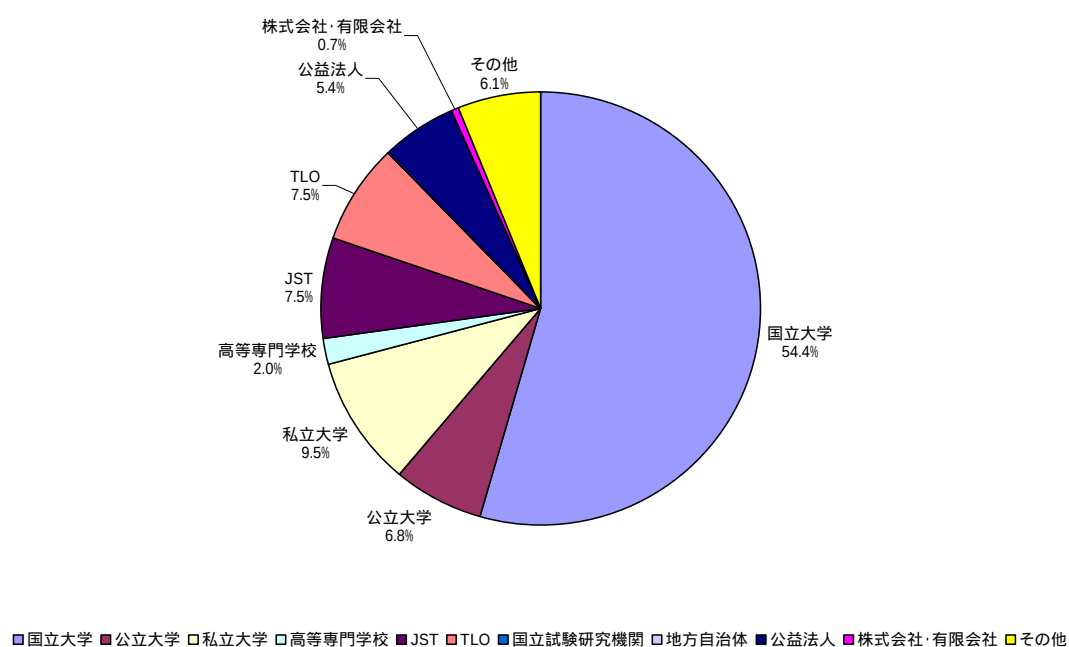


図 2-19-3 CD 所属機関分類別 採択件数割合
A (発掘型)



B (発展型)



CD 所属機関分類別に見た受理件数の割合は、過半数を「国立大学」(51.0%)が占め、次いで「私立大学」(11.8%)、「公立大学」(9.3%)が続く。この順序は1位2位は前年度と変わらないが、「公立大学」が昨年3位だった「公益法人」を上回っている。

CD 所属機関分類別採択件数の割合に関しても、の受理件数の割合と同じ傾向で、「国立大学」(52.1%)、「私立大学」(11.3%)、「公立大学」(7.8%)の順となっている。

採択率に関しては「JST」(37.7%)、「TLO」(27.2%)、「公立大学」(26.8%)、「国立大学」(26.5%)が続く。

受理件数に関する推移を見ると、「国立大学」、「私立大学」、「公立大学」、「高等専門学校」、「TLO」が着実に増加しており、特に「公立大学」「TLO」「高等専門学校」の増加は著しい。一方「JST」、「公益法人」が年々減少している。また、「国立試験研究所」、「地方自治体」、「株式会社・有限会社」が大きく減少している。

採択件数に関する推移を見ると、「国立大学」、「公立大学」、「私立大学」、「高等専門学校」、「JST」、「TLO」が大幅に増加している。「公益法人」、「地方自治体」は年々減少している。「国立試験研究所」は採択なし。

採択率に関する推移を見ると、「国立大学」、「公立大学」、「私立大学」、「高等専門学校」、「JST」、「TLO」、「地方自治体」、「公益法人」と、ほとんどの機関において着実に増加傾向を示している。中でも「公立大学」では前年度大幅に減少したが、見事に復活している。受理件数で減少している機関でも、確実に採択件数を増やしている結果、全体的に高い採択率である。年々減少している CD 所属機関分類は「株式会社・有限会社」である。

A(発掘型)とB(発展型)を比較すると、全体の受理数が少ないため正確に同様とは言えないが、ほぼ同様のバランスとなっていることがわかる。

2-20 コーディネータ所属機関別

CD 所属機関別の受理・採択件数と採択率を、受理件数上位 25 機関について表 2-20-1、図 2-20-1 に示す。また、この 24 機関に関して、3 年間の受理・採択状況の推移を表 2-20-2、図 2-20-2 に示す。

表 2-20-1 CD 所属機関別 受理・採択データ(受理件数上位 25 機関)

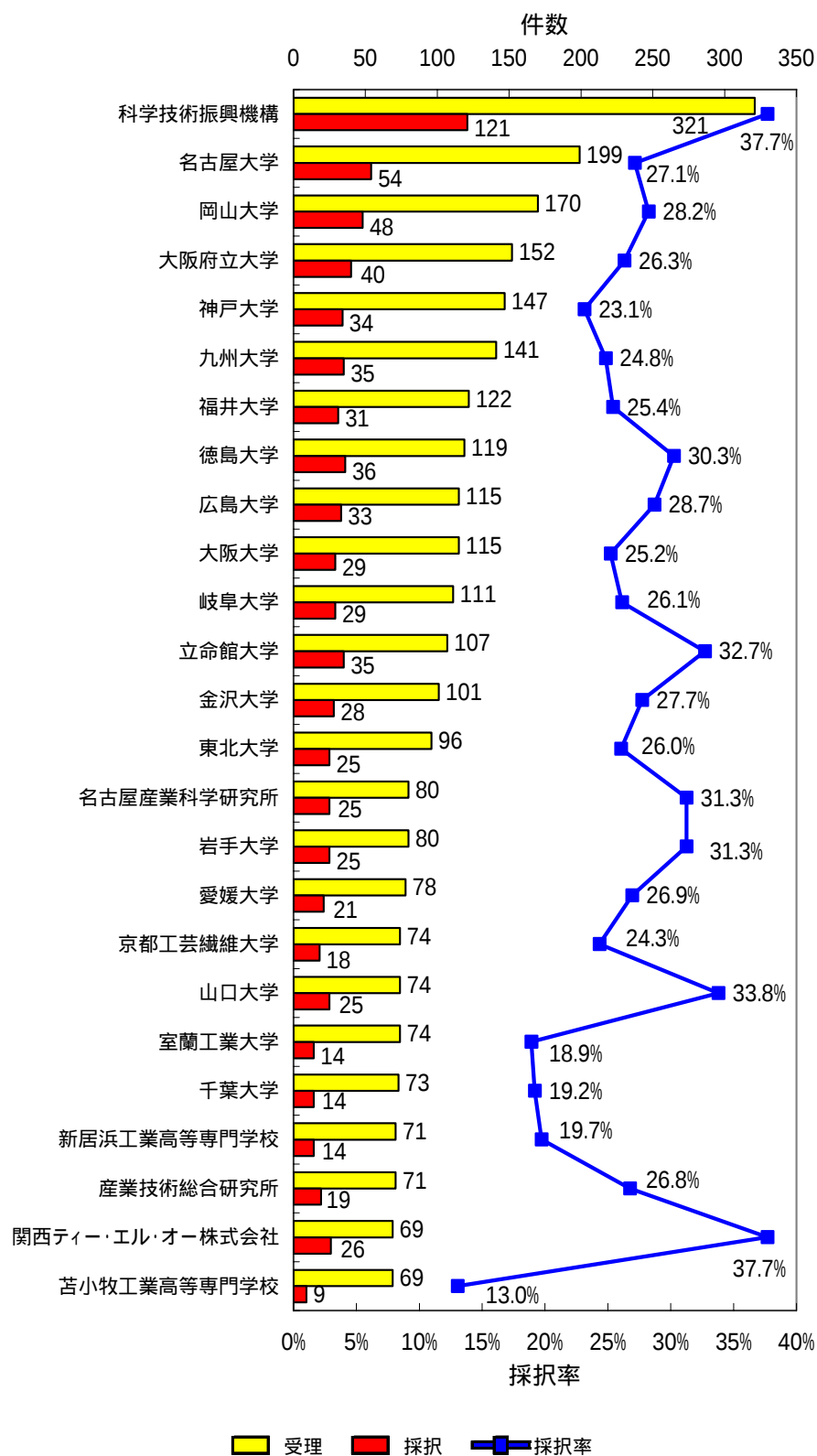
A(発掘型)

コーディネータ所属機関	受理件数	採択件数	採択率
科学技術振興機構	321	121	37.7%
名古屋大学	199	54	27.1%
岡山大学	170	48	28.2%
大阪府立大学	152	40	26.3%
神戸大学	147	34	23.1%
九州大学	141	35	24.8%
福井大学	122	31	25.4%
徳島大学	119	36	30.3%
広島大学	115	33	28.7%
大阪大学	115	29	25.2%
岐阜大学	111	29	26.1%
立命館大学	107	35	32.7%
金沢大学	101	28	27.7%
東北大学	96	25	26.0%
名古屋産業科学研究所	80	25	31.3%
岩手大学	80	25	31.3%
愛媛大学	78	21	26.9%
京都工芸繊維大学	74	18	24.3%
山口大学	74	25	33.8%
室蘭工業大学	74	14	18.9%
千葉大学	73	14	19.2%
新居浜工業高等専門学校	71	14	19.7%
産業技術総合研究所	71	19	26.8%
関西ティール・エル・オー株式会社	69	26	37.7%
苫小牧工業高等専門学校	69	9	13.0%

B(発展型) (受案件数上位 34 機関)

コーディネータ所属機関	受案件数	採択件数	採択率
科学技術振興機構	25	11	44.0%
名古屋大学	14	4	28.6%
大阪府立大学	12	6	50.0%
九州大学	10	2	20.0%
京都大学	10	5	50.0%
大阪大学	9	2	22.2%
長岡技術科学大学	9	2	22.2%
広島大学	8	3	37.5%
京都工芸繊維大学	8	3	37.5%
神戸大学	7	3	42.9%
福井大学	7	1	14.3%
群馬大学	7	3	42.9%
名古屋工業大学	7	3	42.9%
鳥取大学	7	2	28.6%
名古屋産業科学研究所	6	3	50.0%
産業技術総合研究所	6	2	33.3%
弘前大学	6	1	16.7%
北海道大学	6	1	16.7%
新潟大学	6	2	33.3%
香川大学	6	2	33.3%
九州工業大学	6	2	33.3%
筑波大学	6	1	16.7%
千葉大学	5	4	80.0%
慶應義塾大学	5	3	60.0%
山梨大学	5	3	60.0%
にいがた産業創造機構	5	3	60.0%
山形大学	5	2	40.0%
長崎大学	5	2	40.0%
鹿児島大学	5	2	40.0%
同志社大学	5	1	20.0%
信州大学	5	1	20.0%
兵庫県立大学	5	1	20.0%
東京農工大学	5	1	20.0%
近畿大学	5	1	20.0%

図 2-20-1 CD 所属機関別 受理・採択件数と採択率 (受理件数上位 25 機関)
A (発掘型)



B(発展型)(受理件数上位 34 機関)

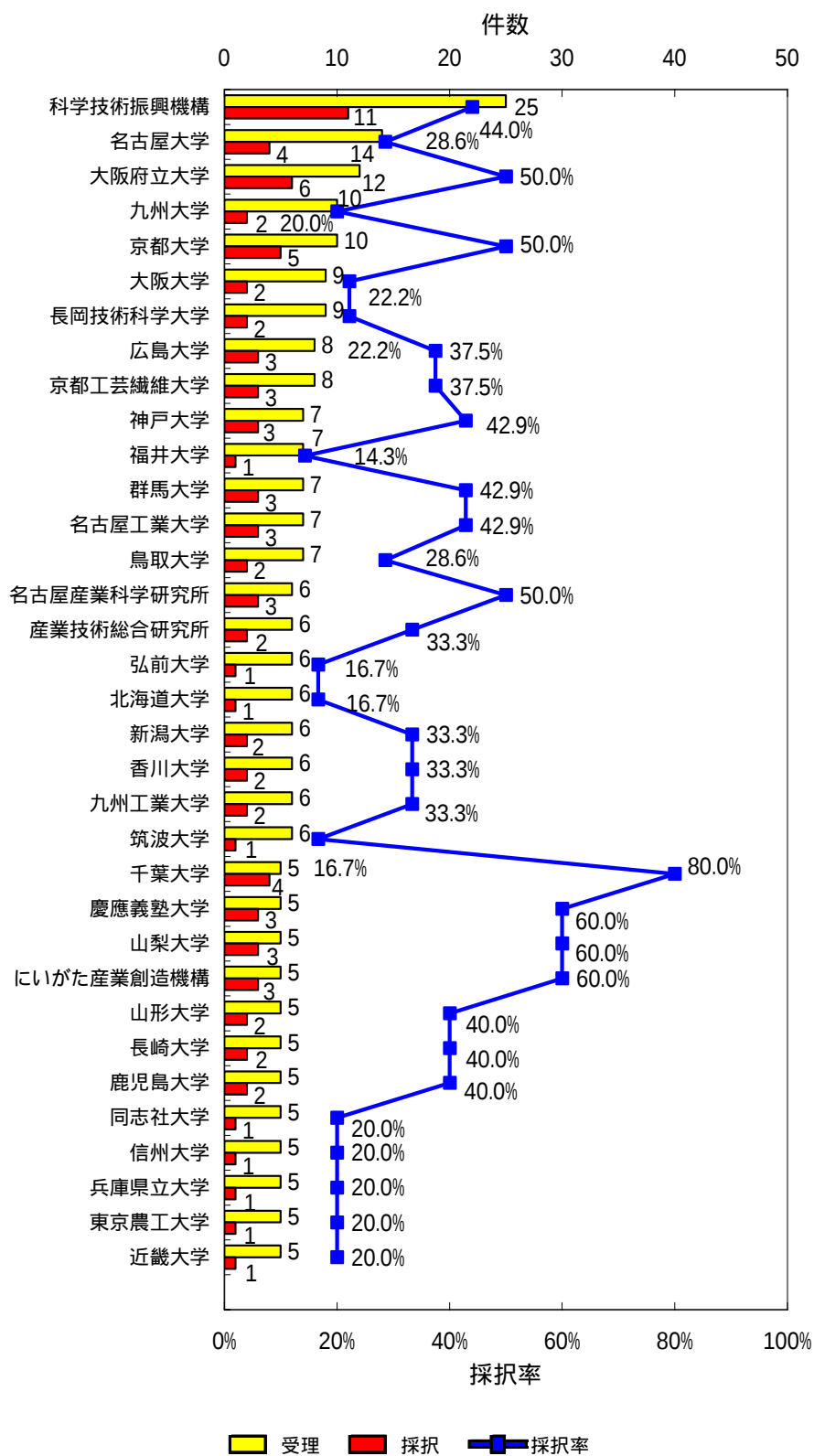


表 2-20-2 CD 所属機関別 受理・採択件数と採択率の推移(受理数上位 25 機関)
A(発掘型)

コーディネータ所属機関	受理			採択			採択率		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
科学技術振興機構	333	332	321	91	96	121	27.3%	28.9%	37.7%
名古屋大学	102	170	199	19	27	54	18.6%	15.9%	27.1%
岡山大学	114	115	170	25	19	48	21.9%	16.5%	28.2%
大阪府立大学	61	135	152	13	23	40	21.3%	17.0%	26.3%
神戸大学	122	104	147	25	18	34	20.5%	17.3%	23.1%
九州大学	138	133	141	29	32	35	21.0%	24.1%	24.8%
福井大学	97	139	122	16	19	31	16.5%	13.7%	25.4%
徳島大学	115	119	119	18	27	36	15.7%	22.7%	30.3%
広島大学	102	115	115	21	24	33	20.6%	20.9%	28.7%
大阪大学	126	86	115	33	19	29	26.2%	22.1%	25.2%
岐阜大学	-	-	111	-	-	29	-	-	26.1%
立命館大学	-	-	107	-	-	35	-	-	32.7%
金沢大学	67	77	101	13	14	28	19.4%	18.2%	27.7%
東北大学	82	75	96	20	19	25	24.4%	25.3%	26.0%
名古屋産業科学研究所	-	-	80	-	-	25	-	-	31.3%
岩手大学	65	75	80	12	20	25	18.5%	26.7%	31.3%
愛媛大学	71	83	78	16	20	21	22.5%	24.1%	26.9%
京都工芸繊維大学	70	71	74	12	13	18	17.1%	18.3%	24.3%
山口大学	50	65	74	10	13	25	20.0%	20.0%	33.8%
室蘭工業大学	-	-	74	-	-	14	-	-	18.9%
千葉大学	-	-	73	-	-	14	-	-	19.2%
新居浜工業高等専門学校	-	-	71	-	-	14	-	-	19.7%
産業技術総合研究所	67	72	71	16	20	19	23.9%	27.8%	26.8%
関西ティール・エル・オー株式会社	-	-	69	-	-	26	-	-	37.7%
苫小牧工業高等専門学校	-	-	69	-	-	9	-	-	13.0%

受理件数に関しては、昨年同様「科学技術振興機構」がトップであり、次いで「名古屋大学」、「岡山大学」、「大阪府立大学」、「神戸大学」、「九州大学」が140件以上の第2グループ、「福井大学」、「徳島大学」、「広島大学」、「大阪大学」が110件以上の第3グループを形成しトップ10となる。前年度トップ10と比較すると1位2位は変わらず「科学技術振興機構」と「名古屋大学」が、3位の「岡山大学」（前年度比147.8%、以下同様）、が大きく件数を伸ばした。他に前年比で大きく増加した機関は「神戸大学」（141.3%）、「大阪大学」（133.7%）である。逆に減少した機関は「科学技術振興機構」（96.7%）、「福井大学」（87.8%）である。

採択件数に関しては、「科学技術振興機構」がトップで、次いで「名古屋大学」、「岡山大学」、「大阪府立大学」、「徳島大学」、「九州大学」、「立命館大学」、「神戸大学」、「広島大学」、「福井大学」が続いている。前年度に比べ大きく増加した機関は、「岡山大学」（前年度比252.6%、以下同様）、「名古屋大学」（200.0%）、「神戸大学」（188.9%）、「大阪府立大学」（173.9%）であり、トップ10の機関はすべて伸びている。

採択率に関しては、「科学技術振興機構」、「関西ティー・エル・オー株式会社」、「山口大学」、「立命館大学」、「名古屋産業化学研究所」、「岩手大学」、「徳島大学」、「広島大学」、「岡山大学」、「金沢大学」がトップ10を形成している。前年度トップ10と比較すると「関西ティー・エル・オー株式会社」、「名古屋産業化学研究所」、「立命館大学」が入った。採択率で大きく増加した機関は「福井大学」（前年度比185.4%、以下同様）、「岡山大学」（170.9%）、「名古屋大学」（170.4%）、「山口大学」（169.0%）、「金沢大学」（152.2%）、「大阪府立大学」（152.0%）、「広島大学」（137.3%）、「徳島大学」（133.5%）であり、上位の機関は軒並み上昇している。全体的に採択率は高く、前年度より増加している機関が多い中、「産業技術総合研究所」（96.4%）と僅かながら下げている。

受理件数の年次推移で見ると、「名古屋大学」、「岡山大学」、「大阪府立大学」、「金沢大学」、「岩手大学」、「京都工芸繊維大学」、「山口大学」が順調に増加している。受理件数が減少している機関は少ない。

採択件数の年次推移では、「科学技術振興機構」、「名古屋大学」、「九州大学」、「福井大学」、「徳島大学」、「広島大学」、「金沢大学」、「岩手大学」、「愛媛大学」、「京都工芸繊維大学」、「山口大学」が順調に増加している。大幅に減少している機関は見受けられない。

採択率の年次推移を見ると、「科学技術振興機構」、「九州大学」、「徳島大学」、「広島大学」、「岩手大学」、「東北大学」、「愛媛大学」、「京都工芸繊維大学」が順調に増加している。3年間にわたり20%以上の高い採択率を示した機関は、「科学技術振興機構」、「九州大学」、「広島大学」、「大阪大学」、「東北大学」、「愛媛大学」、「山口大学」である。中でも「岩手大学」は毎年飛躍的に伸びているのがわか

る。

A(発掘型)と同様にB(発展型)の1位は「科学技術振興機構」(受理25件)、2位「名古屋大学」(14件)と同じである。しかも、「科学技術振興機構」の採択数(11件)は他機関とは一線を画す。3位の「大阪府立大学」も採択件数(6件)と25機関中2位であり、採択率(50.0%)を上げている。

2-21 コーディネータ所属機関分類別 技術分野(大分類)別

CD 所属機関分類別 技術分野(大分類)毎の受理件数を表 2-21-1 に示す。

表 2-21-1 CD 所属機関分類別 技術分野(大分類)別 受理・採択データ
A(発掘型)

研究機関分類	1位		2位		3位	
	技術分野	受理件数	技術分野	受理件数	技術分野	受理件数
国立大学	ライフサイエンス	1463	ナノテク・材料	1097	ものづくり技術	517
公立大学	ライフサイエンス	202	ナノテク・材料	149	情報通信	106
私立大学	ライフサイエンス	311	ナノテク・材料	192	ものづくり技術	125
高等専門学校	ものづくり技術	88	ナノテク・材料	85	情報通信	62
JST全体	ライフサイエンス	171	ナノテク・材料	83	ものづくり技術	31
TLO	ライフサイエンス	166	ナノテク・材料	151	情報通信	61
国立試験研究機関	ライフサイエンス	2				
地方自治体	ライフサイエンス	23	ものづくり技術	10	ナノテク・材料	9
公益法人	ライフサイエンス	175	ナノテク・材料	106	ものづくり技術	54
株式会社・有限会社	ライフサイエンス	13	ものづくり技術	6	情報通信 ナノテク・材料 社会基盤	3
その他	ナノテク・材料	206	ライフサイエンス	199	ものづくり技術	140

B (発展型)

研究機関分類	1位		2位		3位	
	技術分野	受理件数	技術分野	受理件数	技術分野	受理件数
国立大学	ライフサイエンス	89	ナノテク・材料	80	ものづくり技術	41
公立大学	ナノテク・材料	20	ものづくり技術	6	ライフサイエンス	5
私立大学	ライフサイエンス	20	ナノテク・材料	17	情報通信 エネルギー	7
高等専門学校	ナノテク・材料	11	ライフサイエンス ものづくり技術	2		
JST全体	ナノテク・材料	11	ライフサイエンス	7	ものづくり技術 社会基盤	3
TLO	ライフサイエンス ナノテク・材料	8			環境 エネルギー ものづくり技術	3
国立試験研究機関						
地方自治体	ライフサイエンス ものづくり技術	1				
公益法人	ナノテク・材料	13	ライフサイエンス	11	情報通信	5
株式会社・有限会社	ものづくり技術	2	ライフサイエンス ナノテク・材料 社会基盤	1		
その他	ライフサイエンス ナノテク・材料 ものづくり技術	10				

CD 所属機関分類別に見た受理件数トップ 3 を見ると、ほとんどの機関で 1 位が『ライフサイエンス』、2 位が『ナノテク・材料』となっている。特に「国立大学」「公立大学」「私立大学」では同じ傾向にある。「高等専門学校」では『ものづくり技術』が 1 位であることが象徴的である。

3 位に入っているのは様々な分野で、『情報通信』『ものづくり技術』が多い。

B (発展型) は、「国立大学」はトップ 3 の構成が A (発掘型) と同じである。1 位『ライフサイエンス』と 2 位『ナノテク・材料』の受理件数は僅差である。「私立大学」もやはり『ライフサイエンス』『ナノテク・材料』が中心であるのがわかる。

2-22 共同研究機関の有無

共同研究機関の有無別 受理・採択状況の推移を表 2-22-1 に示す。

表 2-22-1 共同研究機関の有無別 受理・採択状況の推移

A (発掘型)

共同研究機関の有無	受理			採択			採択率		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
共同研究有	121	159	181	18	43	53	14.9%	27.0%	29.3%
共同研究無	5897	6295	7209	1232	1289	1862	20.9%	20.5%	25.8%
合計	6018	6454	7390	1250	1332	1915	20.8%	20.6%	25.9%

B (発展型)

共同研究機関の有無	受理			採択			採択率		
	H19	H20	H21	H19	H20	H21	H19	H20	H21
共同研究有	-	23	28	-	4	8	-	17.4%	28.6%
共同研究無	-	489	447	-	51	139	-	10.4%	31.1%
合計	-	512	475	-	55	147	-	10.7%	30.9%

受理・採択件数の全体が前年度より大幅に増加している。共同研究機関を有する割合に関しては、受理については H19 年度 2.0%、H20 年度 2.5%、H21 年度 2.4%と、本年度は若干減少している。採択については H19 年度 1.4%、H20 年度 3.2%、H21 年度 2.8%であり、割合は前年度より減少している。

共同研究機関の有無と採択率との関係では、共同研究機関を有する課題の方が本年度の採択率は高くなっている。

B (発展型)についても、昨年度より受理件数は減っているものの、採択件数は増えている。A (発掘型)と逆に、共同研究機関が無い課題の方が採択率が高い。

3 . 結果と考察

- (1) 本試験は平成 17 年度に開始し 5 年目を迎えたが、本年度の A(発掘型)の受理数は 7390 件で前年比 115%、採択数は 1915 件で前年比 144%と共に増加しているが、採択率は 25.9%と前年度より 5.3%の増加となった。採択率の推移を見ると、13.6%(H17)、17.9%(H18)、20.8%(H19)、20.6%(H20)、25.9%(H21)となっており、昨年はわずかに減少したが、本年度は増加となった。
- (2) 研究テーマの技術分野(大分類)の採択率は、受理数が少数の分野を除き、概ね各技術分野で同様の 20~30%前後になっている。
- (3) 小分類で見ると、受理数・採択数ともに第 1 位に「医学・医療(受理 1230 件、採択 338 件、採択率 27.5%)」、第 5 位に「医療・福祉機器(受理 353 件、採択 106 件、採択率 30.0%)」と、大分類を越えてはいるが、医療関連の分類が大きな成果をあげている。
- (4) 地域ブロック別の受理・採択状況を見ると、本年度の地域別ベスト 3 は、受理件数・採択件数共に 1 位「東海(受理 935 件、採択 240 件)」、2 位「茨城(受理 837 件、採択 216 件)」、3 位「大阪(受理 831 件、採択 214 件)」となった。一昨年から昨年にかけても「東海」は大きく伸びており、「東海」が非常に健闘していることがわかる。結果として昨年 1 位「大阪」、2 位「茨城」、3 位「東海」であったが、本年度は 1・3 位が入れ替わったものと思われる。また、「東海」は受理数前年比 149%、採択数前年比 189%となっており、伸び率も全国 1 位となっている。
- (5) 地域ブロック別に技術分野(大分類)の特色を見ると、各地域で上位となっている採択率にはばらつきはあるが、受理数を見ると『ライフサイエンス』、『ナノテク・材料』が各地域共通で上位となっている。どの分野でも平均的な数値を表している地域は少なく、いずれかの分野で高い数値の技術分野を有している地域が多い。
- (6) 都道府県別の受理数・採択数ベスト 5 を見ると、1 位から 5 位までの都道府県は愛知県、北海道、大阪府、京都府、福岡県で受理・採択共に同じ結果となった。また、この上位 5 都道府県は前年も上位 5 位に入っている。愛知県が昨年 3 位から本年 1 位となっており、昨年よりさらに健闘している。
- (7) 研究機関で見ると、昨年同様「国立大学」が受理・採択共に 1 位であるが、他の研究機関も本年は増加傾向にあった。個別研究機関では、受理件数は昨年と同じく「名古屋大学」が他の機関を離して 1 位、採択件数も「名古屋大学」が 1 位であるが、採択率では「北海道大学」の 50.6%が群を抜いて 1 位となった。
- (8) 研究機関分類と研究テーマの技術分野(大分類)との関係は、次のようになっている。殆どの研究機関分類は、受理数と採択数の最大となる技術分野(大分類)が一致する。特に各機関の受理数トップ 3 の技術分野を見ると、『ライフサイエンス』『ナノテク・材料』は 6 分類に現われている。また、『ライフサイエンス』においては 6 分類すべてで 1 位となっている。
- (9) 研究機関分類と技術分野(小分類)との関係では、各研究機関の受理数トップ 3

を抽出してみると、「医学・医療」、「食料科学・技術」、「医療・福祉機器」が比較的多くの機関で取り組まれている。

- (10) 代表研究者の役職を調べると、受理・採択数ともに助教授が多くを占めている。次いで教授となっているが、採択数では劣るものの部・科長リーダー等の採択率 28.7% は教授・助教授を越え、高い採択率となっている。
- (11) コーディネータの所属する機関分類では、昨年も増加傾向にあった国立大、公立大、私立大、高専についてはさらに受理数、採択数ともに増えている。また、昨年も減少傾向にあった地方自治体は本年も減少となっている。
- (12) コーディネータが所属する機関別に受理・採択状況を見ると、上位機関の入れ替わり等の変化はあまりないが、昨年までも高い採択率を誇っていた「科学技術振興機構」は、本年度も 37.7% と非常に高く、採択率 20% 以上を 5 年連続記録し、本制度の利用に対する意識の高さがわかる。
- (13) コーディネータ所属機関分類別に受理数トップ 3 の技術分野(大分類)を見ると、『ライフサイエンス』『ナノテク・材料』が 10 分類、『ものづくり技術』が 8 分類、『情報通信』が 4 分類に現れており、コーディネータの活動が各機関で共通して盛んであることを示している。
- (14) 受理数・採択数における共同研究機関が有の割合はほぼ横ばいとなっている。採択率についても、昨年は A(発掘型) B(発展型) 共に共同研究機関が有の方が採択率が高くなっていたが、本年は B(発展型) で共同研究機関が無の方が採択率が高くなるなど、3 年間を通して見ると共同研究機関の有無と採択に強い相関関係は見られない。

以上